

令和4年度  
教育研修実績集



公益社団法人 福岡県看護協会



# 発刊にあたって

平素より、福岡県看護協会教育研修事業に格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。令和4年度（2022年度）教育研修実績集の発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の変異株によるパンデミック第7波、第8波に見舞われた年度となりました。福岡県の感染者数は一日最高の1万5千人を記録し、保健医療福祉の様々な場所で勤務する看護職も感染・濃厚接触者となって出勤できない状態となりました。多くの施設において看護職不足が顕著となり、医療提供体制が逼迫する事態となりました。3年に渡り、新型コロナウイルス感染症と対峙する看護職に改めて感謝申し上げたいと思います。

このような状況下当協会では、学びやすい環境を整備し・企画を精査することで、看護職が学びの歩を止めることが無いよう最大限の努力をいたしました。感染防止の観点から、会場収容率50%で運用し、入館時健康チェック、自動検温設置や除菌作業等、感染防止対策を徹底することにより、看護職が安心して受講できる環境整備に努めました。開催方法として集合・オンライン・オンデマンドなどからより効果的となる手法を選択し受講者のニーズに対応した結果、理解度・満足度・役立ち度において一定以上の評価を得ることができました。更に本格導入した研修管理システム「manaable」の活用によって、研修申込から受講履歴管理までの一元化が可能となった事も受講者へのサービス向上につながったと考えています。

実績集の発刊は今年で14年目を迎えますが、看護職教育の基盤となっているのは当協会の基本理念「専門職業人として、常に看護の質の向上を図る」です。看護職のキャリア形成を支援し、多様化するヘルスケアニーズに対応できる人材の育成を図ることにより、人々の健康な生活の実現に貢献することを活動の中心に置いています。令和4年度の研修実績集には、教育研修分類1～5に関連する研修、福岡県看護学会、福岡県主催委託・補助事業研修、委員会企画交流会そして新型コロナウイルス感染症対応関連研修が掲載されています。詳細につきましては内容を是非ご覧頂きたいと存じます。

最後になりましたが、研修開催にあたりお忙しい中ご講義を担当していただきました講師の先生方、研修の企画・運営に関わって頂きました各委員会委員の皆さま、ほか関係者の方々に深く感謝申し上げます。

令和5年5月

公益社団法人 福岡県看護協会  
会 長 大和 日美子



# 令和4年度 目次

～発刊にあたって～

教育理念	5
<b>I. 教育研修事業（教育研修分類1～3）</b>	
1. 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	7
1) 新人看護職員研修運営委員会実施	9
2) 教育委員会実施	12
3) 医療安全推進委員会実施	27
4) 感染管理委員会実施	29
5) 災害看護委員会実施	30
6) 助産師職能委員会実施	33
7) 看護師職能委員会Ⅰ実施	34
8) 看護師職能委員会Ⅱ実施	36
2. ラダーと連動した継続教育	37
1) 助産師職能委員会実施	39
3. 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	41
1) 教育委員会実施	43
<b>II. 教育研修事業（教育研修分類5）</b>	
1. 資格認定教育	49
1) 認定看護管理者教育課程（認定看護管理者教育運営委員会）	
(1) ファーストレベル	51
(2) セカンドレベル	53
(3) サードレベル	55
2) 認定看護師教育課程	
(1) 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程	57
<b>III. 福岡県看護学会</b>	
1. 福岡県看護学会	
1) 第22回福岡県看護学会（学会委員会）	67
<b>IV. 教育研修事業福岡県主催委託・補助事業（教育研修部研修）</b>	
1. 福岡県看護実習指導者講習会（県委託）	71
2. 福岡県特定分野看護実習指導者講習会（県委託）	73

3. 新人看護職員研修事業（新人看護職員研修運営委員会）	
1）福岡県新人看護職員研修責任者研修（県委託）	74
2）新人看護職員教育担当者研修（県補助）	76
3）福岡県新人看護職員実地指導者研修（県委託）	78
4）新人看護職員研修アドバイザー派遣事業（県補助）	80
5）新人看護職員多施設集合研修（県補助） ※ I-1-1）へ掲載	
4. 福岡県看護職員認知症対応力向上研修（県委託）	81
5. 福岡県感染管理リーダー看護師育成事業（県委託）	
1）感染管理リーダー看護師育成研修	82
2）感染管理看護基礎研修	83
<b>V. 福岡県主催委託事業（ナースセンター・事業部研修）</b>	
1. 看護職員復職研修事業（県委託）	
1）病院等に就職したい方のための再就職支援研修	87
2）介護保険施設等に就職したい方のための再就職支援研修	88
3）再就職のための看護技術セミナー（採血・注射編）	89
4）再就職のための看護技術セミナー（喀痰吸引編）	91
5）再就職のための看護技術セミナー（感染管理編）	92
2. 訪問看護師養成講習会（県委託）	
1）訪問看護師養成講習会（入門編）	93
2）訪問看護師養成講習会（新任期）	94
3）訪問看護師養成講習会（管理期）	96
<b>VI. 新型コロナウイルス感染症対応関連研修委託事業</b>	
1. 新型コロナウイルス感染症等業務にかかる研修（県委託）	101
2. 新型コロナウイルス感染症対応に従事した潜在看護職等のための ステップアップ研修（日本看護協会委託）	102
3. 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成事業	
1）重症患者対応研修（日本看護協会委託）	103
2）軽症～中等症患者対応研修	105
<b>VII. 委員会企画交流会</b>	
1. 保健師職能委員会実施	109
2. 助産師職能委員会実施	110
3. 看護の進路・進学支援委員会実施	111

～編集後記～

## 〈教育理念〉

福岡県看護協会は、看護職のキャリア形成を支援し、多様化するヘルスケアニーズに対応し、人々の健康で幸福な生活の実現に貢献できる人材を育成する

## 〈教育目的〉

1. 多様化、複雑化する社会のニーズに対応し、質の高い看護を提供できる人材を育成する
2. 人の生命の尊厳と権利を尊重し、高い倫理観と専門性に基づく看護が提供できる人材を育成する
3. 自らキャリアを開発し自律した行動がとれる人材を育成する

## 〈教育目標〉

1. 科学的思考のもとで安全かつ質の高い看護を実践する能力を養う
2. あらゆる場で多職種と連携・協働をはかり効果的なケアが提供できる能力を養う
3. 多様な価値観を尊重し、倫理に基づく自律した行動がとれる能力を養う
4. 主体的に学びキャリア開発をすることができる能力を養う
5. 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ看護を提供できる能力を養う

## 〈教育研修分類〉

分類	内容
1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	1) 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 ①多様化、高度化、複雑化する社会ニーズに対応し、質の高い看護を提供するための、基礎的・専門的能力を支援する研修 ②さまざまな人や組織、地域をつなぎ、包括的なケアを提供できる能力を支援する研修 ③意思決定を支援する能力を高める研修 ④あらゆる場で多職種と協働し、チームで効果的なケアが提供できる能力を支援する研修 2) 政策提言に向けた研修 3) 診療報酬に関連した研修 4) 研究に取り組む能力支援に関連した研修
2 ラダーと連動した継続教育	1) 「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)」 (CLoCMiP®) 2) 「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」(JNA ラダー)
3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	1) 看護専門職として必要な管理に関する能力を支援する研修 2) 社会が求めるヘルスケアサービスを組織的に提供するための看護管理者の能力を支援する研修
4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	1) 施設内教育における JNA ラダー活用のための研修 2) 都道府県看護協会の教育担当者・教育委員対象研修
5 資格認定教育	1) 認定看護管理者教育課程 2) 認定看護師教育課程

【福岡県看護学会】

【福岡県主催研修 ①教育研修部研修 ②ナースセンター研修】

【委員会企画交流会】





## I. 教育研修事業 (教育研修分類1)

### 1. 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ 質の高い看護の普及に向けた継続教育

- 1) 新人看護職員研修運営委員会実施
- 2) 教育委員会実施
- 3) 医療安全推進委員会実施
- 4) 感染管理委員会実施
- 5) 災害看護委員会実施
- 6) 助産師職能委員会実施
- 7) 看護師職能委員会 I 実施
- 8) 看護師職能委員会 II 実施



# 1) 新人看護職員研修運営委員会実施

## (1) 新人看護職員多施設集合研修【オンデマンド研修】(県補助事業)

### ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な 基本姿勢と態度～	社会人・専門職業人としての心構え及び医療や看護を取り巻く環境について学び、これからの看護に活かす	看護を取り巻く環境・看護協会の役割/社会人・組織人とは/専門職業人としての心構え/マナーとコミュニケーション・看護倫理と情報管理/看護師として必要になる力	福岡県看護協会 会長 大和 日美子  福岡看護大学 飯野 英親
感染予防の基礎知識	感染予防の基礎知識について理解し、エビデンスに基づく感染対策と看護の実際を学ぶ	感染管理の基礎知識/標準予防策(手指衛生の必要性/PPE着脱のポイント/環境整備・リネン/洗浄・消毒・滅菌について)/労働者の安全管理/経路別感染予防策/新型コロナウイルス感染症に負けない感染対策	九州医療センター 有川 法宏
看護に活かす フィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～	身体のアセスメントをするために必要な観察の知識と技術の基礎を学ぶ	フィジカルアセスメントとは/呼吸器系・腹部のアセスメント(問診・聴診・打診・視診・触診)のポイント/事例/看護記録・報告/バイタルサイン	飯塚病院 藤岡 智恵
看護に活かす フィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～	身体のアセスメントをするために必要な観察の知識と技術の基礎を学ぶ	フィジカルアセスメントとは/循環器系のアセスメント(問診・聴診・打診・視診・触診)のポイント/脳神経系のアセスメント(意識障害評価時のポイント)/事例/看護記録・報告/バイタルサイン	飯塚病院 藤岡 智恵
基礎から学ぶ医療安全	医療安全の基礎知識を学び、患者および自分を守る重要性を理解する	医療安全とは/ヒューマンエラーと基本的安全行動/医療事故防止のための取り組み(患者確認・6R・転倒転落防止・KYT)/コミュニケーション(情報伝達・ISBAR)	福岡大学病院 押川 麻美
基礎から学ぶ褥瘡予防	エビデンスに基づいた褥瘡予防とケアが実践できる基礎知識を学ぶ	皮膚の構造と生理機能/褥瘡発生メカニズム/危険因子に沿った褥瘡予防ケア(体圧分散ケア/栄養管理/予防的スキンケア)	福岡大学筑紫病院 園田 みずき

### ②受講状況

(人)

研修テーマ	配信期間	応募者数	決定者数	受講者数
フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～	6/1(水)～ 10/2(日)	798	795	781
感染予防の基礎知識		491	487	476
看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～		601	596	587
看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～		602	599	590
基礎から学ぶ医療安全	9/1(木)～ R5年1/4(水)	425	416	394
基礎から学ぶ褥瘡予防		433	422	403
合 計				3,231

## ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～ (N=428)	72.9	26.4	0.5	0.0	0.2
	感染予防の基礎知識 (N=213)	82.2	17.8	0.0	0.0	0.0
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=242)	62.4	36.8	0.4	0.0	0.4
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=213)	63.9	35.2	0.0	0.0	0.9
	基礎から学ぶ医療安全 (N=149)	79.2	20.8	0.0	0.0	0.0
	基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=141)	74.5	25.5	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度	研修テーマ	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～ (N=428)	63.4	34.3	2.1	0.2	0.0
	感染予防の基礎知識 (N=213)	78.9	20.2	0.9	0.0	0.0
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=242)	67.9	31.7	0.4	0.0	0.0
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=213)	73.9	25.6	0.5	0.0	0.0
	基礎から学ぶ医療安全 (N=149)	77.2	22.1	0.0	0.0	0.7
	基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=141)	75.2	24.8	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	研修テーマ	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	フレッシュナースセミナー ～看護職員として必要な基本姿勢と態度～ (N=428)	72.5	26.2	0.9	0.2	0.2
	感染予防の基礎知識 (N=213)	85.4	14.1	0.0	0.0	0.5
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=242)	71.5	26.9	0.4	0.0	1.2
	看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=213)	75.1	24.4	0.0	0.0	0.5
	基礎から学ぶ医療安全 (N=149)	81.2	18.1	0.0	0.0	0.7
	基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=141)	80.1	19.9	0.0	0.0	0.0

## ④まとめ

今年度もコロナ禍での研修企画であり、座学を中心とした内容の研修に関してはオンデマンド研修の「いつでもどこでも繰り返し視聴できる」利点を主眼に、全6テーマを約4ヶ月間配信した。

各研修の受講者数は、昨年度と比較して大幅な変化はなかった。受講施設の割合は、福岡地区が一番多く、200床以下の病院の受講が多かった。

受講者からは、「繰り返し視聴でき、学びを深めることができた。」「明日から実践できる内容が多く、看護に活かしていきたい。」との感想が多く、アンケートの理解度、満足度、役立ち度いずれも概ね高評価だった。

# 1) 新人看護職員研修運営委員会実施

## (2) 新人看護職員多施設集合研修【集合研修】(県補助事業)

今を乗り切ろう！～入職6ヶ月を振り返って～

- ①目標：新人が陥りやすい困難や悩みを知り、それに対する様々な考え方や感じ方を理解できる。

6ヶ月間を振り返り、自己との向き合い方、自己の成長を認識することができる。

- ②対象者：令和4年3月に卒業した者、もしくは免許取得後に医療機関等にはじめて就労する看護職員で、就労して1年未満の者

### ③プログラム

日程	時間	主な内容	講師 / ファシリテーター
9/20 (火) 【福岡地区】	9:00~ 12:00	新人看護師の特徴や陥りやすい気持ち / 今の自分の気持ちを自由に語ろう / 実際の場を思い浮かべながら話してみよう (演習)	【講師】 福岡大学病院 池田 静子
9/21 (水) 【北九州地区】			【ファシリテーター】各4名参加 (順不同) 中村千夏子 (九州医療センター) / 新町咲子 (九州中央病院) 松尾由美 (飯塚市立病院) / 川崎智子 (済生会福岡総合病院) 江口恭世 (九州大学病院) / 松本直美 (新小倉病院)
9/26 (月) 【筑豊地区】			佐々野時美 (久留米大学医療センター) / 井上範子 (大牟田病院) 高尾久美代 (浜の町病院) / 宮崎千賀 (今津赤十字病院)
9/27 (火) 【筑後地区】			山本直美 (芦屋中央病院) / 取違静代 (新小文字病院) 日永田里恵 (済生会飯塚嘉穂病院) / 小黒由美 (田川市立病院) 吉井千穂 (久留米大学病院) / 今村愛 (姫野病院)

### ④受講状況 (人)

	定員	応募者数	決定者数	受講者数
9/20 (火) 【福岡地区】	60	90	59	55
9/21 (水) 【北九州地区】	60	56	55	46
9/26 (月) 【筑豊地区】	60	44	43	38
9/27 (火) 【筑後地区】	60	31	55	50
合計				189

※福岡地区は応募者数が定員超過したため、福岡地区25名を筑後地区へ移動調整した。

### ⑤アンケート結果 (%)

理解度		できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
		9/20 【福岡地区】 (N=55)	91.0	9.0	0.0	0.0
9/21 【北九州地区】 (N=25)	88.0	12.0	0.0	0.0	0.0	
9/26 【筑豊地区】 (N=36)	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0	
9/27 【筑後地区】 (N=50)	82.0	16.0	0.0	0.0	2.0	

(%)

満足度		できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
		9/20 【福岡地区】 (N=55)	84.0	16.0	0.0	0.0
9/21 【北九州地区】 (N=25)	76.0	24.0	0.0	0.0	0.0	
9/26 【筑豊地区】 (N=36)	81.0	19.0	0.0	0.0	0.0	
9/27 【筑後地区】 (N=50)	78.0	22.0	0.0	0.0	0.0	

(%)

役立ち度		できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
		9/20 【福岡地区】 (N=55)	82.0	16.0	0.0	0.0
9/21 【北九州地区】 (N=25)	76.0	24.0	0.0	0.0	0.0	
9/26 【筑豊地区】 (N=36)	78.0	22.0	0.0	0.0	0.0	
9/27 【筑後地区】 (N=50)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	

### ⑥まとめ

新規企画として新人看護職員の離職防止と多施設の新人看護職員同士の交流を目的とした集合研修を開催した。今年度は地区別での開催としたが、応募者数に偏りが生じ、福岡・筑後地区の合同開催となった。グループワークでは、初対面同士でも仕事に対する困難感、患者や先輩たちとの関わりで感じたことや学んだことを自由に語り合うことができていた。受講者からは「他施設の新人も抱えている悩みや不安が同じであり、心が軽くなった。」「様々な意見が聞けて自分を知る機会になった。」との感想が多く、アンケート結果も高評価だった。新人看護職員同士の交流を図る機会に対するニーズが非常に高いことがうかがえた。

## 2) 教育委員会実施

### (1) 集合研修

#### ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
【准看護師対象研修】 認知症ケア	エビデンスに基づく認知症ケアに関する具体的方法を理解できる	認知症ケアの基礎知識 / 認知症ケアの具体的方法	田主丸中央病院 福嶺 初美
看護現場に活かすファシリテーション技術	ファシリテーションの効果と概要を理解できる	ファシリテーションとは / ファシリテーションのスキル / 演習	ひとづくり工房 esuco 浦山 絵里

#### ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
【准看護師対象研修】 認知症ケア	6/16 (木)	0.5	60	32	32	27
看護現場に活かすファシリテーション技術	11/17 (木)	1	60	108	60	53

#### ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	【准看護師対象研修】 認知症ケア (N=26)	53.8	46.2	0.0	0.0	0.0
	看護現場に活かすファシリテーション技術 (N=42)	92.9	7.1	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	【准看護師対象研修】 認知症ケア (N=26)	42.4	53.8	3.8	0.0	0.0
	看護現場に活かすファシリテーション技術 (N=42)	95.2	4.8	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	【准看護師対象研修】 認知症ケア (N=26)	61.5	38.5	0.0	0.0	0.0
	看護現場に活かすファシリテーション技術 (N=42)	90.5	9.5	0.0	0.0	0.0

## 2) 教育委員会実施

### (2) オンライン研修

#### ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
小児看護 Part2 ～家族看護～	小児領域における家族看護を理解し、看護実践場面での対応について学ぶ	小児領域における家族看護の基本的な考え方 / 小児領域における家族アセスメント / 小児領域における家族への対応	福岡大学 松本 祐佳里
多様な性の支援 ～LGBTQの理解を深めよう～	LGBTQを知り、看護職として必要な対応を理解する	LGBTQに関する知識 / 看護職として必要な配慮と対応	浅沼 智也
排泄を支える看護 ～QOLを高めるために～	排尿・排便障害を学び、QOLを高めるケアを理解できる	排尿・排便障害の分類 / 排尿・排便のアセスメント / 排尿・排便障害への対処方法 / QOLを高めるケア	日本コンチネンス協会九州支部 種子田 美穂子
看護過程と看護記録	看護記録の原理原則や法的責任を学び、看護過程の展開実践に役立つ記録のあり方を理解できる	看護記録の目的・意義 / 看護記録の法的位置づけ / 看護過程の展開 / 看護実践をどのように記録するか	第一薬科大学 長家 智子
がん性疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～	がん性疼痛の基礎知識や疼痛マネジメントについて理解できる / 疼痛緩和を通し継続看護が理解できる	がん性疼痛治療の基本 / 難治性疼痛への対応 / がん性疼痛のある患者・家族へのケア / アドバンスケアプランニング / 在宅を見据えたケアの実際	済生会福岡総合病院 野田 陽子
今、求められている外来看護とは	外来に求められる看護の専門性と役割を理解できる	医療制度とこれからの外来看護 / 外来の機能と看護職に求められる役割(地域連携・社会資源の活用等) / 患者個人のニーズに応じた効果的な支援	関西看護医療大学 箕浦 洋子
インシデント・アクシデント情報の分析を学ぼう	分析ツールを使って、定性的分析の基本を体験する	事例分析目的 / 事例分析手法の種類 / 情報収集から分析、改善対策立案までの過程 / 分析を体験(m SHELL分析)	社会保険田川病院 黒川 薫
家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～	家族看護を理解し、看護実践場面での対応について学ぶ	家族看護の基本的な考え方 / 家族アセスメント / 実践場面での家族への対応(演習)	東京慈恵会医科大学 児玉 久仁子
高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～	End of Life Careにおける看護職の役割について理解できる	End of Life Careとは何か? / 痛み・症状マネジメント / 意思決定支援	久留米大学病院 西村 知子
人工呼吸器の看護に 強くなろう!	人工呼吸器の仕組みや安全な人工呼吸器管理を理解できる / 人工呼吸器装着患者の看護が理解できる	NPPV 管理 / 人工呼吸器の原理と主な換気様式(モード) / アラーム対応と緊急時の対処方法 / 人工呼吸器装着中の患者ケアのポイント	大牟田市立病院 富松 高司
実践!脳卒中看護のきほん	脳血管障害について理解し、看護の実際を理解できる	脳卒中の基礎知識 / 部位別の症状とアセスメント / 脳卒中看護:急性期～維持期 / 生活と就労支援	九州労災病院 安永 恵
がん化学療法の看護ケア	がん化学療法の基礎知識や看護の実際を理解できる	基礎知識 / 化学療法中の看護ケアのポイント / アピアランスケア	九州がんセンター 鳥越 勇生
最新の褥瘡ケア	褥瘡ケアの具体的な方法を理解できる	創傷治癒過程 / 褥瘡局所管理 改訂DESIGN-R <sup>®</sup> 2020とTIME理論 / 外用薬とドレッシング材の概要と選択方法 / 事例検討	くるめ病院 青木 尚子
ウィズコロナ時代に自分が元気になる方法を見つけよう	メンタルヘルスに必要な知識・対処方法を学ぶ	メンタルヘルスの基礎知識 / ナースが抱えやすいストレスへの対処 / より良い環境を築くために / 演習(ケーススタディ・ストレス要因分析)	九州大学こころとそだちの相談室 姫島 源太郎
地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から	在宅療養の実際を知り、在宅支援に必要な看護を理解できる	在宅看護とは / 地域との連携・サポート体制 / 在宅での療養支援・チーム医療(多職種連携) / 在宅療養に必要な知識と技術 / 看取りの支援	緩和ケア支援センターコミュニティ 平野 頼子

研修テーマ	目標	主な内容	講師
大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～	大人の発達障害について学び、職場での支援方法を理解できる	大人の発達障害とは / 発達障害の特性 / 発達障害に対する理解と対応 / 個人への支援 / 職場での支援	小倉記念病院 三木 浩司 後藤 明子
実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～	摂食・嚥下障害のある患者のQOLを高めるためのケアを習得できる	口から食べる意義 / 摂食・嚥下のメカニズムと機能評価 / 口腔内の評価・口腔ケア / 摂食嚥下訓練の方法	藤田医科大学 ばんだね病院 三鬼 達人
ナースができる浮腫へのアプローチ	浮腫のメカニズムを理解し、エビデンスに基づいたケアの方法を習得できる	浮腫の病態と症状 / アセスメント / エビデンスに基づいた浮腫ケア	HANA NURSING THERAPY 山口 晴美
看護研究 基本の「き」 ～次年度に向けて実践を研究するための基本を学ぼう～	臨床における看護研究の必要性を理解し、看護実践上の疑問（問題意識）を研究としてまとめることができる	看護研究とは / 臨床場における看護研究の必要性 / 看護研究の種類と方法 / 研究テーマの絞り込み方 / 文献検索の方法 / 研究計画書の書き方	福岡県立大学 増満 誠

## ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
小児看護 Part2 ～家族看護～	7/5 (火)	0.5	100	63	63	53
多様な性の支援 ～LGBTQの理解を深めよう～	7/7 (木)	0.5	100	71	71	65
排泄を支える看護 ～QOLを高めるために～	7/12 (火)	1	150	148	148	128
看護過程と看護記録	7/15 (金)	1	150	174	174	156
がん性疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～	7/20 (水)	1	150	183	183	161
今、求められている外来看護とは	7/30 (土)	1	60	106	66	57
インシデント・アクシデント情報の分析を学ぼう	8/2 (火)	0.5	60	304	66	54
家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～	8/27 (土)	1	100	176	100	80
高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～	8/30 (火)	0.5	150	211	211	180
人工呼吸器の看護に強くなろう！	9/2 (金)	1	150	279	200	166
実践！脳卒中看護のきほん	9/16 (金)	1	150	136	136	107
がん化学療法の看護ケア	9/27 (火)	1	150	148	148	118
最新の褥瘡ケア	10/12 (水)	1	100	336	200	175
ウィズコロナ時代に自分が元気になる方法を見つけよう	10/20 (木)	0.5	150	74	74	59
地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から	10/29 (土)	1	150	92	92	78
大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～	11/11 (金)	1	150	122	122	107
実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～	11/15 (火)	1	150	174	174	148
看護研究 基本の「き」～次年度に向けて実践を研究するための基本を学ぼう～	R5年1/7 (土)	1	150	81	81	72
ナースができる浮腫へのアプローチ	R5年1/13 (金)	1	60	178	120	94



## ③アンケート結果

(%)

	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
理解度	小児看護 Part2 ～家族看護～ (N=52)	63.5	36.5	0.0	0.0	0.0	
	多様な性の支援 ～LGBTQの理解を深めよう～ (N=55)	74.6	23.6	0.0	1.8	0.0	
	排泄を支える看護 ～QOLを高めるために～ (N=108)	75.1	23.1	0.0	0.9	0.9	
	看護過程と看護記録 (N=146)	50.7	45.2	3.4	0.7	0.0	
	がん性疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～ (N=140)	79.3	19.3	0.0	1.4	0.0	
	今、求められている外来看護とは (N=50)	64.0	34.0	2.0	0.0	0.0	
	インシデント・アクシデント情報の分析を学ぼう (N=44)	59.1	38.6	0.0	0.0	2.3	
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～ (N=76)	81.6	18.4	0.0	0.0	0.0	
	高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～ (N=161)	77.7	21.7	0.0	0.0	0.6	
	人工呼吸器の看護に強くなろう！ (N=151)	62.9	35.8	1.3	0.0	0.0	
	実践！脳卒中看護のきほん (N=99)	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0	
	がん化学療法の看護ケア (N=108)	60.2	38.9	0.0	0.0	0.9	
	最新の褥瘡ケア (N=148)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0	
	ウィズコロナ時代に自分が元気になる方法を見つけよう (N=54)	87.0	13.0	0.0	0.0	0.0	
	地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から (N=75)	72.0	24.0	4.0	0.0	0.0	
	大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～ (N=94)	一部	74.5	24.5	1.0	0.0	0.0
		二部	87.2	12.8	0.0	0.0	0.0
	実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～ (N=132)	84.1	13.6	0.8	0.0	1.5	
	看護研究 基本の「き」～次年度に向けて実践を研究する ための基本を学ぼう～ (N=60)	26.7	65.0	8.3	0.0	0.0	
ナースができる浮腫へのアプローチ (N=84)	79.8	20.2	0.0	0.0	0.0		

(%)

	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
満足度	小児看護 Part2 ～家族看護～ (N=52)	69.2	30.8	0.0	0.0	0.0	
	多様な性の支援 ～LGBTQ の理解を深めよう～ (N=55)	78.2	18.2	0.0	1.8	1.8	
	排泄を支える看護 ～QOL を高めるために～ (N=108)	77.8	18.5	0.9	0.9	1.9	
	看護過程と看護記録 (N=146)	49.3	44.5	4.1	1.4	0.7	
	がん性疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～ (N=140)	84.3	12.9	0.7	1.4	0.7	
	今、求められている外来看護とは (N=50)	70.0	28.0	2.0	0.0	0.0	
	インシデント・アクシデント情報の分析を学ぼう (N=44)	59.1	38.6	0.0	0.0	2.3	
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～ (N=76)	82.9	15.8	1.3	0.0	0.0	
	高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～ (N=161)	74.0	24.8	0.6	0.6	0.0	
	人工呼吸器の看護に強くなろう！ (N=151)	74.2	23.8	1.3	0.0	0.7	
	実践！脳卒中看護のきほん (N=99)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0	
	がん化学療法の看護ケア (N=108)	66.7	31.5	1.8	0.0	0.0	
	最新の褥瘡ケア (N=148)	79.1	20.3	0.6	0.0	0.0	
	ウィズコロナ時代に自分が元気になる方法を見つけよう (N=54)	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	
	地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から (N=75)	65.3	26.7	6.7	1.3	0.0	
	大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～ (N=94)	一部	76.6	21.3	2.1	0.0	0.0
		二部	88.3	10.6	1.1	0.0	0.0
	実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～ (N=132)	88.7	9.8	0.0	0.0	1.5	
	看護研究 基本の「き」～次年度に向けて実践を研究 するための基本を学ぼう～ (N=60)	38.3	48.3	11.7	1.7	0.0	
	ナースができる浮腫へのアプローチ (N=84)	76.2	23.8	0.0	0.0	0.0	

(%)

	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
役立ち度	小児看護 Part2 ～家族看護～ (N=52)	69.2	30.8	0.0	0.0	0.0	
	多様な性の支援 ～LGBTQ の理解を深めよう～ (N=55)	81.8	16.4	0.0	1.8	0.0	
	排泄を支える看護 ～QOL を高めるために～ (N=108)	81.6	15.7	0.9	0.9	0.9	
	看護過程と看護記録 (N=146)	52.1	42.5	4.1	0.7	0.6	
	がん性疼痛の看護ケア ～入院から在宅まで～ (N=140)	80.0	18.6	0.0	1.4	0.0	
	今、求められている外来看護とは (N=50)	52.0	44.0	4.0	0.0	0.0	
	インシデント・アクシデント情報の分析を学ぼう (N=44)	65.9	31.8	0.0	0.0	2.3	
	家族看護 ～家族に向きあう力を高めよう～ (N=76)	93.4	6.6	0.0	0.0	0.0	
	高齢者の End of Life Care ～意思決定を支える看護とは～ (N=161)	77.6	22.4	0.0	0.0	0.0	
	人工呼吸器の看護に強くなろう！ (N=151)	75.5	23.8	0.0	0.0	0.7	
	実践！脳卒中看護のきほん (N=99)	82.8	16.2	1.0	0.0	0.0	
	がん化学療法の看護ケア (N=108)	71.3	27.8	0.0	0.0	0.9	
	最新の褥瘡ケア (N=148)	83.8	14.9	0.7	0.0	0.6	
	ウィズコロナ時代に自分が元気になる方法を見つけよう (N=54)	72.2	27.8	0.0	0.0	0.0	
	地域包括ケアに向けて在宅看護の現場から (N=75)	70.7	24.0	5.3	0.0	0.0	
	大人の発達障害への上手な関わり方 ～事例から理解を深めよう～ (N=94)	一部	68.1	28.7	3.2	0.0	0.0
		二部	77.7	19.1	3.2	0.0	0.0
	実践に活かす摂食・嚥下障害の理解と看護 ～「食べる喜び」を支える～ (N=132)	88.6	8.3	0.8	0.0	2.3	
	看護研究 基本の「き」～次年度に向けて実践を研究する ための基本を学ぼう～ (N=60)	40.0	48.3	8.3	1.7	1.7	
	ナースができる浮腫へのアプローチ (N=84)	77.4	22.6	0.0	0.0	0.0	

## 2) 教育委員会実施

### (3) オンデマンド研修

#### ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
看護倫理 ～倫理的ジレンマとその対応～	看護倫理を学び、看護の倫理的ジレンマと対応について理解できる	看護倫理とは / 倫理的感受性 / 倫理的ジレンマとその対応	純真学園大学 村井 孝子
コロナ及び新興感染症に備えるための基礎知識	コロナ及び新興感染症に備えるための知識を得る	新型コロナウイルス感染防止対策への取り組み / 今後おこりうる新興感染症についての理解と対応	九州大学病院 小林 里沙
酸素療法の基礎を理解しよう	酸素療法の正しい知識を習得し、安全で効果的な酸素投与が実践できる	酸素療法の概要 / 低酸素血症の要因 / 酸素療法の種類 (低流量酸素システム・高流量酸素システム) / 投与酸素濃度の計算および酸素ポンベの残量計算 / 酸素療法の合併症	大牟田市立病院 富松 高司
【公開研修】 感染予防の基礎知識	感染予防の基礎知識について理解し、エビデンスに基づく感染対策と看護の実際を学ぶ	感染管理の基礎知識 / 標準予防策 (手指衛生の必要性 / PPE 着脱のポイント / 環境整備・リネン / 洗浄・消毒・滅菌について) / 労働者の安全管理 / 経路別感染予防策	九州医療センター 有川 法宏
【公開研修】看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～	身体のアセスメントをするために必要な観察の知識と技術の基礎を学ぶ	フィジカルアセスメントとは / 呼吸器系のアセスメント / 腹部のアセスメント / 呼吸器系の事例 / 腹部の事例 / 看護記録・報告・バイタルサイン	飯塚病院 藤岡 智恵
【公開研修】看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～	身体のアセスメントをするために必要な観察の知識と技術の基礎を学ぶ	フィジカルアセスメントとは / 循環器系のアセスメント / 脳神経系のアセスメント / 循環器系の事例 / 脳神経系の事例 / 看護記録・報告・バイタルサイン	飯塚病院 藤岡 智恵
臨床で使える心電図をマスターしよう	心電図の基本的知識及び正常・異常波形について理解できる	心電図の基本的な見方 / 不整脈の発生機序 / 不整脈発生時の看護	小倉記念病院 園田 拓也
災害看護の基礎知識	災害時の看護職の役割を理解できる	災害看護とは / 災害時における看護職の役割 / 平時の備えと防災	社会保険大牟田天領病院 清末 定美
QOL を高める心不全看護	心不全の病態を学び、QOL を高める援助方法について理解できる	心不全のフィジカルアセスメント / QOL を高める援助方法 / 退院支援 / 末期心不全の理解	わかばハートクリニック 小田切 菜穂子
入退院支援における看護の役割	入退院支援の基礎知識と看護の役割について学ぶ	入退院支援が求められる背景 / 院内における入退院支援のプロセスと看護職の役割	地域包括ケアコンサルティングあるす 河野 政子
【公開研修】 基礎から学ぶ医療安全	医療安全の基礎知識を学び、患者および自分を守る重要性を理解する	医療安全とは / ヒューマンエラーと基本的安全行動 / 医療事故防止のための取り組み (患者確認・6R・転倒転落防止・KYT) / コミュニケーション (情報伝達・ISBAR)	福岡大学病院 押川 麻美
【公開研修】 基礎から学ぶ褥瘡予防	エビデンスに基づいた褥瘡予防とケアが実践できる基礎知識を学ぶ	皮膚の構造と生理機能 / 褥瘡発生メカニズム / 危険因子に沿った褥瘡予防ケア (体圧分散ケア・ポジショニングのポイント・栄養管理・予防的スキンケア)	福岡大学筑紫病院 園田 みずき

## ②受講状況

(人)

研修テーマ	配信期間	応募者数	決定者数	受講者数
看護倫理 ～倫理的ジレンマとその対応～	6/1 (水) ～ 10/2 (日)	258	258	247
コロナ及び新興感染症に備えるための基礎知識		351	351	335
酸素療法の基礎を理解しよう		157	157	151
【公開研修】 感染予防の基礎知識		118	118	107
【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～		210	210	204
【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～		247	247	237
臨床で使える心電図をマスターしよう	9/1 (木) ～ R5年1/4(水)	790	790	738
災害看護の基礎知識		199	199	189
QOLを高める心不全看護		419	419	393
入退院支援における看護の役割		486	486	467
【公開研修】 基礎から学ぶ医療安全		171	171	161
【公開研修】 基礎から学ぶ褥瘡予防		263	263	253

## ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護倫理 ～倫理的ジレンマとその対応～ (N=145)	50.3	48.3	0.7	0.0	0.7
	コロナ及び新興感染症に備えるための基礎知識 (N=167)	76.0	24.0	0.0	0.0	0.0
	酸素療法の基礎を理解しよう (N=54)	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 感染予防の基礎知識 (N=40)	85.0	15.0	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=64)	60.9	39.1	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=72)	61.1	37.5	0.0	0.0	1.4
	臨床で使える心電図をマスターしよう (N=221)	42.5	54.8	2.2	0.0	0.5
	災害看護の基礎知識 (N=62)	61.3	37.1	1.6	0.0	0.0
	QOL を高める心不全看護 (N=115)	65.2	33.9	0.9	0.0	0.0
	入退院支援における看護の役割 (N=196)	63.8	33.7	2.0	0.0	0.5
【公開研修】 基礎から学ぶ医療安全 (N=66)	89.4	10.6	0.0	0.0	0.0	
【公開研修】 基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=91)	82.4	17.6	0.0	0.0	0.0	

(%)

満足度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護倫理 ～倫理的ジレンマとその対応～ (N=145)	53.8	41.4	4.1	0.0	0.7
	コロナ及び新興感染症に備えるための基礎知識 (N=167)	76.6	23.4	0.0	0.0	0.0
	酸素療法の基礎を理解しよう (N=54)	70.4	29.6	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 感染予防の基礎知識 (N=40)	82.5	17.5	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ～呼吸・腹部～ (N=64)	68.8	29.7	1.5	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ～循環・脳神経系～ (N=72)	69.4	29.2	0.0	0.0	1.4
	臨床で使える心電図をマスターしよう (N=221)	60.6	38.0	0.9	0.0	0.5
	災害看護の基礎知識 (N=62)	58.1	35.5	4.8	0.0	1.6
	QOL を高める心不全看護 (N=115)	59.1	38.3	1.7	0.0	0.9
	入退院支援における看護の役割 (N=196)	59.7	37.2	2.6	0.0	0.5
【公開研修】 基礎から学ぶ医療安全 (N=66)	81.8	16.7	1.5	0.0	0.0	
【公開研修】 基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=91)	75.8	23.1	0.0	0.0	1.1	

(%)

役立ち度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護倫理 ～倫理的ジレンマとその対応～ (N=145)	52.4	44.8	1.4	0.0	1.4
	コロナ及び新興感染症に備えるための基礎知識 (N=167)	82.6	16.8	0.6	0.0	0.0
	酸素療法の基礎を理解しよう (N=54)	71.7	28.3	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 感染予防の基礎知識 (N=40)	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメント I ～呼吸・腹部～ (N=64)	67.2	28.1	4.7	0.0	0.0
	【公開研修】 看護に活かすフィジカルアセスメント II ～循環・脳神経系～ (N=72)	75.0	23.6	0.0	0.0	1.4
	臨床で使える心電図をマスターしよう (N=221)	65.2	32.1	1.3	0.0	1.4
	災害看護の基礎知識 (N=62)	58.1	38.7	1.6	0.0	1.6
	QOL を高める心不全看護 (N=115)	73.9	25.2	0.9	0.0	0.0
	入退院支援における看護の役割 (N=196)	63.3	34.7	1.0	0.5	0.5
【公開研修】 基礎から学ぶ医療安全 (N=66)	93.9	6.1	0.0	0.0	0.0	
【公開研修】 基礎から学ぶ褥瘡予防 (N=91)	82.4	17.6	0.0	0.0	0.0	

## 2) 教育委員会実施

### (4) 日本看護協会と連携した研修

#### ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	演習支援者
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【1回目】 (オンライン研修)	認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる。/入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる。	認知症高齢者に関する医療の現状と国の取組み/認知症に関連する疾患と病態・治療/組織で取組む認知症高齢者ケア/認知症高齢者の看護に必要なアセスメント/認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーション援助技術/認知症高齢者ケアにおける多職種・看看連携のあり方/多職種・看看連携による認知症高齢者ケアの進め方/認知症高齢者に適した療養環境と調整方法/認知症高齢者に特有な倫理的課題/認知症高齢者の意思決定支援	久留米大学医療センター 中島 純子
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【2回目】 (オンライン研修)			浜の町病院 星野 清子
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【1回目】 (集合研修)	看護補助者との協働において看護職と看護補助者の役割と責任が理解できる/効果的・効率的な看護を提供するための業務実施体制の整備の方策が理解できる/看護補助者の確保の方策と労働環境整備の方策が理解できる/看護職及び看護補助者の教育体制の整備の方策が理解できる	看護補助者の活用推進の背景/看護補助者の位置づけ/看護補助者との協働に関する基本的な考え方/業務実施体制の整備/看護職への教育体制の整備/看護補助者の労働環境の整備及び確保等/看護補助者の育成・研修・評価/看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成	福岡大学筑紫病院 原田 英美 済生会福岡総合病院 大嶋 由紀 飯塚病院 久保 佳子 久留米大学病院 小川 由美
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【2回目】 (オンライン研修)			済生会福岡総合病院 大嶋 由紀 久留米大学病院 小川 由美 社会保険直方病院 那良 勝子 聖マリア病院 成清つゆみ
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【3回目】 (集合研修)			福岡大学筑紫病院 原田 英美 飯塚病院 久保 佳子 福岡徳洲会病院 瀬上 希代子 大牟田市立病院 古賀 幸代
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【4回目】 (講義:eラーニング/ 演習:オンライン研修)			福岡大学筑紫病院 原田 英美 済生会福岡総合病院 大嶋 由紀 飯塚病院 久保 佳子 久留米大学病院 小川 由美



## ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (JNA 収録 DVD 研修) 【1回目】	9/6 (火) 9/7 (水)	2	250	260	247	234	233
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (JNA 収録 DVD 研修) 【2回目】	10/6 (木) 10/7 (金)	2	250	215	215	201	199
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【1回目】	6/30 (木)	1	100	489	100	96	96
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【2回目】	8/25 (木)	1	120	212	124	117	117
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【3回目】	11/1 (火)	1	120	158	128	114	114
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【4回目】	R5年1/24(火)	1	120	93	93	89	89

## ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【1回目】 (N=85)	84.7	15.3	0.0	0.0	0.0
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【2回目】 (N=116)	80.2	19.8	0.0	0.0	0.0
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【3回目】 (N=113)	73.5	25.7	0.0	0.0	0.8
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【4回目】 (N=89)	82.0	18.0	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【1回目】 (N=85)	82.4	16.5	1.1	0.0	0.0
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【2回目】 (N=116)	82.8	16.4	0.0	0.0	0.8
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【3回目】 (N=113)	73.5	25.7	0.0	0.0	0.8
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【4回目】 (N=89)	79.8	19.1	1.1	0.0	0.0

(%)

役立ち度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【1回目】 (N=85)	77.6	22.4	0.0	0.0	0.0
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【2回目】 (N=116)	77.6	21.6	0.0	0.0	0.8
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【3回目】 (N=113)	71.7	27.4	0.0	0.0	0.9
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022 【4回目】 (N=89)	80.9	19.1	0.0	0.0	0.0

## 2) 教育委員会実施

### (5) スキルアップ研修 看護研究コース (3日間)

- ①目的：1) 看護実践上の疑問(問題意識)を研究としてまとめることができる  
2) それぞれが目標を設定し、発表に向けて取り組むことができる
- ②受講資格：1) 「次年度に向けて始めよう! 看護研究~臨床の質を上げる看護研究のすすめ~」  
または看護研究に関する研修(令和4年度以前)を受講した者  
2) 学会や研究会で発表を予定している者  
3) 全日程を受講できる者

#### ③プログラム

	日程	テーマ	内容	講師
1日目	6/14 (火)	研究計画書を作ろう	研究の目的・意義 / 研究計画書の作成	福岡県立大学 増満 誠
2日目	8/23 (火)	データ収集と分析	データの種類と処理方法 / データ分析方法	日本赤十字九州国際看護大学 木村 涼平
3日目	10/25 (火)	研究のまとめと発表原稿作り	研究成果のまとめ方 / 論文の作成	九州看護福祉大学 森 雄太

※公開研修 2日目 オンライン開催

#### ④受講状況

(人)

	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
スキルアップ	10	12	12	12	11
1日目公開研修	100	30	30	30	
2日目公開研修	100	38	38	28	
3日目公開研修	100	24	24	23	

#### ⑤アンケート結果

(%)

理解度		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	スキルアップ (N=11)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0
1日目公開研修 (N=15)	73.3	20.0	6.7	0.0	0.0	
2日目公開研修 (N=6)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
3日目公開研修 (N=13)	53.8	46.2	0.0	0.0	0.0	

(%)

満足度		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	スキルアップ (N=11)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0
1日目公開研修 (N=15)	66.7	26.7	0.0	6.6	0.0	
2日目公開研修 (N=6)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
3日目公開研修 (N=13)	61.5	38.5	0.0	0.0	0.0	

(%)

役立ち度		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	スキルアップ (N=11)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0
1日目公開研修 (N=15)	60.0	33.3	6.7	0.0	0.0	
2日目公開研修 (N=6)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	
3日目公開研修 (N=13)	61.5	38.5	0.0	0.0	0.0	

## 2) 教育委員会実施

### (6) まとめ

今年度は、研修内容によって方法（集合、オンライン、オンデマンド）を選択し、企画した。特に、オンライン研修を多く企画し、ウィズコロナ時代においても確実に研修が実施できるように運営した。

オンライン研修では、定員を150名以内にするこゝで、受講時の通信環境を安定させ、出席確認を実施して修了者の受講履歴を登録することができた。また、マナブルの導入により、受講者個人への情報発信や資料配布が可能となり、オンライン研修の実施体制を整えることができた。応募が多い研修は、できる限り決定者数を増やし、受講ニーズに対応した。研修評価も概ねよい結果であった。

集合研修では、グループワークを多く取り入れた研修「看護現場に活かすファシリテーション技術」の理解度、満足度、役立ち度が高く、受講者から参加型学習で多くの気づきを得たこと、楽しく学習できたことが評価された。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7研修をオンライン研修に変更したが、決定者の8割～9割が受講し、他の研修と同等であった。その要因としては、受講者へ変更の可能性があることを事前周知していたこと、マナブルによる受講者への情報発信が円滑だったことがあると考える。

オンデマンド研修は、受講しやすく好評なため、前年度より4研修多い12研修を配信した。基礎的内容は新卒対象研修の動画を活用し、継続教育では新規テーマとして「看護倫理」と「入退院支援」を追加した。評価は、基礎的内容ほど高い傾向にあり、公開研修での配信も振り返り学習として有効であったようだ。

日本看護協会と連携した研修は、前年度と同じ2テーマの企画であった「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」は、診療報酬改定に伴う受講ニーズに応え、追加研修を含め4回開催、416名が修了した。

スキルアップ研修看護研究コースは、3日間コースの評価が高く、受講者のレディネスや研究の進捗に合わせた個別指導により理解度、満足度、役立ち度が高まるようだ。

今後も、研修目標に合わせて様々な方法を検討し、会員のニーズに応え、研修参加の機会を増やすことができるように新しい取り組みをすすめていく必要がある。

## 2) 教育委員会実施

### (7) 看護実習指導者講習会フォローアップ研修

- ①目的：自己の実習指導体験を振り返り、実習指導者としての課題や今後の取り組みを明らかにすることで実習指導者のスキルアップを図る
- ②目標：1. 実習指導場面の振り返りができる  
2. 自己の課題と今後の取り組みを明らかにできる
- ③対象者：令和3年度福岡県看護実習指導者講習会受講者で研修後実習指導者の役割を経験した者
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師
R5年2/28 (火)	13:00～15:00	(演習) 実習指導における困難な場面・その理由と解決法	純真学園大学 村田 尚恵 純真学園大学 中村 健太郎
	15:00～16:00	(講義) 学生の「気づき」を引き出す実習指導	純真学園大学 村田 尚恵

### ⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
60	33	33	31

### ⑥アンケート結果 (%)

理解度 (N=30)	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない	未回答
	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=30)	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない	未回答
	86.7	13.3	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=30)	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない	未回答
	93.3	6.7	0.0	0.0	0.0

### ⑦まとめ

本年度、初めての企画研修であった。看護実習指導者講習会で学んだことを思い返して、実習指導者としての自己の役割や課題を振り返りながら今後の取り組みを明確にする機会や、コロナ禍での他施設の実習受け入れ状況などの情報交換を行う機会に繋がった。受講者からは、「学生に対するリフレクションだけでなく、自分自身の指導内容についてもリフレクションを意識し行っていきたい」「他の受講者からの意見や語り合うことで実習指導者としての自己の振り返りができた」「講習会后1年間初めて実習指導者を行い、日々これでいいのか？と自分に問いかけていた。研修を受講しリフレクションの大切さを学ぶことや自己への励みに繋がった」などの意見や評価があった。また、アンケートから「理解度」「満足度」「役立ち度」は全員が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、研修目標を達成できたと考える。

### 3) 医療安全推進委員会実施

#### (1) 医療安全管理者養成研修【e-ラーニング/演習】(日本看護協会委託)

- ①目的：所属施設及び地域で医療安全管理業務を実践できる。
- ②対象者：医療安全管理者または1年以内に医療安全管理者になる予定の者/上司の推薦があること/全時間受講可能なこと/看護師長に相当する職位以上にあることが望ましい
- ③プログラム  
 eラーニング：35時間（日本看護協会プログラム）  
 講義及び演習（オンライン）：5時間 R5年1/14、1/21 10:00～16:00  
 （福岡県看護協会にて2回に分けて実施）

内容	講師
安全文化の醸成	福岡市立こども病院 吉富 ゆかり 九州中央病院 山田 さおり

#### ④受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
120	131	127	123

※受講決定は日本看護協会が決定

#### ⑤アンケート結果

- ・安全管理業務を遂行するために必要な知識・技術について理解できたか (%)

理解度 (N=73)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	56.2	43.8	0.0	0.0	0.0

- ・5時間の集合研修を通して実践方法が理解できたか (%)

理解度 (N=73)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	42.5	54.8	1.4	0.0	1.4

※上記アンケートは日本看護協会が実施したものから一部抜粋

#### ⑥まとめ

本研修は、昨年度より日本看護協会より委託事業となった。全40時間のうち、eラーニング(35時間)以外の集合研修(講義および演習:5時間)を福岡県看護協会で開催した。2回に分けて実施し、受講定員120名に対して123名が受講した。また、開催方法については、本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催へ開催方法を変更し開催した。

オンラインであったが、事前課題として、医療安全管理者としての役割や医療安全の体制整備や組織文化の醸成方法などについて、自己の考えや意見を求めた上で演習に参加することで、グループワークでは受講者間で活発に意見交換や情報共有ができていた。

また、講義・演習内容や具体的な事例等を医療安全推進委員会の委員全員で検討し、医療安全推進委員が講義、演習を担当することで、受講者にとって実践に活用しやすい内容になったのではないかと考える。

### 3) 医療安全推進委員会実施

#### (2) リスクマネージャー研修

①日 程：6/24（金） 13:00～16:00

②対象者：医療安全管理者（専従、専任、兼任）及び医療安全管理者を目指す人

#### ③研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
薬剤関連の医療事故防止対策について	薬剤関連事インシデント事例を通して、発生要因、再発防止策、拡大防止策及び未然防止策を構築するための基礎知識を身につけることができる。	薬剤関連の医療事故防止対策について	白岡中央総合病院 渡邊 幸子

#### ④受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
60	90	89	83

※応募締切前のキャンセル含む

#### ⑤アンケート結果 (%)

理解度 (N=86)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	82.6	17.4	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=86)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=86)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0

※上記アンケートはネットアンケート実施の為、重複回答があるため、回答者数が受講者数を上回っている

#### ⑥まとめ

リスクマネージャーを対象とした研修であったため、医療安全管理者（専従、専任、兼任）の受講が61.4%となり医療安全管理者を目指す人の受講が38.6%の受講となった。立場や役職が違う中で研修の理解度、満足度、役立ち度が高く、短時間の研修かつオンライン研修であったが、わかりやすかったのではないかと考える。

#### 4) 感染管理委員会実施

##### (1) 高齢者の看護、介護における実践的感染対策研修（精神科領域を含む）

- ①目的：介護療養型医療施設・高齢者施設での認知症・高齢患者（精神科領域を含む）における感染対策を理解し、スタッフに指導できる。
- ②目標：認知症患者も含む精神科領域の感染管理に関する知識を身につける。
- ③対象者：看護職及び看護職以外も可
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師
11/25 (金)	10:00～11:00	高齢者施設の感染対策 高齢者の特性 / 高齢者介護施設の特性	飯塚病院 山下 智雅
	11:00～12:00	感染予防活動の実際	
	13:00～14:00	認知症患者も含む精神科領域における感染対策の特殊性	福岡県立 精神医療センター 太宰府病院 笹隈 友美
	14:10～15:10	高齢者施設におけるラウンドの実施状況や施設クラスターについて	コネクト合同会社 山口 征啓
	15:10～16:00	ディスカッション	飯塚病院 山下 智雅 福岡県立 精神医療センター 太宰府病院 笹隈 友美 コネクト合同会社 山口 征啓

##### ⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
150	71	64	57

##### ⑥アンケート結果 (%)

理解度 (N=34)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	70.6	29.4	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=34)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	76.5	23.5	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=34)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	79.4	20.6	0.0	0.0	0.0

##### ⑦まとめ

介護施設等において感染対策を苦慮している現状があることから、少しでも多くの方に本研修を受講していただけるよう、介護施設等へも広報を行い、研修申込みシステム以外からの申し込みも可能とした。「高齢者施設の感染対策」では、高齢者の特徴を踏まえた講義内容、「認知症患者も含む精神科領域における感染対策の特殊性」では、認知症患者も含む精神科疾患患者を対象として、特徴的な疾患の成り立ちから実際の感染対策までの講義があったため、具体的な学びが得られる内容であったと考える。

アンケートでは、特に認知症や精神科患者特有の対応を学ぶことができたという反応が多かった。また、ディスカッションで受講者からの質問に直接回答する時間をとったため、大変高評価であった。

次年度の福岡県看護協会の重点目標に「感染に関する看護職育成～介護施設等で働く看護職等が受講しやすい環境づくり」が挙げられている。そのため、次年度は本研修をオンデマンド研修とし、介護施設等の看護職員が受講しやすいようにする。また、その他の職員にも受講対象を広げ、感染管理の質の向上につなげられることを目標とする。

## 5) 災害看護委員会実施

### (1) 災害支援ナース育成研修【基礎編】(日本看護協会収録 DVD 研修)

- ① 目的：看護専門職の災害時支援者として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する災害支援ナースの役割と活動の実際を理解する。
- ② 目標：
1. 災害の種類や特徴および、過去の災害医療の教訓と我が国における災害時の医療体制の概要がわかる
  2. 災害サイクルの各期に必要な様々な場での災害看護の知識を習得する
  3. 災害時に特徴的な健康被害・疾病の病態と看護の概要がわかる
  4. 災害下での被災者および支援者のストレス反応の特徴を知り、そのケアや対処がわかる
  5. 災害時の支援者としての心構えや倫理的配慮、安全に活動するための留意事項がわかる
  6. 災害支援ナースの役割、機能、派遣の仕組みがわかる
  7. 災害支援ナースとして活動するための平時の準備ができる
  8. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる
- ③ 対象者：災害支援ナースを目指す者、または関心が高い者
- ④ プログラム ※ 1 回目：集合研修 2 回目：オンライン研修

	日程		時間	内容	講師
	1 回目	2 回目			
1 回目	7/21 (木)	9/1 (木)	9:40～12:30	災害医療の基礎知識	国立病院機構本部 DMAT 事務局 小井土 雄一
			13:30～15:30	災害時に求められる看護支援活動	国際医療福祉大学大学院 石井 美恵子
			15:40～16:30	災害時の感染対策	公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 残間 由美子
2 回目	7/22 (金)	9/2 (金)	9:30～11:00	災害時の心理変化とこころのケア	国立病院機構本部 DMAT 事務局 河寫 譲
			11:10～12:00	看護協会の災害時看護支援活動	公益社団法人 日本看護協会 鎌田 久美子
				学びの共有	福岡県看護協会 災害担当者
			13:00～14:20	災害時の他職種の役割と連携	人吉市役所 健康福祉部保健センター 久保田 美枝子
			14:30～16:00	災害支援ナースとしての活動の実際(避難所支援)	社会保険大牟田天領病院/ 福岡県看護協会災害支援ナース 清末 定美
				災害支援ナースとしての活動の実際(病院支援)	社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院/ 熊本県看護協会災害支援ナース 松野 ひとみ
			16:00～16:30	災害支援ナースとしての活動の実際(宿泊者施設支援)	医療法人弘遠会すずかけヘルスケアホスピタル/ 静岡県看護協会災害支援ナース 大場 好子
	災害支援ナースの活動報告・登録・更新の手続き	福岡県看護協会 災害看護委員 笹隈 友美			

### ⑤ 受講状況 (人)

	定員	応募数	決定者数	受講者数	修了者数
1 回目	100	87	87	76	76
2 回目				6	6

### ⑥ アンケート結果 (%)

理解度 (N=78)	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	51.3	47.4	1.3	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=78)	役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	役立たない	未回答
	75.6	23.1	0.0	0.0	1.3

### ⑦ まとめ

今年度は、7月開催の研修受講者に新型コロナウイルス感染による欠席者が多かったため、欠席者を対象に、救済措置としてのオンライン研修を9月に開催した。アンケート結果では、理解度・役立ち度ともに95%以上が理解できた・役立ったと回答があり、研修内容では、災害支援ナースの活動内容がわかりやすかったとの意見が多かった。また今年度より新たに学びの共有や災害時の感染対策の項目が入った研修となった。



## 5) 災害看護委員会実施

### (2) 災害支援ナース育成研修【実務編】

- ①目的：1. 看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者に対して有効に機能する  
2. 災害支援ナースとして他者と協働でき、自律した活動ができる
- ②目標：1. 災害支援ナースの活動の実際を想定することができる  
2. 災害支援ナースとして活動する際の基本的な心構えがわかる  
3. 災害支援ナースの活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる
- ③対象者：災害支援ナース育成研修【基礎編】受講修了者
- ④プログラム

日程		時間	内容	講師 / ファシリテーター
1日目	9/15 (木)	10:00～ 16:00	【講義】 福岡県の災害医療体制 / DHEATについて	【講師】 永野朝男（福岡県医療指導課） / 岩本治也（福岡県京築保健 福祉環境事務所） 【災害看護委員】
2日目	9/16 (金)	10:00～ 16:00	【机上シミュレーション】 災害発生から派遣～現地 での活動～帰還まで	吉開香織（川崎病院） / 川野健（済生会二日市病院） / 笹隈 友美（福岡県立精神医療センター太宰府病院） / 米川真未（福 岡大学病院） / 里将平（小倉記念病院） / 田口裕子（九州医 療センター） / 藤山貴之（福岡青洲会病院） / 真子美和（福 岡県精神保健福祉センター）

### ⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
80	72	72	69	69

### ⑥アンケート結果

(%)

理解度 (N=69)					
	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答
講義「福岡県の災害医療体制について」	34.8	60.9	2.9	0.0	1.4
講義「DHEATについて」	50.7	46.4	1.4	0.0	1.5
演習「災害発生時の情報収集」	49.3	49.3	0.0	0.0	1.4
演習「派遣決定から出発準備」	52.2	46.4	0.0	0.0	1.4
演習「携行品」	62.3	36.2	0.0	0.0	1.5
演習「災害支援ナースの心構え」	59.4	36.2	2.9	0.0	1.5
演習「チームビルディング / リーダー・メンバーの役割」	44.9	52.2	1.4	0.0	1.5
演習「移動中に行うこと」	50.7	46.4	1.4	0.0	1.5
演習「避難所における活動の原則」	44.9	52.2	1.4	0.0	1.5
演習「病院における活動の原則」	47.8	49.3	0.0	0.0	2.9
講義「避難所」について	47.8	40.6	1.4	0.0	10.2
演習「二次災害予防と安全管理」	43.5	53.6	0.0	0.0	2.9
演習「生活拠点の確保」	36.2	55.1	5.8	0.0	2.9
演習「他職種・他機関との連携」	40.6	52.2	4.3	0.0	2.9
演習「活動方針の決定・行動計画立案のための情報収集・アセスメント」	29.0	55.1	13.0	0.0	2.9
演習「新たな活動の依頼をされた時の行動」	40.6	50.7	4.3	0.0	4.4
演習「マスク対応」	44.9	50.7	2.9	0.0	1.5
演習「支援者のストレス」	43.5	53.6	0.0	0.0	2.9
演習「災害支援ナースの活動の報告」	37.7	55.1	4.3	0.0	2.9
演習「災害支援ナースの活動の記録」	39.1	52.2	5.8	0.0	2.9
演習「活動終了に向けての活動」	40.6	55.1	1.4	0.0	2.9
演習「活動の継続と収束」	33.3	59.4	2.9	0.0	4.4
演習「帰還後に行うこと」	44.9	43.5	5.8	0.0	5.8
演習「活動の成果と評価」	44.9	43.5	5.8	0.0	5.8

### ⑦まとめ

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、2会場を Zoom でつなぎ開催した。Zoom の操作に多少時間を要したが、比較的スムーズに実施できた。アンケート結果では、ほぼ全ての項目で「理解できた」「まあまあ理解できた」との回答が90%を超えており、講義とグループワークを通して災害支援ナースとしての活動の実際をイメージすることが出来たと考える。「フレームワークの考え方が現場で役立つ」「何のために・誰のためにの視点を常に持ちたい」との感想も聞かれた。今年度は、研修受講者の約6割が災害支援ナース登録に繋がった。

## 5) 災害看護委員会実施

### (3) 災害支援ナースフォローアップ研修

- ①目的：1. 看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者に対して有効に機能する  
2. 災害支援ナースとして他者と協働でき、自律した活動ができる
- ②目標：1. 平時から災害支援ナースとしての必要な自己完結型の心構えが分かる  
2. 災害支援ナースとして、災害のフェーズを捉え、活動場所の状況にあった活動方針を立案することができる  
3. 災害支援ナースとして、活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる  
4. 災害支援に関する最新の動向や情報が理解できる
- ③対象者：災害支援ナース登録者
- ④プログラム

日程	時間	内容	講師 / ファシリテーター
11/17 (木) ・ 11/18 (金)  同内容を 2日間実施	10:00 ~ 16:30	<b>【講義】</b> 福岡県の災害医療体制 / DHEATについて <b>【グループワーク】</b> 派遣要請から出勤までの流れ、活動計画立案の考え方 / 情報整理、アセスメント、問題点の抽出 / 活動方針の立案 / 事例検討 / 活動報告 / 各フェーズのポイント	<b>【講師】</b> 永野朝男 (福岡県医療指導課) / 伊勢真美子 (粕屋保健福祉事務所) / 高田淳子 (田川保健福祉事務所) <b>【災害看護委員】</b> 吉開香織 (川崎病院) / 川野健 (済生会二日市病院) / 笹隈友美 (福岡県立精神医療センター太宰府病院) / 米川真未 (福岡大学病院) / 里将平 (小倉記念病院) / 田口裕子 (九州医療センター) / 小畑亜希子 (飯塚病院) / 村上貴子 (九州病院) / 藤山貴之 (福岡青洲会病院) / 真子美和 (福岡県精神保健福祉センター)

### ⑤受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
100	132	132	124	124

### ⑥アンケート結果 (%)

理解度 (N=58)	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答
講義「福岡県の災害医療体制について」	41.9	57.3	0.8	0.0	0.0
講義「DHEATについて」	41.9	56.5	1.6	0.0	0.0
派遣要請から出勤までの流れについて	66.1	33.9	0.0	0.0	0.0
災害医療の原則 (CSCA) に沿って情報を整理し、アセスメントすること	39.5	54.9	3.2	0.0	2.4
災害のフェーズを捉え、活動場所の状況に応じた活動方針を立案する	37.1	58.9	2.4	0.0	1.6
研修を通してチームビルディングが理解できたか	37.9	54.9	2.4	0.0	4.8
活動報告、事例検討を通して実際の活動がイメージできたか	37.9	54.9	2.4	0.0	4.8
本日学んだ思考過程を活用し、チームでの活動方針の立案ができるか	18.6	73.4	4.8	3.2	0.0

### ⑦まとめ

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、グループワークは2会場で実施、講義やグループ発表は一同に会して実施したが、運営はスムーズにできた。アンケート結果では、全ての項目で「理解できた」「まあまあ理解できた」との回答が90%を超えており、ほぼ目標は達成したと考える。今年度は新たに事例を作成し、実際の派遣時のアセスメントや活動計画等を提示する等、よりリアルに体験できる工夫を行った。

## 6) 助産師職能委員会実施

### (1) シンポジウム【オンライン研修】

①日程：11/19(土)

②対象者：保健師、助産師、看護師、准看護師

③研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
母子とその家族のための地域包括ケア研修 『困難を抱える母子とその家族のための地域包括ケア』シンポジウム	1)DV や望まない妊娠などの特定妊婦や、産前産後ケアなど、様々な分野における講演を通して、母子支援の実際を知ることができる。 2)意見交換を通して、母子支援に関する知見を得ることができる。	1)特定妊婦への支援 2)産後ケア(NPO法人にこりでの取り組み) 3)特別養子縁組制度について 4)DVと子どもDVが及ぼす母子への影響	九州大学病院 梶原 世津 NPO法人にこり 松丸 実奈 福岡県福岡児童相談所 立石 郁子 S・ぱ〜ぶるリボン 甲木 京子

④受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
80	73	73	69

⑤アンケート結果 (%)

満足度(N=42)	非常に満足	満足	やや不満	不満	未回答
	40.5	57.1	2.4	0.0	0.0

(%)

役立ち度(N=42)	活かせる	活かせると思わない	未回答
	95.0	5.0	0.0

⑥まとめ

近年、少子化やハイリスク妊産婦の増加など、母子を取り巻く環境には課題が多くある。そのような状況の中で日本看護協会では、母子のための地域ケアシステムを推進している。

初めて開催したこのシンポジウムでは、助産師・看護師・保健師の他、ソーシャルワーカーの参加もあった。アンケートの中で参加理由として、「講演のテーマに興味を持った」の他、「特定妊婦の対応をしており、学びを深めたい」「地域包括ケアについての状況を知りたい」という声があり、対応困難な事例を経験し、学びを深めたいという参加者の思いがあった。

また、「知識を得ることができた」「現場での支援の具体策が見つかった」という業務上で役立つ知識を身に付けられたという意見の他、「私たちが地域や関係機関に繋ぎ、母子と伴走することの大切さがわかった」という声があった。

母子に関わる受講者それぞれが、母子の立場を考え、多職種で繋がることの大切さを感じられるシンポジウムとなった。

## 7) 看護師職能委員会 I 実施

### (1) 集合研修

#### ① 研修内容

研修テーマ	主な内容	講師
看護実践ユマニチュード研修 / 准看護師の進学支援	ユマニチュードを学び看護実践に活かす / 准看護師進学支援	福岡脳神経外科病院 杉本 智波 専門学校麻生看護大学校 高橋 洋子
特定行為研修	特定講師研修修了者の実践報告 / 医師の立場からみた特定行為研修制度	福岡市民病院 原 裕次 白十字病院 牛島 めぐみ 佐賀大学医学部附属病院 江村 正
看護管理者研修及び交流会	地域包括ケア推進に向けた外来看護師の役割発揮 / 多職種とのタスクシェア・タスクシフト実践報告 / 意見交換会	日本看護協会 鎌田 久美子 福岡赤十字病院 不動寺 美紀 福岡大学筑紫病院 和田 加代

#### ② 受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
看護実践ユマニチュード研修 / 准看護師の進学支援	7/30 (土)	1	100	29	27	22
特定行為研修	9/10 (土)	1	55	36	33	31
看護管理者研修及び交流会	11/5 (土)	1	85	44	43	42

#### ③ アンケート結果

(%)

役立ち度	研修テーマ	とても役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	全く役立たない	未回答
	看護実践ユマニチュード研修 / 准看護師の進学支援 (N=20)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	特定行為研修 (N=31)	48.4	51.6	0.0	0.0	0.0
	看護管理者研修及び交流会 (N=41)	53.7	46.3	0.0	0.0	0.0

#### ④まとめ

当委員会では、福岡県看護協会の動向と重点事業の活動を核に、病院で働く看護師や准看護師の皆様の看護実践能力や看護管理能力の向上のために次の3つの研修を企画した。

##### 【看護実践研修会（ユマニチュード研修）と准看護師の進学支援】

ユマニチュードインストラクターの資格を持つ講師より、「看護実践ユマニチュード」をテーマにユマニチュードの「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱と5つのステップとして①出会いの準備、②ケアの準備、③知覚の連結、④感情の固定、⑤再会の約束など、具体的なケア方法について講義をして頂いた。参加者からは、「わかりやすく、面白かった」「明日からの看護実践に役立てていきたい」と患者さんと向き合う具体的な学びとなった。

〈進学説明会〉通信制学校の特徴や学習方法、奨学金制度の説明があり、「進学を検討している」「現在進学中」の参加者からは、具体的な支援方法の説明を受け「進学を検討しており、良い刺激になり気持ちが高まった」「具体的な内容を知ることができ、役に立った」などの意見が聞かれた。今後も実践に役立つ内容や准看護師から進学した経験者の話が聞ける企画をしたい。

##### 【特定行為研修】

今回の内容は、医師の立場から看護師に期待していることを講演してもらい、特定行為研修修了者から活動の実践を報告してもらった。会場からの質問も活発で、関心の高い研修会となった。参加者は、特定行為研修を受講しようと考えている方や、研修修了後に活動方法を模索している方で、「具体的な実践内容を聞くことができ、これからの組織内の体制づくりに生かしたい」「自分の今後の活動について暗中模索状態だったが、今回の講演を聞いて糸口が見つかった」「特定行為を目指そうと考えるきっかけとなった」などの意見が多かった。今後も継続研修として企画していきたい。

##### 【看護管理者研修及び交流会】

###### ～地域包括ケアにおける外来看護師役割発揮～多職種連携・タスクシェアシフト～

全世代型地域包括ケア時代を迎えて、看護職の役割拡大や外来に焦点を当てて多職能連携やタスクシェアシフトについて交流会を企画した。鎌田理事より日本看護協会が目指している取り組みや外来看護に求められていることについて講話、実践報告として慢性看護専門看護師の多職種連携・チーム医療の実際、認定看護管理者が救急外来から地域へつなぐ連携体制の仕組みづくりの実際について報告をいただいた。交流会では、各施設が取り組んでいることや、自施設で取り組む課題などについて活発な意見交換が行われた。また福岡県職員の参加もあり、行政との連携を考える有意義な時間となった。参加者の88%が看護管理者で、「地域へつなぐ、行政との連携の重要性を実感した」「自施設の取り組みの参考になった」「看護の役割を地道に果たしていくことの大切さを学んだ」などの意見があり、全員から「役立つ」と回答があった。

以上の結果を踏まえて、次年度も看護の質の向上に役立つ研修を企画する。

## 8) 看護師職能委員会Ⅱ実施

### (1) 集合研修

#### ①研修内容

研修テーマ	主な内容	講師
在宅・施設看取り研修 ※オンライン研修	在宅での看取りに関わる看護職間の情報共有、連携の推進	たろうクリニック 内田 直樹
在宅・施設管理者研修会	在宅・施設管理者のマネジメント力向上（活気ある職場づくりについて）	一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 上野 恵利子

#### ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
在宅・施設看取り研修	9/10 (土)	1	100	116	74	64
在宅・施設管理者研修会	11/12 (土)	1	50	31	31	31

#### ③アンケート結果

(%)

	研修テーマ	とても役立つ	やや役立つ	あまりできない	できない	未回答
役立ち度	在宅・施設看取り研修 (N=57)	79.0	21.0	0.0	0.0	0.0
	在宅・施設管理者研修会 (N=31)	93.5	6.5	0.0	0.0	0.0

#### ④まとめ

##### 【在宅・施設看取り研修】

受講者は非常に熱心に講義を受け、アンケート結果では好評な意見が多く満足度も高かった。

目標とした在宅施設看取りの良い情報を得ることができ、今後の実践につながると考える。来年度は、受講者から要望のあった ACP を中心とした研修を企画する予定。

昨年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン研修としたがグループワーク時、パソコン操作が苦手な受講者がいた。今後の対応が必要。

##### 【在宅・施設管理者研修会】

アンガーマネジメントの講義を受けることにより、怒りのコントロールや教育的なしかり方を理解し、管理者としてのマネジメント力向上、活気ある職場づくりの視点を持つことにつながり研修の目的に沿う形となった。グループワークも管理者同士の交流の場となり良い効果を上げた。アンケート結果も満足度が高かった。来年度も活気ある職場づくりができる研修の企画を予定。

# I. 教育研修事業 (教育研修分類 2)

## 2. ラダーと連動した継続教育

### 1) 助産師職能委員会実施





# 1) 助産師職能委員会実施

## (1) 新人助産師研修【オンライン研修】

- ①目的：助産基礎教育からの継続教育を行い、臨床助産能力を高め助産師人材教育を行う。
- ②対象者：助産師経験3年目までの助産師
- ③プログラム

日程		時間	主な内容	講師
1日目	7/16 (土)	10:00～16:00	CTG モニター・母体合併症・産科出血	久留米大学医学部 吉里 俊幸
2日目	7/30 (土)	10:00～16:00	新生児のフィジカルアセスメント・愛着形成 乳房管理・授乳	福岡市立こども病院 金城 唯宗 葉っぱ助産院 山田 葉子
3日目	8/20 (土)	10:00～16:00	妊娠期の助産診断とアセスメント 正常分娩の助産診断とアセスメント 分娩介助の実際(演習)	帝京大学 椎葉 三千代 東野産婦人科 原 博美 産業医科大学病院 荒田 友里 愛和病院 田中 啓子 大牟田市立病院 長田 美智子
4日目	9/3 (土)	10:00～16:00	助産の起源・哲学 助産師の役割・助産師の倫理 目標とする助産師像	国際医療福祉大学大学院 佐藤 香代

## ④受講状況 (人)

日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
1日目	40	53	53	51
2日目				51
3日目				51
4日目				49

## ⑤アンケート結果 (%)

理解度 (N=46)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	45.7	54.3	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=46)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	45.7	52.1	2.2	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=46)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	37.0	56.5	6.5	0.0	0.0

## ⑥まとめ

助産基礎教育からの継続教育と臨床実践能力を高める助産師人材育成を行う目的で新人助産師研修を開催している。新人助産師として必要な専門的知識や技術の習得ができ、他施設の助産師との交流が図れ、新人助産師としてのスキルとモチベーションを高める研修となっており、次年度も開催を継続とする。

## 1) 助産師職能委員会実施

### (2) 院内助産スキルアップ研修【オンライン研修】

- ①目的：1. 多様化、複雑化する社会のニーズに対応し、質の高い助産を提供できる人材を育成する。  
2. 助産師のコア・コンピテンシーをもとに、高い倫理観と専門性に基づく助産が提供できる人材を育成する。  
3. 自らキャリアを開発し、自律した行動がとれる人材を育成する。
- ②目標：1. 知識・技術をブラッシュアップすることができる。  
2. 助産師に求められる役割を再認識し、自施設の改善に向けた新たな提案ができる。  
3. アドバンス助産師に必要なスキルを習得し、自己のキャリア開発に活用することができる。

③対象者：助産師

#### ④プログラム

日程	時間	内容	講師	
1日目	5/15 (日)	10:00～12:00	助産師出向システム ～助産師活用推進事業に係る 実態調査から～	田中産婦人科クリニック 石田 麗子
	13:00～16:10	母子のための地域包括ケアシステム ～切れ目のない母子支援を目指して～	福岡県健康増進課 近藤 くみ子 八女市子育て支援課 鷹尾 智穂 聖マリア病院 二田 佳支子	
2日目	5/29 (日)	10:00～12:00	産後ケア	助産院 mamita (マミータ) 田中 みちえ
	13:00～16:00	プレコンセプションケア	井上善レディースクリニック 松尾 則子	
3日目	6/11 (土)	10:00～16:00	助産師のコア・コンピテンシー / 助産師 のキャリア開発	国際医療福祉大学大学院 佐藤 香代

#### ⑤受講状況 (人)

日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
1日目	40	21	21	20
2日目	40	21	21	20
3日目	40	21	21	20

#### ⑥アンケート結果 (%)

役立ち度 (N=20)	強く思う	思う	あまり 思わない	思わない	未回答
	65.0	30.0	0.0	0.0	5.0

#### ⑦まとめ

院内助産システムを推進し、助産専門職としての役割を社会に発信できる人材を育成することを目的に、院内助産スキルアップ研修（全3日間）を開催している。昨年度に続き今年度も感染対策のため Zoom を活用したリアルタイム型オンライン研修開催となった。

アンケート結果では「自分自身が考えている以上に時代が変化していること、専門職としてブラッシュアップが必要であることを痛感した。また、未来に希望が持てた」などの声が聞かれ、本研修が助産師のキャリア開発の方向づけの機会となった、と考える。

# I . 教育研修事業 (教育研修分類 3)

## 3 . 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進 するための力量形成に向けた継続教育

### 1) 教育委員会実施



# 1) 教育委員会実施

## (1) 集合研修

### ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
中途採用者が定着する職場づくり	中途採用者が働き続けられるための支援について学ぶ	中途採用者の背景・特徴 / 中途採用者の教育の問題と課題 / 中途採用者の支援体制 / 現場での取り組み (意見交換・グループワーク)	日本看護キャリア開発センター 下山 節子

### ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
中途採用者が定着する職場づくり	11/9 (水)	1	60	78	60	53

### ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答
	中途採用者が定着する職場づくり (N=51)	84.3	13.7	0.0	2.0	0.0

(%)

満足度	研修テーマ	満足できた	まあまあ満足できた	あまり満足できなかった	満足できなかった	無回答
	中途採用者が定着する職場づくり (N=51)	86.3	11.8	0.0	1.9	0.0

(%)

役立ち度	研修テーマ	役立つ	まあまあ役立つ	あまり役立たない	役立たない	無回答
	中途採用者が定着する職場づくり (N=51)	86.3	11.8	0.0	1.9	0.0

# 1) 教育委員会実施

## (2) オンライン研修

### ①研修内容

研修テーマ	目標	主な内容	講師
看護管理者が行うスタッフのストレスマネジメント	活力のある職場づくりに向けた、看護管理者によるスタッフのストレスマネジメントを学ぶ	ストレスとストレスマネジメント / ラインケアとは / スタッフを元気にするための演習	神戸大学医学部附属病院 倉持 裕子
WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～ 【1回目】【2回目】	円滑な人間関係を築くための交渉術について理解する	交渉の基本的な考え方 / 交渉のテクニック / 医療現場に活かす交渉術 / 看護管理者としての交渉術 (演習)	上都賀総合病院 齋藤 由利子
看護マネジメントリフレクション	自分の看護管理実践を振り返ることができる	看護マネジメントリフレクションとは / 看護マネジメントリフレクションにおける概念化 / 演習	株式会社サフィール 河野 秀一
リーダーシップ入門編	職場における自己の役割を知り、リーダーシップを発揮する能力を高める	リーダーシップについて / リーダーに求められるスキル / リーダーシップとマネジメントとの違い / 自己の振り返り	山口大学医学部附属病院 原田 美佐
新人看護師の社会人基礎力の育て方	看護師の社会人基礎力の育て方について、新人看護師育成の視点から学ぶ	看護職としての社会人基礎力とは / ウイズコロナ時代の新人看護師を取り巻く現状と課題 / 社会人基礎力育成のポイント / 事例を通して育て方、関わり方を考える	聖マリアンナ医科大学 高橋 恵
看護現場を変える0から8段階のプロセス ～コッターの企業変革の看護への応用～	コッターの企業変革を用いて組織変革の方法を学ぶことができる	組織変革とは / コッターの企業変革8段階 / 看護現場への効用 (演習)	日本赤十字九州国際看護大学 倉岡 有美子
地域包括ケア時代に看護管理者が取り組む地域連携体制を考える	地域医療構想 (医療・看護の動向、疾病構造や住民の特徴など)を知ることができる / 地域医療構想から地域のニーズに基づいた看護実践及び管理の実際を知ることができる / 地域の看護ニーズと自部署の看護実践における課題を分析し、看護管理者としての役割を考えることができる	地域包括ケアの中での地域連携や多職種連携のあり方 / 地域における看護ニーズの分析に基づいた看護管理者としての役割 / 地域の看護ニーズと自部署の看護実践における課題分析および看護管理者の役割 (演習)	福岡県高齢者地域包括ケア推進課 若松 倫子  株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美

### ②受講状況

(人)

研修テーマ	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
看護管理者が行うスタッフのストレスマネジメント	7/26 (火)	1	60	108	60	48
WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～ 【1回目】	8/5 (金)	1	60	59	59	48
WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～ 【2回目】	8/8 (月)	1	60	55	55	47
看護マネジメントリフレクション	9/21 (水)	1	60	89	64	55
リーダーシップ入門編	9/29 (木)	1	100	166	166	151
新人看護師の社会人基礎力の育て方	10/18 (火)	1	150	152	152	137
看護現場を変える0から8段階のプロセス ～コッターの企業変革の看護への応用～	12/12 (月)	1	60	93	60	55
地域包括ケア時代に看護管理者が取り組む地域連携体制を考える	R5年2/1 (水)	1	60	41	41	36

## ③アンケート結果

(%)

理解度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理者が行うスタッフのストレスマネジメント (N=44)	84.1	15.9	0.0	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【1回目】(N=46)	60.9	37.0	2.1	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【2回目】(N=48)	70.8	27.1	0.0	2.1	0.0
	看護マネジメントリフレクション (N=51)	80.4	19.6	0.0	0.0	0.0
	リーダーシップ入門編 (N=131)	66.4	32.8	0.0	0.8	0.0
	新人看護師の社会人基礎力の育て方 (N=131)	67.2	32.8	0.0	0.0	0.0
	看護現場を変える0から8段階のプロセス ～コッターの企業変革の看護への応用～ (N=56)	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0
	地域包括ケア時代に看護管理者が取り組む地域 連携体制を考える (N=34)	73.5	26.5	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理者が行うスタッフのストレスマネジメント (N=44)	86.4	13.6	0.0	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【1回目】(N=46)	67.4	30.4	2.2	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【2回目】(N=48)	85.4	12.5	0.0	2.1	0.0
	看護マネジメントリフレクション (N=51)	86.3	13.7	0.0	0.0	0.0
	リーダーシップ入門編 (N=131)	62.6	34.4	1.5	0.8	0.7
	新人看護師の社会人基礎力の育て方 (N=131)	67.2	32.8	0.0	0.0	0.0
	看護現場を変える0から8段階のプロセス ～コッターの企業変革の看護への応用～ (N=56)	69.6	30.4	0.0	0.0	0.0
	地域包括ケア時代に看護管理者が取り組む地域 連携体制を考える (N=34)	61.8	38.2	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	研修テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理者が行うスタッフのストレスマネジメント (N=44)	84.1	15.9	0.0	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【1回目】(N=46)	65.2	32.6	2.2	0.0	0.0
	WinWinの交渉術 ～交渉を心から楽しもう～【2回目】(N=48)	62.5	33.3	0.0	4.2	0.0
	看護マネジメントリフレクション (N=51)	82.4	17.6	0.0	0.0	0.0
	リーダーシップ入門編 (N=131)	64.9	34.4	0.0	0.7	0.0
	新人看護師の社会人基礎力の育て方 (N=131)	71.0	28.2	0.0	0.0	0.8
	看護現場を変える0から8段階のプロセス ～コッターの企業変革の看護への応用～ (N=56)	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0
	地域包括ケア時代に看護管理者が取り組む地域 連携体制を考える (N=34)	76.5	23.5	0.0	0.0	0.0

# 1) 教育委員会実施

## (2) スキルアップ研修 看護管理コース (5日間)

①目標：看護管理に必要な基本的知識・技術を習得できる。

- ②受講資格：1) 日本国の看護師免許を有するもの  
 2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上にある者  
 3) 管理的業務に関心がある者

### ③プログラム

	日程	テーマ	内容	講師
1日目	11/26 (土)	看護管理概論	看護管理概論 / 看護部の組織と責任 / 看護管理者に期待される役割	福岡看護大学 飯野 英親
2日目	11/28 (月)	看護実践における倫理 ※公開研修	専門職としての責務と法的根拠 / 看護師の倫理綱領 / 看護師の倫理的意思決定の基盤となる概念	千葉大学大学院 手島 恵
3日目	11/29 (火)	社会保障制度と看護サービスの経済性	社会保障制度と医療経済 / 保健医療福祉サービス提供体制 / 診療報酬制度における看護サービス評価 / 労務管理	社会医療法人喜悦会 樋口 広行
4日目	12/5 (月)	組織マネジメント	組織マネジメントの実際 / 組織の意思決定と変革 / 目標管理 / 看護チームのマネジメントとリーダーシップ	九州大学病院 濱田 正美
5日目	12/6 (火)	キャリア開発と人材育成	人材育成の基礎知識 (成人学習の原理、役割理論、動機づけ理論、コーチング) / 人材を育てるマネジメント / キャリア開発支援と人材育成計画	北九州市立医療センター 杉本 優子

### ④受講状況 (人)

	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
スキルアップ	60	84	60	59	56
公開研修	100	22	18	17	

### ⑤アンケート結果 (%)

理解度	テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理概論 (N=57)	66.7	29.8	1.8	1.7	0.0
看護実践における倫理 (N=57)	82.5	12.3	3.5	1.7	0.0	
社会保障制度と看護サービスの経済性 (N=57)	63.2	29.8	7.0	0.0	0.0	
組織マネジメント (N=57)	73.7	21.1	3.5	1.7	0.0	
キャリア開発と人材育成 (N=57)	82.5	8.8	1.8	3.4	3.5	
公開研修 (N=9)	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	

(%)

満足度	テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理概論 (N=57)	71.9	21.1	3.5	1.7	1.8
看護実践における倫理 (N=57)	84.2	8.8	3.5	3.5	0.0	
社会保障制度と看護サービスの経済性 (N=57)	78.9	17.5	1.8	1.8	0.0	
組織マネジメント (N=57)	75.4	19.3	1.8	3.5	0.0	
キャリア開発と人材育成 (N=57)	86.0	5.3	1.8	3.4	3.5	
公開研修 (N=9)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	

(%)

役立ち度	テーマ	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
	看護管理概論 (N=57)	78.9	17.5	1.8	0.0	1.8
看護実践における倫理 (N=57)	80.7	14.0	3.5	1.8	0.0	
社会保障制度と看護サービスの経済性 (N=57)	64.9	31.6	3.5	0.0	0.0	
組織マネジメント (N=57)	75.4	21.1	1.8	1.7	0.0	
キャリア開発と人材育成 (N=57)	87.7	5.3	0.0	3.5	3.5	
公開研修 (N=9)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	



## 1) 教育委員会実施

### (3) まとめ

ウィズコロナ時代においても確実に研修が実施できるよう、研修の多くをオンラインで開催した。定員を超える応募があった場合には、演習内容を考慮して決定者数を増やすよう検討した。オンラインによるグループワークも比較的順調に実施でき、受講者が自主的に Web 会議システムの機能を活用し、演習をすすめる様子もあった。評価は、研修方法による大きな差もなく、概ねよい結果であった。

スキルアップ研修は、予定通り集合研修で開催した。5日間のうち4日間でグループワークがあり、受講者間の意見交換や情報交換の機会を得ることができた。アンケート評価の理解度、満足度、役立ち度は、5日間いずれも同程度で良い結果だった。受講者からは「管理についてわからないことが多かったが、今回の研修で管理の視点を学ぶことができた」「グループワークで情報交換や課題に取り組むことが良い経験となった」と感想があった。以上より看護管理の基本について、学びを深めることができたと考える。



## Ⅱ. 教育研修事業 (教育研修分類 5)

### 1. 資格認定教育

- 1) 認定看護管理者教育課程 (認定看護管理者教育運営委員会)
  - (1) ファーストレベル
  - (2) セカンドレベル
  - (3) サードレベル
- 2) 認定看護師教育課程
  - (1) 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程



# 1) 認定看護管理者教育課程（認定看護管理者教育運営委員会）

## (1) 第37回 第38回 ファーストレベル教育課程

- ①教育目的：看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する
- ②到達目標：1.ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる  
2.組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる  
3.看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる
- ③受講要件：1.日本国の看護師免許を有する者  
2.看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者  
3.管理業務に関心がある者

### ④カリキュラム

教科目	時間数	単元	教育内容	講師
特別講義	3	1)論文・レポートの書き方	論文・レポートの基本構成 / 論文・レポートの書き方の基本 / 基本的な思考法 / 論文・レポートの体裁 / 文献活用の方法	日本看護キャリア開発センター 下山 節子
ヘルスケアシステム論Ⅰ	15	1)社会保障制度概論	社会保障制度の体系 / 社会保障の関連法規	九州大学大学院医学研究院 馬場園 明
		2)保健医療福祉サービスの提供体制	保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム / 地域共生社会	さくら病院 吉瀬 由美
		3)ヘルスケアサービスにおける看護の役割	看護連携/地域連携における看護職の役割 保健医療福祉関連職種を理解 看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規/倫理綱領/看護業務基準	一般財団法人平成紫川会 玉井 照美
組織管理論Ⅰ	15	1)組織マネジメント概論	組織マネジメントに関する基礎知識/看護管理の基礎知識	日本赤十字九州国際看護大学 倉岡 有美子
		2)看護実践における倫理	看護実践における倫理的課題 / 倫理的意思決定への支援	第一薬科大学 中尾 久子
人材管理Ⅰ	30	1)労務管理の基礎知識	労働法規 / 就業規則 / 健康管理(メンタルヘルスを含む) / 雇用形態 / 勤務体制 / ワークライフバランス / ハラスメント防止	社会医療法人喜悦会 樋口 広行 千早病院 山本 美子
		2)看護チームのマネジメント	チームマネジメント / リーダーシップとメンバーシップ / コミュニケーション 看護ケア提供方式 / ファシリテーション / 准看護師への指示と業務 / 看護補助者の活用	九州大学大学院 人間環境学研究院 山口 裕幸 小倉記念病院 松岡 さおり
		3)人材育成の基礎知識	成人学習の原理 / 役割理論 / 動機づけ理論 人材育成の方法	九州大学大学院医学研究院 能登 裕子 日本看護キャリア開発センター 江藤 節代
資源管理Ⅰ	15	1)経営資源と管理の基礎知識	診療・介護報酬制度の理解 / 経営指標の理解 / 看護活動の経済的効果	九州大学大学院医学研究院 馬場園 明 産業医科大学病院 三輪 ゆかり
		2)看護実践における情報管理	医療・看護情報の種類と特徴 / 情報管理における倫理的課題 (情報リテラシー)	福岡看護大学 飯野 英親
質管理Ⅰ	15	1)看護サービスの質管理	看護サービスの基本概念	山口大学大学院 角田 由佳
			看護サービスの質評価と改善 / 看護サービスの安全管理 / 看護サービスと記録	九州がんセンター 赤星 誠美
統合演習Ⅰ	21	演習	学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する	筑後市立病院 大塚 まり子 聖マリア病院 神代 明美 福岡徳洲会病院 瀬上 希代子 大手町病院 高崎 玲子 福岡記念病院 野田 建二 福岡大学筑紫病院 山口 美和 嘉麻赤十字病院 山本 由香 糸島医師会病院 横田 敏子 福岡県看護協会 本多 里美
合計	114時間			

## ⑤受講状況

(人)

	実施日	教育日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
第37回	6/2(木)～8/5(金)	21日間	60	144	61	62
第38回	10/5(水)～12/8(木)	21日間	60		61	59

修了者数および認定者数・累計

(人)

令和3年度(第36回)までの累計	3,745
令和4年度(第37回)修了者数	62
令和4年度(第38回)修了者数	59
令和4年度(第37回 第38回)までの累計	3,866

## ⑥アンケート結果

(1) 自己の学習への取り組みに対する評価(教科目別平均)

4段階評価 3～0点

開催回	教科目	事前に十分に準備をして講義・演習に臨んだ	主体的に積極的に講義・演習に取り組んだ	集団の一員として学びやすい環境づくりに取り組んだ	提示された内容を含め十分に事後学習に取り組む予定である	シラバスに提示された教育目的・目標を達成した	今後の学習意欲が高まった
第37回	特別講義(レポートの書き方)	2.1	2.5	2.6	2.8	2.2	2.7
	ヘルスケアシステム論 I	2.1	2.5	2.6	2.6	2.4	2.7
	組織管理論 I	2.4	2.7	2.8	2.8	2.7	2.8
	人材管理 I	2.3	2.7	2.7	2.7	2.6	2.7
	資源管理 I	2.2	2.6	2.6	2.7	2.5	2.6
	質管理 I	2.4	2.6	2.7	2.7	2.6	2.7
	統合演習 I	2.8	2.9	2.8	2.9	2.7	2.9
第36回	特別講義(レポートの書き方)	2.1	2.6	2.7	2.8	2.3	2.8
	ヘルスケアシステム論 I	2.1	2.6	2.7	2.8	2.3	2.8
	組織管理論 I	2.4	2.8	2.9	2.9	2.7	2.9
	人材管理 I	2.4	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8
	資源管理 I	2.3	2.7	2.8	2.8	2.7	2.7
	質管理 I	2.3	2.8	2.9	2.8	2.8	2.9
	統合演習 I	2.8	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9

## ⑦まとめ

今年度も新型コロナウイルス感染症禍での開催であったが、感染症対策を行いながら、前・後期2回ともに集合での研修開催ができた。期間中流行期と重なり、来館できない受講者が多くなる時期もあったが、講義や演習、統合演習 I のプレゼンテーション発表をオンライン受講とした。

受講者は積極的に取り組み、受講者同士の意見交換も活発で、交流も盛んにおこなわれていた。受講者の自己評価では「研修への主体的取り組み」「今後の学習意欲の高まり」が高く、また、教科目では統合演習 I が高評価であり、課題取り組みへの達成感があったようである。受講者同士の交流や、統合演習 I の取り組みについての感想が多く寄せられ、看護管理への関心が高まったようであった。

# 1) 認定看護管理者教育課程（認定看護管理者教育運営委員会）

## (2) 第23回セカンドレベル教育課程

- ①教育目的：看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。
- ②到達目標：1. 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。  
2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。
- ③受講要件：1. 日本国の看護師免許を有する者  
2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者  
3. 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者、または、看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者
- ※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す。

### ④カリキュラム

教科目	時間数	単元	教育内容	講師
ヘルスケアシステム論Ⅱ	15	1) 社会保障制度の現状と課題	日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の（財源）構造と推移	九州大学大学院医学研究院 馬場園 明
		2) 保健医療福祉サービスの現状と課題	保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、 訪問看護ステーション等	株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美
		3) ヘルスケアサービスにおける多職種連携	多職種によるチームケア提供の実際と課題	医療法人相生会 松永 由紀子
組織管理論Ⅱ	30	1) 組織マネジメントの実際	組織分析 組織の変革 組織の意思決定	桜十字病院 菊池 健 医療法人社団福寿会 深澤 優子 九州大学病院 濱田 正美
		2) 看護管理における倫理	看護管理における倫理的課題 看護管理における倫理的意思決定	第一薬科大学 中尾 久子
		3) 教科目演習	看護管理における倫理的課題を共有し、 どのように意思決定を行うか検討する	長崎医療センター 西山 ゆかり 済生会福岡総合病院 大嶋 由紀
人材管理Ⅱ	45	1) 人事・労務管理	人員配置／勤務計画／ワークライフバランスの推進／タイムマネジメント／労働災害とその対策／労務管理に関する今日的課題	九州医療センター 原田 久美子
			ストレスマネジメント ハラスメント予防策と対応	大分県立看護科学大学 廣田 真里
		2) 多職種チームのマネジメント	人的資源の活用	久留米大学 古村 美津代
			リーダーシップの実際／コンフリクトマネジメント／看護補助者の育成	大分中村病院 岐部 千鶴
		3) 人材を育てるマネジメント	キャリア開発支援	日本赤十字九州国際看護大学 阿部 オリエ
人材育成計画	兵庫医科大学病院 丸山 美津子			
4) 教科目演習	看護師のキャリア開発、人材育成の視点で自部署の現任教育の在り方を分析し、成長し続ける教育システムを考える	北九州市立医療センター 杉本 優子 社会医療法人親仁会 坂本 幸穂		
資源管理Ⅱ	15	1) 経営資源と管理の実際	医業収支／経営指標の活用／費用対効果	九州大学 尾形 裕也
			適切な療養環境の整備	(株)日本メディカルプロパティマネジメント 相馬 陽胤
2) 看護管理における情報管理	看護の評価・改善のための情報活用	福岡看護大学 飯野 英親		
質管理Ⅱ	30	1) 看護サービスの質保証	クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	福岡県立大学 石田 智恵美 山口大学大学院 角田 由佳 桜十字福岡病院 中川 朋子
			2) 安全管理	安全管理の実際／安全管理教育／法令遵守／災害対策

教科目	時間数	単元	教育内容	講師
統合演習Ⅱ	45	1) 統合演習ⅡA	自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する	千早病院 山本 美子
				社会保険田川病院 井原 資子
				福岡大学筑紫病院 原田 英美
				福岡赤十字病院 山根 理恵子
				産業医科大学病院 深川 直美
		福岡県看護協会 大浦 一美		
2) 統合演習ⅡB	地域包括ケアシステムの実現に向け、多職種連携、他施設連携のあり方について理解を深め、自部署の課題を明らかにし、解決策を考える	飯塚病院 田村 美恵		
		原三信病院 宮崎さとみ		
3) 実習	地域連携を理解するための自施設実習を行う	福岡県看護協会 大浦 一美		
		各施設看護管理者		
合計 180時間				

⑤受講状況 (人)

実施日	教育日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
9/8(木)～12/16(金)	33日間	40	40	40	40

修了者数および認定者数・累計 (人)

令和3年度までの累計	1,115
令和4年度修了者数	39
令和4年度までの累計	1,154

⑥アンケート結果

(1) 講義・演習評価<自己評価> (教科目別平均)

4段階評価 3～0点

教科目	私は、提示された事前学習を含め十分に準備をして講義・演習に臨んだ	私は、主体的に講義・演習に取り組んだ	私は、講義・演習中、集団の一員として学びやすい環境づくりに取り組んだ	私は、提示された内容を含め十分に事後学習に取り組み予定である	私は、シラバスに提示された教育目的及び到達目標を達成した	私は今後の学習意欲が高まった
ヘルスケアシステム論Ⅱ	1.8	2.4	2.5	2.6	2.2	2.6
組織管理論Ⅱ	2.1	2.6	2.7	2.7	2.5	2.7
人材管理Ⅱ	2.3	2.7	2.7	2.7	2.6	2.7
資源管理Ⅱ	2.1	2.6	2.7	2.6	2.4	2.5
質管理Ⅱ	2.3	2.6	2.7	2.7	2.6	2.7
統合演習Ⅱ	2.7	2.8	2.9	2.8	2.7	2.8

⑦まとめ

昨年度同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受講定員数を縮小(50名⇒40名)し、3密(密集・密接・密閉)を避ける環境を整え、CO<sub>2</sub>センサーの設置、講義前の健康チェック等予防策の徹底を図った。受講者も健康管理には十分に気を付けて研修に臨んでいた。しかし、期間中、受講者数名がコロナ陽性・濃厚接触者となったが、オンラインでの講義参加でき、全員が無事に修了することができた。また、台風接近時は、受講者の安全を考慮し、全員オンラインでの受講とした。受講者アンケート結果は総体的に高評価にて、「自己の役割を改めて見つめ直す機会となった。」「看護管理に必要な知識、技術、管理的視点を習得することができ、充実した研修だった。」「規模は違うが、同じ志を持った方々と共に学べ有意義な研修だった。」等のコメントもあり、効果的な研修であったと評価する。



# 1) 認定看護管理者教育課程（認定看護管理者教育運営委員会）

## (3) 第12回サードレベル教育課程

- ①教育目的：多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する
- ②到達目標：1. 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考察することができる  
2. 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる  
3. 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる
- ③受講要件：1. 日本国の看護師免許を有する者  
2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者  
3. 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者、または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

### ④カリキュラム

教科目	時間数	単元	教育内容	講師
ヘルスケアシステム論Ⅲ	30	1) 社会保障制度・政策の動向	社会保障の将来ビジョン グローバルな視点から見た保健医療福祉 WHOの活動、国連SDGs等	厚生労働省大臣官房国際課 深谷 果林
		2) 看護制度・政策の動向	看護制度の変遷と政策 / 看護政策に関する審議会・検討会 / 制度変化に伴う看護管理への影響と対応 / 看護戦略とパワーの活用 / 職能団体による政策への影響力	大阪信愛学院大学 岩澤 和子
		3) ヘルスケアサービスの創造	ヘルスケアサービスのマーケティング / 社会的企業（ソーシャルエンタープライズ） / テクノロジーの活用	九州大学大学院医学研究院 馬場園 明
			NGO、NPOのヘルスケアサービス ヘルスケアサービスのシステム構築 看護事業の開発と起業	常盤大学看護学部・大学院 角田 直枝
		在宅におけるヘルスケアサービス 地域連携を基盤としたヘルスケアサービス	(前)西九州大学 上野 幸子 福岡みらい病院 井手 麻利子	
組織管理論Ⅲ	30	1) 組織デザインと組織運営	ダイバーシティ / 組織運営に必要な能力 / 経営者としての成長と熟練	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 古閑 慎一郎
			組織のデザイン / 組織間のネットワークのデザイン / 地域連携ネットワークのデザイン	日本看護協会看護研修学校 吉村 浩美
		経営者に求められる役割と必要な能力 組織戦略とパワーの活用	九州大学病院 濱田 正美	
2) 組織における倫理	組織における倫理的課題 倫理的課題に対する組織的対応	日本赤十字九州国際看護大学 倉岡 有美子		
3) 教科目演習	トップマネジャーとして必要な倫理的 意思決定について検討する	福岡市立こども病院 三輪 富士代 久留米大学病院 山本 都江		
人材管理Ⅲ	15	1) 社会システムと労務管理	能力評価のためのシステムの構築 / 建設的な労使関係の構築 / 人材フローのマネジメント / ハラスメントの組織的対応 賃金制度 / 人事考課 / 労働関係法規の最新の動向	川崎医療福祉大学 看護実践・キャリアサポートセンター 山田 佐登美 福岡東医療センター 末次 剛輝
		2) 看護管理者の育成	看護管理者の能力開発、活用	日本赤十字九州国際看護大学 倉岡 有美子
資源管理Ⅲ	30	1) 経営戦略	医療経営の特徴と課題 / 戦略策定 医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題	九州大学 尾形 裕也 産業医科大学病院 三輪 ゆかり
		2) 財務管理	財務会計 / 管理会計 / 資金管理	恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 正木 義博
		3) 組織的情報管理	関連法規の遵守 地域における情報共有・活用	産業医科大学病院 林田 賢史
質管理Ⅲ	30	1) 経営と質管理	ガバナンスとアカウンタビリティ 医療・看護の質とデータ活用	山口大学大学院 角田 由佳 桜十字福岡病院 中川 朋子
		2) 組織の安全管理	安全文化の醸成 医療事故防止のための組織的対策 危機管理	九州大学大学院医学研究院 鮎澤 純子 福岡赤十字病院 佐藤 章子
		3) 教科目演習	医療・看護におけるクオリティマネジメントに関する自施設の課題を明確にし、 対策を考える	飯塚病院 森山 由香 神代病院 野田 順子

教科目	時間数	単元	教育内容	講師
統合演習Ⅲ	45	1) 統合演習ⅢA	学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する	宗像医師会病院 今村 朋子 小西第一病院 安河内 清子 田川新生病院 小夏 香代 久留米大学病院 國武 栄子 福岡県看護協会 野島 三千代
		2) 統合演習ⅢB	21世紀の望ましい保健医療福祉政策について、看護の視点から政策の提言ができる	聖マリア病院 中島 成子 那珂川病院 松村 真理子
		3) 実習	経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する	福岡県看護協会 野島 三千代 各施設看護管理者
合計 180時間				

⑤ 受講状況 (人)

実施日	教育日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
7/1(金)～9/28(水)	32日間	30	36	30	31

修了者数および認定者数・累計 (人)

令和3年度までの累計	324
令和4年度修了者数	31
令和4年度までの累計	355

⑥ アンケート結果

(1) 講義・演習評価＜自己評価＞ (教科目別平均) 4段階評価 3～0点

教科目	私は、提示された事前学習を含め十分に準備をして講義・演習に臨んだ	私は、主体的・積極的に講義・演習に取り組んだ	私は、講義・演習中、集団の一員として学びやすい環境づくりに取り組んだ	私は、提示された内容を含め十分に事後学習に取り組む予定である	私は、シラバスに提示された教育目的及び到達目標を達成した	私は今後の学習意欲が高まった
ヘルスケアシステム論Ⅲ	2.1	2.5	2.7	2.7	2.4	2.8
組織管理論Ⅲ	2.2	2.7	2.8	2.8	2.6	2.8
人材管理Ⅲ	2.4	2.7	2.7	2.8	2.7	2.8
資源管理Ⅲ	2.2	2.6	2.7	2.8	2.7	2.8
質管理Ⅲ	2.4	2.7	2.6	2.8	2.7	2.8
統合演習Ⅲ	2.4	2.8	2.9	2.9	2.5	2.8

⑦ まとめ

通常通りのスケジュールで開催した。感染症の拡大状況により講師や受講者がリモートで参加することもあったが、Web会議ツール(zoom)を活用しグループワークや演習等も含めて予定通り実施できた。統合演習Ⅲの実習も希望する施設で対面で可能となり成果のある実習となった。閉講時アンケート結果から、「受講の効果は、とてもあった・まあまああった100%」、「受講の満足度は、とてもあった・まあまああった100%」と高評価であった。自由記載として、「仕事での焦燥感が少しずつなくなる感覚が実感できた。」や「対面でできたからこそ、受講生同士が情報交換ができ、学びを深めることができた。」「この学びを現場で生かせるように取り組む。」等があり、トップマネージャーとしての今後の活動の動機づけとなったことが伝わる反応であった。結果として教育課程の目的・目標が達成できたと考える。

今年度からの試みとして、教育課程開催中に認定看護管理審査受験対策として既修了者と受講者との意見交換会を設けた。これにより申請時の留意点、一般問題・論述問題対策を確認でき、受験までのスケジュールを具体化することが出来る良い情報交換の場となった。

## 2) 認定看護師教育課程

### (1) 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程

#### ①教育目的：

1. 創傷管理及び排泄管理を要する患者とその家族に対し、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護実践ができる能力を育成する。
2. 創傷管理及び排泄管理を要する患者とその家族の看護において、看護実践を通して他の看護職者に対して指導ができる能力を育成する。
3. 創傷管理及び排泄管理を要する患者とその家族の看護において、看護実践を通して他の看護職者に対して相談対応・支援ができる能力を育成する。

#### ②期待される能力：

1. 褥瘡や下肢創傷などの創傷を有する患者及びそのリスクがある患者に対しアセスメントを行い、専門的なスキンケアと創傷管理ができる。
2. ストーマ保有者に対しアセスメントを行い、専門的なスキンケアと排泄管理ができる。
3. 排泄障害を伴う患者及びそのリスクがある患者に対しアセスメントを行い、専門的なスキンケアと排泄管理ができる。
4. 脆弱皮膚をもつ患者に対しアセスメントを行い、皮膚障害を予防する専門的なスキンケアができる。
5. 創傷管理や排泄管理を要する患者にフィジカルアセスメントを行い、かつ心理的、社会的及びスピリチュアルな問題を理解し、問題解決のための援助ができる。
6. 創傷管理や排泄管理を要する患者とその家族が病状に応じた自己管理ができるよう、生活に則した効果的な指導ができる。
7. 創傷管理や排泄管理を要する患者とその家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践できる。
8. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チームの一員として役割を果たすことができる。
9. 皮膚・排泄ケアの実践を通して、役割モデルを示し、看護職者への指導、相談対応・支援を行うことができる。

#### ③教育カリキュラム

項目	教科目	教科目のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
共通科目	1. 医療安全学： 医療倫理 (必須)	実践の場において、対象の人権擁護・知る権利・自律性(自己決定)を尊重した看護を提供するため、医療倫理についての理解を深め、実践活動にどのように反映できるか考察する。	1. 医療倫理の理論 2. 医療倫理の事例検討	15 (1)	中尾 久子 浦邊 尋美
	2. 医療安全学： 医療安全管理 (必須)	医療現場における安全管理をめぐる取り組みの経緯、医療事故発生のメカニズムについて理解する。また、実践の場において、看護職者及び他職種との連携を図り、医療事故を防止するための情報収集・分析・対策立案・評価・フィードバックを実践する能力を習得する。	1. 医療管理の理論 2. 医療管理の事例検討 3. 医療安全の法的側面 4. 医療安全の事例検討・実習	15 (1)	秋好美代子
	3. 医療安全学： 看護管理 (必須)	わが国の保健医療制度の仕組みと動向を理解し、社会や地域住民のニーズに対応する医療サービスや看護のあり方を考察する。また、実践の場において質の高い看護サービスを効果的・効率的に提供するための戦略や自身の役割機能の展開などについて検討する。	1. ケアの質保証の理論 2. ケアの質保証の事例検討	15 (1)	樋口 靖子 角井めぐみ 浦邊 尋美
	4. チーム医療論 (特定行為実践) (必須)	質の高い医療・看護の効果的・効率的な提供に向けたチーム医療の推進について考察する。また、多職種協働の課題及び集団や組織の目標・課題を達成する上で必要なリーダーシップについて理解する。	1. チーム医療の理論と演習・実習 2. チーム医療の事例検討 3. 多職種協働の課題 ※特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割を含む	15 (1)	原田 美佐 山口 弘恵
	5. 相談 (特定行為実践) (必須)	対象及び組織内外の看護職者や他職種などに対してコンサルテーションを行う際の知識や方法論について習得する。さらに、自らの役割と能力を超える看護が求められる場合には、自ら支援や指導を受けることの重要性について理解する。	1. コンサルテーションの方法	15 (1)	永石 恵美 園田みずき 角井めぐみ
	6. 臨床薬理学： 薬理作用 (必須)	安全確実な薬剤投与を行うため、薬物動態を踏まえた薬物の作用機序と、主要薬物の薬理作用・副作用について理解する。	1. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 ※年齢による特性(小児/高齢者)を含む	15 (1)	鶴木亜矢子 内山 将伸 宮崎 元康 福田まひる

項目	教科目	教科目のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
共通科目	7. 指導 (必須)	組織内外の看護職者に対して、実践を通して知識・技術を共有し、相手の能力を高めるための指導能力を習得する。	1. 生涯教育と生涯学習 2. 成人学習者への教育について 3. 教材観(主題観)、対象者観、指導観について 4. 学習指導案の作成・発表	15 (1)	窪田 恵子 青木 久恵 角井めぐみ
	8. 対人関係 (必須)	実践の場において、対象の理解に必要な基本的知識やスキルを習得する。	1. 対人関係論 2. コミュニケーションスキル 3. 対人関係演習	15 (1)	寺岡征太郎 角井めぐみ 浦邊 尋美
	9. 医療情報論 (選択)	実践の場において、研究論文等を含む医療情報を効率よく収集・解析・伝達するための方法を習得する。また、情報倫理の観点から、医療情報の適切な取り扱いについて理解する。	1. 医療情報の定義 2. 文献検索によるエビデンスの確認 3. 医療情報の収集と活用 4. 情報倫理 5. 医療情報管理	15 (1)	徳永智恵美 土肥佐和子

項目	教科目	教科目のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
専門科目	1. 皮膚・排泄 ケア概論	1. 皮膚・排泄ケア領域の概念や歴史について理解する。 2. 皮膚・排泄ケア領域において必要となる緩和ケアについて理解する。 3. 皮膚・排泄ケア領域において必要となるリスクマネジメントについて理解する。 4. 皮膚・排泄ケア領域における診療報酬について理解する。 5. 皮膚・排泄ケア領域における地域連携について理解する。 6. 褥瘡管理における医療の質評価について理解する。 7. 医療チーム活動における認定看護師の役割について理解する。	1. 皮膚・排泄ケア (創傷・オストミー・失禁)の概念 1) 対象理解 2. 皮膚・排泄ケア (創傷・オストミー・失禁)の歴史 3. 皮膚・排泄ケア領域における緩和ケア 4. 皮膚・排泄ケア領域におけるリスクマネジメント 1) 災害に備えた対策 5. 皮膚・排泄ケア領域に関連する診療報酬の現状と将来予測 6. 皮膚・排泄ケア領域における地域包括ケアシステム 1) 在宅療養における地域連携 2) 在宅療養における支援体制 7. 褥瘡管理における質の評価 1) 褥瘡発生率・褥瘡有病率 2) 褥瘡の治癒期間 3) 褥瘡予防用品の整備 8. 組織ダイナミクス 1) チーム活動における認定看護師の役割 (問題解決能力等を含む)	15 (1)	溝上 祐子 近藤三亀代 大村久美子 柳迫 昌美 田中多喜子 浦邊 尋美
	2. 皮膚のアセス メントとケア	1. 専門的なスキンケアを行うために必要な皮膚の形態・機能について理解する。 2. 皮膚に影響を与える因子について理解する。 3. 皮膚の状態に応じたアセスメント方法とケアについて理解する。	1. 皮膚と皮下組織(骨を含む)に関する局所解剖 2. ヒューマンインターフェイス概念 3. 皮膚に影響を与える内的・外的因子 1) 内的因子: 年齢・疾患・免疫能等 2) 外的因子: 物理的・化学的・刺激等 4. 皮膚のアセスメント 1) 皮膚の症候: ドライスキン・浸軟等 2) 皮疹の種類と特徴 3) 皮膚損傷: 表皮剥離・びらん・潰瘍等 4) 皮膚感染症: 真菌・細菌 5. 脆弱皮膚の特徴(病態を含む)とケア 1) 高齢者 2) 低出生体重児 3) 浮腫(リンパ浮腫含む) 4) 黄疸 5) 治療: 化学療法・放射線療法・ステロイド・移植(GVHD)等 6. スキンケア用品 1) 予防的スキンケア用品: 洗浄剤・保湿剤・皮膚保護剤・被膜剤・剥離剤等 2) 治療的スキンケア用品: 皮膚保護剤等 3) その他: 医療用粘着テープ	30 (2)	溝上 祐子 深川 修司 間宮 直子 浦邊 尋美

項目	教科目	教科目のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
専門科目	3. 精神面のアセスメントとケア	1.患者・家族の心理をアセスメントするために必要となる理論について理解する。 2.患者・家族の心理状態に応じたケアについて理解する。	1.ストレスコーピング 1) ストレス理論 2) ストレスを引き起こす要因 3) 治療とストレスマネジメント 4) 援助方法 2.ボディイメージ 1) ボディイメージの定義 2) ボディイメージの変化に対する適応 3.悲嘆 1) 悲嘆の定義 2) 悲嘆反応 3) 援助方法 4.危機理論 1) 危機の定義 2) 危機モデル 3) 危機介入 5.家族理論 6.スピリチュアルケア 7.セクシャリティ	15 (1)	梶原 睦子 寺岡征太郎 三木 佳子 角井めぐみ 浦邊 尋美
	4. 栄養のアセスメントと管理	1.栄養状態をアセスメントするために必要となる評価方法について理解する。 2.皮膚・排泄ケア領域に関連する栄養管理を行うために必要となる管理方法及び栄養剤の種類と特徴について理解する。	1.栄養状態のアセスメント 1) 主観的包括的評価 (SGA: subjective global assessment) 2) 客観的栄養評価 (ODA: objective data assessment) 3) 栄養経路 2.栄養管理 1) 周術期の栄養管理 2) 栄養必要量の算定 3) 経口摂取による栄養管理: 栄養補助食品の種類と特徴 4) 経腸栄養管理: 経腸栄養剤の種類と特徴	15 (1)	石橋 生哉 斎藤 恵子
	[排泄管理] 5. 排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価	1.消化管の形態・機能について理解する。 2.ストーマを造設する疾患とその治療について理解する。 3.排便障害の病態と治療について理解する。	1.消化管の形態・機能 (消化・排便のメカニズムを含む) 2.ストーマを造設する疾患と治療 1) 悪性腫瘍 2) 炎症性腸疾患 3) 先天性異常(二分脊椎を含む)等 4) 脊髄損傷等 3.ストーマ造設に伴う合併症 (性機能障害を含む) 4. 排便障害の病態と治療 (検査を含む) 1) 貯留能障害: 薬物・手術療法 2) 結腸性(非直腸性)障害: 薬物・手術療法	30 (2)	赤木 由人 荒木 靖三 石橋 生哉 平井 郁仁 廣瀬龍一郎 佛坂 正幸 角井めぐみ 浦邊 尋美
	6. 排尿機能に破綻をきたす病態の理解と評価	1.泌尿器の形態・機能について理解する。 2.尿路変向術を必要とする疾患とその治療について理解する。 3.排尿障害の病態と治療について理解する。	1.泌尿器の形態・機能 1) 上部・下部尿路の解剖 2) 排尿の生理(排尿のメカニズムを含む) 2.尿路変向術(膀胱ろう・腎ろうを含む)を必要とする疾患と治療 1) 悪性腫瘍 2) 結石 3) 先天性異常(二分脊椎を含む)等 4) 脊髄損傷等 3.尿路変向術に伴う合併症(性機能障害を含む) 4. 排尿障害の病態と治療(検査を含む) 1) 蓄尿機能障害: 薬物・手術療法・保存療法 2) 排出障害: 薬物・手術療法・保存療法	30 (2)	入江慎一郎 石井 龍 武井実根雄 松岡 弘文 一倉 祥子 相島真奈美 角井めぐみ 浦邊 尋美

項目	教科目	教科目のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
専門科目	7.ストーマケア	1.ストーマ用品について理解する。 2.周手術期のストーマ管理について理解する。 3.ストーマの長期管理について理解する。 4.成長に応じたストーマ管理について理解する。 5.ストーマ周囲のスキントラブルを理解し、対処について理解する。 6.ストーマの晩期合併症を理解し、アセスメントできる。 7.ストーマ保有者の身体的・心理的・社会的問題について理解する。	1.ストーマ用品の種類と特徴 2.周手術期のストーマ管理 3.ストーマの長期管理 1) ストーマ外来 2) 排泄管理法 3) 患者会 4) 社会保障 4.小児期から青年期におけるストーマ管理 1) ストーマに関する身体的問題のアセスメント 2) 心理・社会的状態のアセスメント 5.成人期から老年期におけるストーマ管理 (認知症・独居等を含む) 1) ストーマに関する身体的問題のアセスメント 2) 心理・社会的状態のアセスメント 6.管理困難なストーマケア 1) ストーマ周囲の皮膚障害のアセスメントとケア (ABCD-stoma®を含む) 2) その他のストーマ合併症	30 (2)	辰島 美和 直海 倫子 岡本加代子 松尾 規佐 石井美紀子 角井めぐみ
	8.排泄障害のケア	1. 排便障害・排尿障害のアセスメントができる。 2. 排泄ケア用品の種類や特徴について理解する。 3. 排泄障害の要因や程度にあったケアについて理解する。 4. 排泄障害時のスキンケアについて理解する。 5. 排泄障害がある患者の身体的・心理的・社会的問題について理解する。	1.排便障害のアセスメント 1) 排便状態のアセスメント 2) 排便障害に関する身体的問題のアセスメント 3) 心理・社会的状態のアセスメント 2.排泄ケア用品(排便)の種類と特徴 3.排便障害のケア:行動療法・強制排便法 4.排便コントロール:食事療法・薬物療法 5.下部尿路機能障害のアセスメント 1) 下部尿路症状のアセスメント 2) 下部尿路症状に関する身体的問題のアセスメント 3) 心理・社会的状態のアセスメント 6.排泄ケア用品(排尿)の種類と特徴 7.下部尿路機能障害のケア:行動療法・自己導尿・骨盤底筋訓練・バイオフィードバック療法等 8.排泄障害時のスキンケア 9.成長・発達に応じた排泄障害の管理 1) 小児期から青年期 2) 成人期から老年期	30 (2)	積 美保子 高崎 良子 松尾 規佐 石井美紀子 溝上 祐子
	[創傷管理] 9.創傷の病態と治療	1.創傷の種類と病態について理解する。 2.創傷治癒過程とメカニズムについて理解する。 3.創傷治癒を遅延させる局所的要因・全身的要因について理解する。 4.創床環境調整(Wound bed preparation)理論について理解する。 5.創傷管理における疼痛緩和について理解する。 6.慢性創傷の治療について理解する。 7.褥瘡の病態と治療について理解する。 8.医療関連機器圧迫創傷の病態と治療について理解する。 9.下肢創傷の病態と治療について理解する。 10.ろう孔の病態と治療について理解する。 11.創部哆開創(SSIを含む)の病態と治療について理解する。 12.スキンケア(皮膚裂傷)の病態と治療について理解する。	1.創傷の種類と病態 1) 急性創傷 2) 慢性創傷 2.創傷の治癒過程とメカニズム 3.創傷治癒を遅延させる因子 4.創床環境調整(Wound bed preparation) 1) デブリードマン 2) 滲出液管理 3) 感染管理 (バイオフィルム及びクリティカルコロナイゼーションを含む) 5.創傷管理における疼痛緩和 6.慢性創傷の治療 1) 陰圧閉鎖療法 2) 薬物療法 3) 手術療法 7.褥瘡の病態と治療 1) 褥瘡の発生機序 2) 褥瘡の分類、アセスメント・評価 3) 治癒のアセスメントとモニタリング(創傷治癒過程、TIME理論等) 4) 褥瘡及び創傷治癒と栄養管理 5) DESIGN-R®に基づいた治療指針 6) 褥瘡及び創傷の診療のアルゴリズム 7) 感染のアセスメント 8) 褥瘡の治癒のステージ別局所療法 8.医療関連機器圧迫創傷の病態と治療	30 (2)	元村 尚嗣 高木 誠司 伊東 孝通 亀井 英樹 深川 修司 竹内 一馬

項目	教科目	教科目のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
			9.下肢創傷の病態別治療 1) 糖尿病性足病変 2) 末梢動脈疾患(PAD) 3) 静脈性潰瘍 4) 血行再建 10.ろう孔の病態と治療 1) 胃ろう・腸ろう 2) 消化管外ろう 11.創部哆開創(SSSIを含む)の病態と治療 12.スキン-テア(皮膚裂傷)の病態と治療		
	10.創傷のアセスメントと管理 I	1.創傷を有する患者の身体的・心理的・社会的問題について理解する。 2.創傷被覆材の種類と特徴について理解する。 3.創傷の状態に合わせた、創傷被覆材や薬剤の選択方法について理解する。 4.褥瘡の発生機序と予防方法について理解する。 5.褥瘡のアセスメントができる。 6.褥瘡の治療環境を整えるケアについて理解する。	1.創傷を有する患者のアセスメント 1) 創傷を有する患者の身体的問題のアセスメント 2) 心理・社会的状態のアセスメント 2.創傷のケア(急性・慢性) 1) 創傷被覆材の種類と特徴 2) 創傷被覆材の選択の実際 3) 創傷に合わせた薬剤の選択 3.褥瘡管理 1) 発生機序 2) リスクアセスメント 3) スキンケア 4) 体圧の調整とポジショニング(車いすを含む) 5) 褥瘡の局所アセスメント(DSIGN-R®を含む)・超音波検査・皮膚温 6) 褥瘡の局所ケア	30 (2)	酒井 宏子 黒川 正人 鵜木亜矢子 田中マキ子 森川 綾 下畑 由美
	11.創傷のアセスメントと管理 II	1.医療関連機器圧迫創傷のケアについて理解する。 2.下肢創傷のアセスメントができる。 3.下肢創傷のケアについて理解する。 4.ろう孔ケアの目的と方法について理解する。 5.創部哆開創(SSSIを含む)のケアについて理解する。 6.スキン-テア(皮膚裂傷)のケアについて理解する。	1.医療関連機器圧迫創傷管理 1) 発生機序 2) アセスメントとケア 2.下肢創傷管理 1) 下肢創傷のアセスメント(血流障害・神経障害の評価)、予防ケア 2) 下肢創傷のケア(フットケア、日常生活指導、フットウェア、局所ケア等) 3.ろう孔管理(ドレーンを含む) 1) ろう孔の局所アセスメント 2) ろう孔のケア(パウチング法、吸引法等) 3) 特殊なろう孔ケア(胃ろう、気管切開孔等) 4.創部哆開創(SSSIを含む)の管理 1) 創部哆開創(SSSIを含む)のアセスメントとケア 5.スキン-テア(皮膚裂傷)の管理 1) 発生機序 2) アセスメント(STARスキン-テア分類を含む)とケア	30 (2)	酒井 宏子 森山やよい 田淵 宏 間宮 直子 直海 倫子 角井めぐみ 浦邊 尋美

項目	教科目	教科目のねらい	単元	時間数 (単位)	講師
学内演習	1.学内演習	1.排泄管理技術を身につける。 (ストーマケア・失禁ケア) 2.創傷管理技術を身につける。 (褥瘡ケア・下肢創傷ケア) 3.患者のQOLの向上を目指した看護サービスが提供できるための集団教育の方法を理解し、効果的なプレゼンテーションができる。 4.実習で関わった事例を皮膚・排泄ケアの視点をもって報告することができる。 5.皮膚・排泄ケア領域で最近の論点となるような問題点や最近のケアについて専門的な立場で将来を見通した考察ができる。	1.排泄管理技術演習 排泄管理のスキルを身につけ、個々のケースに応じた実践能力を養う。 2.創傷管理技術演習 創傷管理のスキルを身につけ、個々のケースに応じた実践能力を養う。 3.プレゼンテーション 講義形式の教育活動の準備・実施・評価を通じて、患者のQOLの向上をめざした質の高い皮膚・排泄ケア(創傷・オストミー・失禁)サービスが提供できるための集団教育方法を修得する。 4.ケースレポート 1) 皮膚・排泄ケア (創傷・オストミー・失禁)の対象となる患者に全人的なケアを行うための的確なアセスメントを実施する。 2) 皮膚・排泄ケア認定看護師としての役割と機能を十分に発揮できるケア計画を立て実践する。 3) 科学的論文等を活用し、看護実践を論理的に評価・フィードバックし、看護ケアの専門性について考察を深め、報告する。	60 (2.5)	穴井 友恵 仮屋崎通子 近藤三亀代 高口 則子 酒井 宏子 下畑 由美 柴田 真弓 澁田 美江 園田みずき 富田美和子 丸尾 香子 山田 陽子 角井めぐみ 浦邊 尋美
実習	2.臨地実習	1.褥瘡や下肢創傷などを有している患者に対しアセスメントを行い、専門的なスキンケアと創傷管理ができる。 2.ストーマ保有者や失禁を伴う患者に対しアセスメントを行い、専門的なスキンケアと排泄管理ができる。 3.創傷管理や排泄管理を要する患者にフィジカルアセスメントを行い、かつ心理的、社会的及びスピリチュアルな問題を理解し、問題解決のための援助ができる。 4.創傷管理や排泄管理を要する患者とその家族が病状に応じた自己管理ができるよう、生活に則した効果的な指導ができる。 5.創傷管理や排泄管理を要する患者・家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践できる。 6.より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チームの一員として役割を果たすことができる。 7.皮膚・排泄ケアの実践を通して、役割モデルを示し、看護職者への指導・相談を行うことができる。	皮膚・排泄ケア (創傷・オストミー・失禁)の対象を的確に判断し、QOLの向上をめざした質の高い看護サービスを提供するため「ケアの実践能力」・「患者及びスタッフへの指導能力」・「スタッフからの相談に応じる能力」を養う。 1.創傷ケア 1) 創傷を有する患者のケア見学を含めて20例以上 2) 創傷を有する患者のケアの展開1例以上 2.ストーマケア 1) ストーマを有する患者のケア見学を含めて15例以上 2) ストーマを有する患者のケアの展開1例以上 3.失禁ケア 1) 排泄障害を有する患者のケア見学を含めて5例以上 2) 排泄障害を有する患者のケアの展開1例以上	180 (4)	臨地実習 指導者 教員
総 時 間 数				660	

共通科目	135 時間
専門科目	285 時間
演習/実習	60/180 時間
総時間数	660 時間



④臨地実習施設

福岡県内 11 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 25%;">・産業医科大学病院</li> <li style="width: 25%;">・飯塚病院</li> <li style="width: 25%;">・九州医療センター</li> <li style="width: 25%;">・浜の町病院</li> <li style="width: 25%;">・九州大学病院</li> <li style="width: 25%;">・福岡大学病院</li> <li style="width: 25%;">・福岡大学筑紫病院</li> <li style="width: 25%;">・福岡赤十字病院</li> <li style="width: 25%;">・福岡徳洲会病院</li> <li style="width: 25%;">・久留米大学病院</li> <li style="width: 25%;">・筑後市立病院</li> </ul>
福岡県外 1 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀大学医学部附属病院</li> </ul>

⑤プログラム

日程	内容	日程	内容
5/10	入講式、オリエンテーション	9/12～10/22	臨地実習
5/12～	福岡県看護協会にて授業開始	11/9	ケースレポート発表、実習指導者会
6/6～	定期試験開始	11/16	修了試験
6/24～	演習開始	11/28	修了認定合格発表
8/2	プレゼンテーション発表	12/8	閉講式
8/9	実習指導者会	12/15	2023年度 入学試験
8/11～15	夏季休暇	12/20	2023年度 入学試験合格発表

⑥受講生の背景

1. 受験状況 (人)

受験者数	合格者	入講者数	再履修生	修了認定者数
50	24	24	0	22

2. 年齢構成 (歳)

平均年齢
39

3. 都道府県

N=24 (人)

福岡	長崎	大分	熊本	鹿児島	沖縄	山口
6	1	1	2	1	1	6
香川	愛媛	兵庫	大阪	神奈川	埼玉	
1	1	1	1	1	1	

⑦まとめ

新型コロナウイルス感染拡大状況の動向を注視しながら、講師のご協力のもと、対面授業やZOOMによる遠隔授業等を柔軟に取り入れ、安全に履修できる学習環境を整えた。臨地実習は、県内11施設、県外1施設のご協力のもと実施することができた。

開講後すぐにポートフォリオを用いた目標管理を実施した。目標管理は実習中も継続して行い、カリキュラムの教育目標と実習目標に対し、自己の課題を明確にしながら、達成できるように随時、実習指導者と教員が連携しながら支援した。対面が制限される中、定期的に各自の目標達成度を発表することで目標管理や学びの共有ができた。

受講期間修了後は、10月の日本看護協会認定審査の全員合格をめざし、教育課程修了者に対しフォローアップ研修を4回実施した。



## Ⅲ. 福岡県看護学会

### 1. 福岡県看護学会

#### 1) 第22回福岡県看護学会（学会委員会）



## 1) 第22回福岡県看護学会（学会委員会）

- (1) 目的：本学会は、実践に根差した看護研究の支援を通して、看護職の学術研究の振興に努め、県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。また、会員が地元福岡で気軽に参加でき、発表者と参加者がお互いに研鑽し合うことができる「日々の看護を学び合う」学会を目指している。
- (2) テーマ：追求し続ける看護
- (3) 運営方法：完全オンデマンド学会
- (4) 配信期間：12月12日（月）～令和5年2月13日（月）
- (5) 特別講演：「新しい時代に向けて～日本の看護の未来～」  
 講師：手島 恵（千葉大学大学院看護学研究院教授・国際看護師協会理事）  
 座長：大和 日美子（公益社団法人福岡県看護協会 会長）

### (6) プログラム ※全て録画発表

- ①発表演題 演題数 26 題（口演発表 26 題）  
 ②シンポジウム、特別企画プログラム I 及びプログラム II、特別報告

### (7) 参加者情報

- ①参加人数 617名（有料参加者：発表者26名、一般参加者591名）※オンデマンド開催の為、入金者を参加者で算出

#### ②年齢（N=617）

(%)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	学生
16.4	15.7	34.4	29.5	4.0	0.0	0.0

#### ③施設種別別一般参加数の割合（N=617）

(%)

病院	看護系教育研究機関	訪問看護ステーション	診療所	個人会員	その他	未登録施設
96.4	1	0.1	0.1	1.6	0.6	0.2

#### ④病床別一般参加数の割合（N=617）

(%)

19～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上	病床なし
1.6	32.3	16.1	6.6	4.9	34.8	3.7

### (8) アンケート結果（N=41）

#### ①満足度

(%)

満足した	やや満足した	あまり満足できなかった	満足できなかった	未回答
56.1	41.5	0.0	0.0	2.4

#### ②自由筆記（一部抜粋）

- ・WEB開催に慣れてきたためか、とても聞きやすかった
- ・オンデマンド学会であり各演題を自分のタイミングで視聴することが出来大変良かった
- ・一般口演では様々な研究結果を知ることができたため今後に活かしていこうと思った。
- ・もう少し長い期間オンデマンド配信してくれたら、良かったと思う。  
 とても参考になる。講演ばかりだったので、もう一度聞き直したい部分が多くあった。



## IV. 教育研修事業 福岡県主催委託・補助事業 (教育研修部研修)

1. 福岡県看護実習指導者講習会(県委託)
2. 福岡県特定分野看護実習指導者講習会(県委託)
3. 新人看護職員研修事業(新人看護職員研修運営委員会)
  - 1) 福岡県新人看護職員研修責任者研修(県委託)
  - 2) 新人看護職員教育担当者研修(県補助)
  - 3) 福岡県新人看護職員実地指導者研修(県委託)
  - 4) 新人看護職員研修アドバイザー派遣事業(県補助)
  - 5) 新人看護職員多施設集合研修(県補助) ※ I-1-1) ～掲載
4. 福岡県看護職員認知症対応力向上研修(県委託)
5. 福岡県感染管理リーダー看護師育成事業(感染管理委員会)
  - 1) 感染管理リーダー看護師育成研修(県委託)
  - 2) 感染管理看護基礎研修(県委託)





# 1. 福岡県看護実習指導者講習会（県委託）

## 1) 実施要綱

- (1) 目的：保健師養成所、助産師養成所、看護師養成所若しくは准看護師養成所の実習施設で実習指導者の任にある者若しくは将来これらの施設の実習指導者となる予定にある者、又は上記養成所において実習指導の任にある者に対して、看護基礎教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を修得させることを目的とする。
- (2) 対象者：福岡県内の看護職員で、保健師、助産師、看護師又は准看護師を養成する学校の実習施設で実習指導の任にある者又は将来これらの施設の実習指導者となる予定の者
- (3) 受講者負担金：eラーニング受講料及びテキスト代として 50,000 円
- (4) 受講決定：福岡県が応募・選考・決定をする。
- (5) 修了：すべての科目の単位を修得した者に対し県が修了証を発行する。
- (6) 講習期間：22 日間（189 時間 eラーニング 60 時間を含む）令和 4 年 8 月～令和 5 年 1 月

## 2) 講習会科目及び講師

区分	内容	科目	講習内容	単 位	時間 数	講師
基礎分野	教育の基盤	教育原理	教育の本質の基礎知識、概念及び必要な理論を学ぶ ・教育の本質、目的 ・教育活動の特性	1	15	eラーニング
		教育方法	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ ・授業形態、教育方法及び教材の活用 ・教授—学習過程の理解 等	1	15	eラーニング
		教育心理	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ ・成長発達に伴う学習者心理の理解 ・学習過程における心理 等	1	15	eラーニング
		教育評価	教育評価の基本知識及び必要な理論を学ぶ ・教育評価の目的と方法 ・講義・演習・実習評価の方法 等	1	15	eラーニング
専門分野	看護教育	看護論	人間の健康・看護の考え方を多角的に学び看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする ・看護の機能と役割 ・看護場面と看護観再構成 ・健康の概念と健康支援 ・倫理的課題とその対処方法 等	1	15	純真学園大学 太田 浩子 純真学園大学 村田 尚恵
		看護教育課程論	看護師等養成所の各教育課程の概要を学び実習指導につなげる ・教育課程の基礎知識 等	1	15	日本赤十字九州国際看護大学 阿部 オリエ
	実習指導の基盤	実習指導方法論 (評価を含む)	実習指導案について理解し、教授方法を学ぶ ・各領域別実習指導の概要 ・実習指導の方法 ・実習評価の意義と方法 等	2	30	実習指導方法論 福岡女学院看護大学 八尋 陽子 基礎看護学 肥前精神医療センター 副島 理沙 成人看護学 原看護専門学校 岩井 由紀 老年看護学 福岡女学院看護大学 穴井 めぐみ 小児看護学 元福岡大学病院 草野 ひとみ
		実習指導方法演習	実習指導の展開の実際を学ぶ ・実習指導案の作成及び評価（課程別、学年別、専門領域別等） ・実習の評価 等	2	60	母性看護学 北九州市立看護専門学校 永田 順子 在宅看護論 株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美 精神看護学 九州大学大学院医学研究院 青本 さとみ 看護の統合と実践 麻生看護大学校 桃澤 芳江
その他		開講式・閉講式 ガイダンス まとめ		9		
合計				10	189	

### 3) 受講者について

#### (1) 受講状況 (人)

定員	応募者数	受講者数	修了者数
82	116	82	82

#### (2) 年齢 (人)

20代	30代	40代	50代
14	29	35	4

### 4) アンケート結果

N=開講時82人・閉講時80人

4:できる、3:ややできる、2:あまりできない、1:できない

			開講時	閉講時
基礎分野	教育原理	教育の本質・目的を述べることができる	2.4	3.2
		教育活動の特性を述べることができる	2.3	3.2
	教育方法	教育の基本的な方法（授業形態・授業方法）及び教材の活用を述べる ことができる	2.4	3.3
		教授—学習過程の理解ができる	2.3	3.3
		看護学教育における基本的な方法や技術について述べる ことができる	2.3	3.3
	教育心理	成長発達に伴う学習者の心理を述べる ことができる	2.3	3.3
学習過程における心理について述べる ことができる		2.3	3.3	
教育評価	教育評価の目的・方法を述べる ことができる	2.3	3.3	
	講義・演習・実習評価の方法を述べる ことができる	2.6	3.5	
専門分野	看護論	看護の機能と役割を述べる ことができる	2.4	3.4
		看護場面と看護観の再構成が できる	2.5	3.3
		健康の概念と健康支援について 述べる ことができる	2.4	3.4
		倫理的課題とその対応方法について 述べる ことができる	2.2	3.3
	看護教育論	看護師等教育課程の概要を述べる ことができる	2.2	3.4
		実習指導計画の意義・目的を述べる ことができる	2.3	3.6
		教育課程の基本的要素が理解 できる	2.2	3.5
	実習指導方法論	実習指導の方法について述べる ことができる	2.3	3.5
		実習評価の意義と方法について 述べる ことができる	2.0	3.5
	実習指導方法演習	実習指導案の作成及び評価について、 課程別、学年別、専門領域別に 述べる ことができる	2.1	3.4

本講習会の内容は理解できましたか（理解度）		3.7
本講習会は満足できましたか（満足度）		3.8
本講習会で学んだことは実習指導の実践に役立ちますか（役立ち度）		3.9

### 5) まとめ

講義やグループワークにより学びを深めるために、本年度はeラーニングの科目を昨年度の5科目から4科目へ変更し看護論は対面での講習とし、自己の看護の振り返りや看護観を深めること、倫理的問題へのアプローチ法を学ぶ機会とした。開講時には、受講者がどんな実習指導者になりたいか、そのための自己の課題や目標は何か、受講者間で話し合う機会を設け自己の課題や目標を明確にし動機づけを図った。また、閉講時には講習会を通しての学びや目指す実習指導者について全体共有し、今後の実習指導者としての役割や活動の動機づけとした。

コロナ禍の開催であり、講義は研修ホールを使用し、有症者やコロナ濃厚接触者に対しWeb会議ツール（Zoom）で講義を受講できる環境を整え開催した。

受講者からは、「グループワークを通じて自己の指導観や価値観に気づいた」「他者の経験や指導方法からの新たな学びを活かし、今後の教育に繋げていきたい」「演習や発表を通じて、自己の思いや意見を言語化することや実習指導者としての自信に繋がった」などの意見や評価があった。講義や演習等で受講者が意見や考えを述べ合うことで、受講者同士が互いの意見や考えを尊重し合い、気づきや学びから新たな視点でものごとを考え、実習指導者としての役割や指導方法などの知識や技術を学び講習会の目標が達成できたと考える。

## 2. 福岡県特定分野看護実習指導者講習会（県委託）

### 1) 実施要綱

- (1) 目的：保健師養成所、助産師養成所、看護師養成所若しくは准看護師養成所における特定の分野の実習を行う病院以外の実習施設の実習指導者の任にある者若しくは将来これらの施設で実習指導者となる予定にある者、又は上記養成所において特定の分野の実習指導の任にある者に対して、看護基礎教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を修得させることを目的とする。
- (2) 対象者：福岡県内の看護職員で、保健師、助産師、看護師又は准看護師を養成する学校の実習施設で実習指導の任にある者又は将来これらの施設の実習指導者となる予定の者
- (3) 受講者負担金：テキスト代 7,000 円
- (4) 受講決定：福岡県が応募・選考・決定をする
- (5) 修了：修了認定を受けた者に県が修了証を発行する
- (6) 講習期間：7日間（39時間）令和4年8月

### 2) 講習会科目及び講師

区分	科目	目標及び内容	時間数	講師
教育の基盤	教育原理	教育の意義や基礎的な概念について学ぶ	3	福岡教育大学 生田 淳一
	教育心理	人間の発達と学習過程における青年期の心理的な特徴について、人間の成長・発達段階に合わせて理解する		
	教育方法	教育の基本的な方法や技術・評価方法について理解する	3	国立病院機構九州グループ 岸田 佐智子
実習指導の基盤	実習指導の実際Ⅰ（講義）	看護基礎教育の概要と実習に求められている課題を理解する	3	佐賀病院 荒川 直子
		実習指導の基礎と実習指導者のあり方を理解する	6	
	実習指導の実際Ⅱ（演習）	実習指導の展開について理解を深め、かつ臨地実習の中で体験する指導場面別の役割や方法について演習を通して学ぶ	24	純真学園大学 元福岡大学病院 福岡看護専門学校 遠賀中央看護助産学校 岩崎 優子 草野 ひとみ 阪元 利恵 高空 裕子
合計			39	

### 3) 受講者について

#### (1) 受講状況

定員	応募者数	受講者数	修了者数
40	28	26	22

#### (2) 年齢

20代	30代	40代	50代
4	6	9	7

#### (3) 受講者所属施設

保健所	2
訪問看護ステーション	7
介護老人保健施設	2
クリニック	6
病院	3
その他	6

### 4) アンケート結果

N=開講時25人・閉講時22人  
4:できる、3:ややできる、2:あまりできない、1:できない

	開講時	閉講時
教育の意義や基礎的な概念について学ぶ	2.7	3.5
人間の発達と学習過程における青年期の心理的な特徴について人間の成長・発達段階に合わせて理解できる	2.6	3.5
教育の基本的な方法や技術、評価方法について理解する	2.5	3.4
看護基礎教育の概要と実習に求められる課題を理解する	2.6	3.5
実習指導の基礎と実習指導者のあり方を理解する	2.6	3.7
実習指導の展開について理解を深める	2.4	3.5
臨地実習の中で体験する指導場面別の役割や方法について演習を通して学ぶ	2.7	3.6
講習会の理解度		3.8
講習会の満足度		3.9
講習会の役立ち度		4.0

### 5) まとめ

今年度は、自己紹介と講習会への参加動機、実習指導場面での自己の課題や目標の共有を図り、受講者間の関係性構築や動機付けに繋げるために講習会初日に受講者間の交流の場を設け、短期間(7日間)で有意義なグループワークや演習発表が受講者間でできるように工夫した。受講者からは「演習では実習場面を想定した設定であるため指導方法のイメージが理解できた」「グループワークの中で他者の看護観を通じて、新たな知識や視点での気づきを得ることができた」「実習指導者として学生への関わり方や具体的な指導方法を理解できた」などの意見や学びが聞かれた。グループワークや発表、全体討論を通じて、受講者の経験や考えを尊重した気づきや学びができ、実習指導者としての役割や指導方法の理解へ繋がり講習会目標は達成できたと考えられる。

### 3. 新人看護職員研修事業（新人看護職員研修運営委員会）

#### 1) 福岡県新人看護職員研修責任者研修【オンライン研修】（県委託）

- (1) 目的：新人看護職員研修ガイドラインに示されている新人看護職員研修の企画・運営・評価に必要な研修責任者としての能力を習得し、適切な研修体制を構築できる。
- (2) 目標：①新人看護職員研修ガイドラインの概要と研修責任者の役割を理解できる。  
 ②教育の基本的な考え方、新人看護職員臨床研修カリキュラム作成と教育評価、成人学習者の特徴と教育方法について理解できる。  
 ③教育的視点から新人看護職員に対する研修計画や研修プログラムの策定、組織体制づくりをする必要性が理解でき、施設における新人看護職員臨床研修の現状と課題を集約できる。  
 ④教育担当者の支援と実地指導者の育成・支援について学び、実践の場で活かすことができる。  
 ⑤自施設における新人看護職員臨床研修体制の現状を評価し、課題に対する取り組みについて実践報告ができる。
- (3) 対象者：新人看護職員研修ガイドラインで規定された研修責任者または看護師資格を有する管理者（看護師長以上、看護部長含む）
- (4) 受講料：無料（資料代：5,000円）
- (5) 受講修了要件：全日程を受講した者（会員は日本看護協会キャリアナースの受講履歴管理に登録）
- (6) プログラム

日程		項目	主な内容	講師
1日目	9/1 (木)	新人看護職員研修ガイドラインの概要・研修責任者の役割	新人看護職員研修の概要／医療・看護を取り巻く現状と施策の動向／看護基礎教育の現状および臨床実践能力の習得状況／新人看護職員の特徴／継続教育とキャリア形成の考え方／新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方／研修責任者が果たすべき役割／自施設の新人看護職員臨床研修の企画と運営の実際	済生会福岡総合病院 大嶋 由紀
2日目	9/9 (金)	新人看護職員に関わる看護職員のメンタルサポート	看護職員のストレスとメンタルヘルス／新人看護職員・実地指導者・教育担当者への精神的支援の実際／ラインケア	小倉記念病院 後藤 明子
3日目	9/10 (土)	教育に関する知識	教育の基本的な考え方／新人看護職員臨床研修カリキュラム作成と教育評価／成人学習者の特徴と教育方法／リフレクシヨンの概念・意義・方法	日本赤十字九州国際看護大学 阿部 オリエ
4日目	9/13 (火)	新人看護職員臨床研修の企画と評価	研修での学びを踏まえて、自施設の新人看護職員臨床研修の取り組みを評価／評価を踏まえて、改善のためのアクションプランを立案	NPO 法人 日本看護キャリア開発センター 江藤 節代
5日目	R5年 2/7 (火)	自施設の新人看護職員研修体制の課題に対する取り組みを実践報告	【フォローアップ研修】 自施設での取り組みの実践報告／グループ・全体での共有とリフレクシヨン／今後の課題の明確化	NPO 法人 日本看護キャリア開発センター 江藤 節代

#### (7) 受講状況

(人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
50	57	55	52	50

## (8) アンケート結果

(%)

	項目	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった
理解度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と研修責任者の役割を理解できましたか (N=51)	64.7	35.3	0.0	0.0
	新人看護職員・実地指導者・教育担当者への精神的支援について理解できましたか (N=51)	54.9	45.1	0.0	0.0
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について理解できましたか (N=50)	54.1	43.8	2.1	0.0
	新人看護職員に対する研修計画やプログラムの策定、組織体制づくりの必要性について理解できましたか (N=46)	71.8	28.2	0.0	0.0
	自施設における新人看護職員研修の現状の評価、課題に対する取り組みについて理解できましたか (N=33)	75.8	24.2	0.0	0.0

(%)

	項目	とても満足できた	満足できた	あまり満足できなかった	満足できなかった
満足度	【1日目研修】満足度 (N=51)	70.6	29.4	0.0	0.0
	【2日目研修】満足度 (N=51)	52.9	45.1	2.0	0.0
	【3日目研修】満足度 (N=50)	62.5	35.4	2.1	0.0
	【4日目研修】満足度 (N=46)	58.9	38.5	2.6	0.0
	【5日目研修】満足度 (N=33)	75.8	24.2	0.0	0.0

(%)

	項目	活用できそう	まあまあ活用できそう	あまり活用できそうにない	活用できそうにない
役立ち度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と研修責任者の役割について活用できそうですか (N=51)	72.5	25.5	0.0	2.0
	新人看護職員・実地指導者・教育担当者への精神的支援について活用できそうですか (N=51)	62.7	35.3	2.0	0.0
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について活用できそうですか (N=50)	70.8	29.2	0.0	0.0
	新人看護職員に対する研修計画やプログラムの策定、組織体制づくりの必要性について活用できそうですか (N=46)	76.9	23.1	0.0	0.0
	自施設における新人看護職員研修の現状の評価、課題に対する取り組みについて活用できそうですか (N=33)	90.9	9.1	0.0	0.0

## (9) まとめ

今年度もコロナ禍での開催であり、全日程をオンラインで実施した。

全項目でグループワークを実施し、毎回のグループメンバーを入れ替え、様々な施設間での情報共有ができるように工夫した。受講者からは「他施設の現状やの意見交換の時間も多く有意義な研修だった。」「講義内容や実践報告発表もとても参考になった。」等の感想が多く、アンケート結果も高評価だった。オンライン上ではあったが、積極的な情報共有や意見交換がなされ、研修目標は達成できたと考える。

その一方で、一部の受講者から「集合研修であれば、もっと情報共有の場が広がったのではないかと」の意見もあり、新人の成長を支援する管理者同士の交流の機会も求められており、今後の研修開催方法についても検討する必要がある。

### 3. 新人看護職員研修事業（新人看護職員研修運営委員会）

#### 2) 新人看護職員教育担当者研修【オンライン研修】（県補助）

- (1) 目的：新人看護職員研修ガイドラインに示されている教育担当者としての能力を習得し、自部署における効果的な研修実施体制を確保することができる。
- (2) 目標：①新人看護職員研修ガイドラインの概要と教育担当者の役割を理解できる。  
②教育の基本的な考え方、教育計画立案と教育評価、成人学習者の特徴と教育方法について理解できる。  
③教育的視点から、自部署における研修計画立案と実施、評価の実際、教育・精神的支援の実際、組織体制づくり等に関する課題を見いだすことができる。  
④新人看護職員と新人看護職員に関わる看護職員のメンタルサポートの重要性を理解し、実践に活かすことができる。  
⑤自部署における新人看護職員臨床研修の現状を評価し、課題に対する取り組みについて実践報告ができる。
- (3) 対象者：①新人看護職員研修ガイドラインで規定された教育担当者としての役割を担う看護師資格を有する者  
②その任にあたる予定の看護師資格を有する者
- (4) 受講料：会員 10,000 円（税抜） 非会員 20,000 円（税抜）
- (5) 受講修了要件：全日程を受講した者（会員は日本看護協会キャリアナースの受講履歴管理に登録）
- (6) プログラム

	日程・回数		項目	主な内容	講師
	1回目	2回目			
1日目	11/7 (月)	11/18 (金)	新人看護職員研修ガイドラインの概要/教育担当者の役割	新人看護職員研修の概要/医療・看護を取り巻く現状と施策の動向/看護基礎教育の現状および臨床実践能力の習得状況/新人看護職員の特徴/継続教育とキャリア形成の考え方/新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方/教育担当者が果たすべき役割	九州医療センター 中村 千夏子
2日目	11/8 (火)	11/21 (月)	教育に関する知識	教育の基本的な考え方/教育計画立案と教育評価/成人学習者の特徴と教育方法/リフレクシオンの概念・意義・方法	九州大学大学院 医学研究院 能登 裕子
3日目	11/9 (水)	11/22 (火)	新人看護職員と新人看護職員に関わる看護職員のメンタルサポート	実地指導者・新人看護職員が経験しやすいストレスとメンタルヘルス/新人看護職員と実地指導者への精神的支援の実際	久留米大学病院 山下 真範
4日目	11/10 (木)	11/28 (月)	教育計画立案・運営に必要な基本的知識	看護部理念に基づく新人看護職員臨床研修の到達目標の設定/部署における新人看護職員臨床研修の教育計画の立案・実施/評価方法と評価結果のフィードバック/新人看護職員臨床研修企画と教育プログラムの実際	NPO 法人 日本看護キャリア 開発センター 江藤 節代
5日目	R5年 3/2 (木)	R5年 3/6 (月)	【フォローアップ研修】 自部署の新人看護職員臨床研修の課題に対する取り組みを実践報告	自部署での取り組みの実践報告/グループ・全体での共有とリフレクション/今後の課題の明確化	NPO 法人 日本看護キャリア 開発センター 江藤 節代

#### (7) 受講状況

(人)

回数	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
1回目	60	166	60	60	58
2回目	60		60	58	57

## (8) アンケート結果

(%)

	項目		理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった
理解度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と教育担当者の役割を理解できましたか	1回目 (N=58)	60.3	39.7	0.0	0.0
		2回目 (N=56)	64.3	33.9	0.0	1.8
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について理解できましたか	1回目 (N=56)	44.6	48.3	7.1	0.0
		2回目 (N=54)	44.4	55.6	0.0	0.0
	新人看護職員と実地指導者の精神的支援について理解できましたか	1回目 (N=53)	69.8	30.2	0.0	0.0
		2回目 (N=51)	70.6	29.4	0.0	0.0
	自部署における研修計画立案と実施、評価の実際、組織体制づくりの必要性について理解できましたか	1回目 (N=51)	66.7	33.3	0.0	0.0
		2回目 (N=45)	73.4	24.4	2.2	0.0
	自部署の新人看護職員研修における課題解決について理解できましたか	1回目 (N=43)	83.7	16.3	0.0	0.0
		2回目 (N=43)	74.4	25.6	0.0	0.0

(%)

	項目		とても満足できた	満足できた	あまり満足できなかった	満足できなかった
満足度	【1日目研修】満足度	1回目 (N=58)	53.4	46.6	0.0	0.0
		2回目 (N=56)	62.5	37.5	0.0	0.0
	【2日目研修】満足度	1回目 (N=56)	32.1	60.7	5.4	1.8
		2回目 (N=54)	35.2	61.1	3.7	0.0
	【3日目研修】満足度	1回目 (N=53)	71.7	28.3	0.0	0.0
		2回目 (N=51)	58.8	39.2	2.0	0.0
	【4日目研修】満足度	1回目 (N=51)	72.5	27.5	0.0	0.0
		2回目 (N=45)	66.7	33.3	0.0	0.0
	【5日目研修】満足度	1回目 (N=43)	88.4	11.6	0.0	0.0
		2回目 (N=43)	86.0	14.0	0.0	0.0

(%)

	項目		活用できそう	まあまあ活用できそう	あまり活用できそうにない	活用できそうにない
役立ち度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と教育担当者の役割を理解できましたか	1回目 (N=58)	65.6	31.0	3.4	0.0
		2回目 (N=56)	67.9	32.1	0.0	0.0
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について理解できましたか	1回目 (N=56)	48.2	48.2	3.6	0.0
		2回目 (N=54)	59.3	40.7	0.0	0.0
	新人看護職員と実地指導者の精神的支援について理解できましたか	1回目 (N=53)	79.2	20.8	0.0	0.0
		2回目 (N=51)	70.6	29.4	0.0	0.0
	自部署における研修計画立案と実施、評価の実際、組織体制づくりの必要性について理解できましたか	1回目 (N=51)	72.5	27.5	0.0	0.0
		2回目 (N=45)	71.1	28.9	0.0	0.0
	自部署の新人看護職員研修における課題解決について理解できましたか	1回目 (N=43)	93.0	7.0	0.0	0.0
		2回目 (N=43)	88.4	11.6	0.0	0.0

## (9) まとめ

今年度もコロナ禍のため、全日程をオンラインで実施した。各クールも初日から積極的に意見交換がなされ、研修5日目のフォローアップ研修では受講者全員が実践報告を発表し合い、新人育成の支援についての情報共有や自部署の課題の明確化ができていた。

受講者からは「実践報告レポートを通して、自部署での課題も明確になり、学ぶことの多い内容だった。」「全体を通して今後のモチベーションに繋がるとてもいい研修だった。」等の感想が聞かれた。アンケート結果も概ね高評価であり、オンラインでも学習効果は得られ、研修目標は達成できたと考える。

### 3. 新人看護職員研修事業（新人看護職員研修運営委員会）

#### 3) 福岡県新人看護職員実地指導者研修【オンライン研修】（県委託）

- (1) 目的：新人看護職員研修ガイドラインに示されている実地指導者としての役割を理解し、新人看護職員への教育、精神的支援を実践できる能力を習得する。
- (2) 目標：①新人看護職員研修ガイドラインの概要と実地指導者の役割を理解できる。  
②教育の基本的な考え方、教育計画立案・実施・評価、成人学習者の特徴と教育方法について理解できる。  
③自部署における新人看護職員臨床研修計画に沿った個別プログラム立案、実施及び評価の必要性を理解するとともに、看護技術の指導、評価方法について理解できる。  
④新人看護職員のメンタルサポートに活かすコミュニケーションについて学び、実践に活用することができる。  
⑤新人看護職員への教育的関わり及びメンタルサポートについて課題を見出し、自部署での取り組みを実践報告できる。
- (3) 対象者：①新人看護職員研修ガイドラインで規定された実地指導者としての役割を担う看護師資格を有する者  
②その任にあたる予定の看護師資格を有する者
- (4) 受講料：無料（資料代：5,000円）
- (5) 受講修了要件：全日程を受講した者（会員は日本看護協会キャリアナースの受講履歴管理に登録）
- (6) プログラム

	日程・回数			項目	主な内容	講師
	1回目	2回目	3回目			
1日目	9/29 (木)	10/12 (水)	10/25 (火)	新人看護職員研修ガイドラインの概要/実地指導者の役割	新人看護職員研修の概要/医療・看護を取り巻く現状と施策の動向/看護基礎教育の現状および臨床実践能力の習得状況/新人看護職員の特徴/継続教育とキャリア形成の考え方/新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方/実地指導者が果たすべき役割/自部署における実地指導者の活動の実際	済生会福岡総合病院 川崎 智子
2日目	10/3 (月)	10/14 (金)	10/26 (水)	教育に関する基礎知識	教育の基本的な考え方/教育計画立案・実施・評価/成人学習者の特徴と教育方法/リフレクシオンの概念・意義・方法	福岡赤十字病院 山根 理恵子
3日目	10/5 (水)	10/18 (火)	10/28 (金)	新人看護職員のメンタルサポート	新人看護職員が経験しやすいストレスとメンタルヘルス/新人看護職員への精神的支援の実際	福岡大学病院 池田 静子
4日目	10/6 (木)	10/24 (月)	10/31 (月)	看護技術の指導方法	現場における実地指導者の役割と教育の実際/看護技術の指導方法/看護技術の評価方法	NPO 法人 日本看護キャリア開発センター 江藤 節代
5日目	R5年 2/9 (木)	R5年 2/13 (月)	R5年 2/15 (水)	【フォローアップ研修】新人看護職員への教育的関わりやメンタルサポートの課題に対する取り組みを実践報告	自部署での取り組みの実践報告/グループ・全体での共有とリフレクション/今後の課題の明確化	NPO 法人 日本看護キャリア開発センター 江藤 節代

#### (7) 受講状況

(人)

回数	定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
1回目	60	245	60	59	56
2回目	60		60	59	55
3回目	60		60	61	59

※2回目より1名振替



## (8) アンケート結果

(%)

理解度	項目	回数	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった
			(%)	(%)	(%)	(%)
理解度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と実地指導者の役割を理解できましたか	1回目 (N=58)	63.8	36.2	0.0	0.0
		2回目 (N=55)	60.0	40.0	0.0	0.0
		3回目 (N=56)	76.8	23.2	0.0	0.0
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について理解できましたか	1回目 (N=56)	42.9	57.1	0.0	0.0
		2回目 (N=50)	48.0	48.0	4.0	0.0
		3回目 (N=56)	57.1	42.9	0.0	0.0
	新人看護職員の精神的支援について理解できましたか	1回目 (N=54)	64.8	35.2	0.0	0.0
		2回目 (N=46)	54.3	45.7	0.0	0.0
		3回目 (N=53)	62.3	37.7	0.0	0.0
	自部署における研修計画立案と実施・評価、看護技術の指導・評価方法について理解できましたか	1回目 (N=50)	68.0	32.0	0.0	0.0
		2回目 (N=41)	58.6	39.0	0.0	2.4
		3回目 (N=50)	58.0	40.0	2.0	0.0
	新人看護職員への教育的関わりや精神的支援の課題解決について理解できましたか	1回目 (N=46)	76.1	23.9	0.0	0.0
		2回目 (N=35)	77.1	22.9	0.0	0.0
		3回目 (N=44)	75.0	25.0	0.0	0.0

(%)

満足度	項目	回数	とても満足できた	満足できた	あまり満足できなかった	満足できなかった
			(%)	(%)	(%)	(%)
満足度	【1日目研修】満足度	1回目 (N=58)	70.7	29.3	0.0	0.0
		2回目 (N=55)	65.5	34.5	0.0	0.0
		3回目 (N=56)	76.8	23.2	0.0	0.0
	【2日目研修】満足度	1回目 (N=56)	44.6	55.4	0.0	0.0
		2回目 (N=50)	44.0	54.0	2.0	0.0
		3回目 (N=56)	67.9	32.1	0.0	0.0
	【3日目研修】満足度	1回目 (N=54)	55.6	44.4	0.0	0.0
		2回目 (N=46)	54.3	45.7	0.0	0.0
		3回目 (N=53)	60.4	39.6	0.0	0.0
	【4日目研修】満足度	1回目 (N=50)	58.0	42.0	0.0	0.0
		2回目 (N=41)	61.0	39.0	0.0	0.0
		3回目 (N=50)	54.0	42.0	4.0	0.0
	【5日目研修】満足度	1回目 (N=46)	73.9	26.1	0.0	0.0
		2回目 (N=35)	77.1	22.9	0.0	0.0
		3回目 (N=44)	70.5	29.5	0.0	0.0

(%)

役立ち度	項目	回数	活用できそう	まあまあ活用できそう	あまり活用できそうにない	活用できそうにない
			(%)	(%)	(%)	(%)
役立ち度	新人看護職員研修ガイドラインの概要と実地指導者の役割を理解できましたか	1回目 (N=58)	67.2	32.8	0.0	0.0
		2回目 (N=55)	61.9	34.5	3.6	0.0
		3回目 (N=56)	73.2	26.8	0.0	0.0
	教育の基本的な考え方、成人学習者の特徴について理解できましたか	1回目 (N=56)	53.6	44.6	1.8	0.0
		2回目 (N=50)	48.0	46.0	6.0	0.0
		3回目 (N=56)	62.5	37.5	0.0	0.0
	新人看護職員の精神的支援について理解できましたか	1回目 (N=54)	68.5	29.6	1.9	0.0
		2回目 (N=46)	52.2	47.8	0.0	0.0
		3回目 (N=53)	66.0	34.0	0.0	0.0
	自部署における研修計画立案と実施・評価、看護技術の指導・評価方法について理解できましたか	1回目 (N=50)	74.0	24.0	2.0	0.0
		2回目 (N=41)	58.5	41.5	0.0	0.0
		3回目 (N=50)	62.0	34.0	4.0	0.0
	新人看護職員への教育的関わりや精神的支援の課題解決について理解できましたか	1回目 (N=46)	84.8	15.2	0.0	0.0
		2回目 (N=35)	82.9	17.1	0.0	0.0
		3回目 (N=44)	79.5	20.5	0.0	0.0

## (9) まとめ

今年度もコロナ禍のため、全日程をオンラインで実施した。各クールも初日から積極的に意見交換がなされ、4日目はオンライン上にも関わらず、各グループで看護技術指導案を作成し、全体共有することができた。受講者からは「他施設の新人教育の現状を知ることで教育の視野も広がり意欲向上につながった。」「新人教育で悩んでいるのは自分だけではないと感じることができ勇気づけられた。」等の感想が聞かれた。アンケート結果も概ね高評価であり、オンラインでも学習効果は得られ、研修目標は達成できたと考える。

### 3. 新人看護職員研修事業（新人看護職員研修運営委員会）

#### 4) 新人看護職員研修アドバイザー派遣事業（県補助）

(1) 目的：県内病院施設がアドバイザーの支援を受け、主体的に新人看護職員研修の課題を明らかにし、その課題達成を通して自施設の理念に基づいた新人看護職員研修体制を整備する事を目的とする。

(2) 事業対象：

##### 【受入施設】

「新人看護職員研修ガイドライン」に基づいた新人看護職員研修体制が未整備で整備を考えている、あるいは既存の研修体制や研修プログラムに課題があると感じている福岡県内の病院施設を募り、選定する。

##### 【アドバイザー】

受入施設における現状把握・分析・課題抽出を行い、新人看護職員研修体制整備の支援する病院施設を県内より選出する。

(3) 実施内容：受入施設は、施設内にこの事業に関する責任者を配置し、派遣されるアドバイザーより指導を受けながら、現状分析・課題抽出を行う。その課題をアドバイザーより助言・指導等の支援を受けながら解決し、新人看護職員研修体制を整備する。また、実施を所定の記録様式にまとめ、福岡県看護協会へ提出する。

(4) 実施期間：原則2年間

(5) 選定基準：

##### 【受入施設】

- ①新人看護職員の入職、もしくは見込みがある病院
  - ②新人看護職員研修プログラムが未策定、もしくは現在の研修計画に課題があると感じている病院
  - ③病院内における看護部門の位置づけ及び看護組織が明確である
  - ④看護理念及び目的・目標が作成され、評価されている
  - ⑤事業に関する責任者を配置することができる
- ※但し、研修責任者研修受講修了者を、事業に関する責任者として配置することが望ましい

##### 【アドバイザー施設】

- ①新人看護職員研修体制を整備している病院の研修責任者、看護部長から推薦を受けた継続教育担当の経験を有する管理者、それ相当の実務経験者
  - ②地域において新人看護職員研修を受け入れている病院の研修責任者、それ相当の実務経験者
- ※受入施設のある地域から選出することが望ましい

(6) 派遣先および派遣状況

受入施設	アドバイザー	面談回数	内容
医療法人古森病院（事業2年目）	九州大学病院 江口 恭世	6回	教育組織体制構築について 教育指導会議の進捗確認 教育に関する広報活動について チェックリスト等の見直しについて
糸島医師会病院（新規）	福岡赤十字病院 赤時 麻由美 九州医療センター 中村 千夏子	3回	現状と課題の整理 マニュアルの見直しについて 指導者育成・精神的支援について
遠賀中間医師会おかがき病院（新規）	九州中央病院 新町 咲子 飯塚市立病院 松尾 由美	4回	現状と課題の整理 研修評価について 研修目標の見直しについて

(7) まとめ

今年度は昨年度からの継続1施設に新規2施設を加えた計3施設に対して事業を展開した。

7月の事業概要説明を兼ねた初回面談会より支援を開始し、アドバイザーによる直接の施設訪問やリモート面談を実施した。各受入施設では、アドバイザーと共に現状と課題の整理を共有し、アドバイザーからの助言を参考にしながら課題に対する取り組みを実践されている。

事業2年目の受入施設では、教育組織体制を整備し、院内全体が教育への関心が高まるような活動に取り組み、外部よりアドバイザーが支援に入ることで、院内全体の教育活動推進に向けて大きな一歩につながったのではないかと考える。

#### 4. 福岡県看護職員認知症対応力向上研修【オンライン研修】（県委託）

- 1) 目的：認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達することで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施と、マネジメント体制の構築を目的とする。
- 2) 実施主体：福岡県
- 3) 対象者：福岡県内の医療機関等で勤務する指導的役割の看護職員（看護師長相当の者）
- 4) 受講料：無料（資料代 3,000 円）
- 5) 修了要件：全日程を受講した者に県知事名で修了証書が発行される。
- 6) 研修期間：3日間（18時間） 12月20日・21日・22日または23日（22日・23日：60名ずつ）
- 7) カリキュラム

項目	時間数	ねらい	到達目標
I. 基本知識（講義）	180分	認知症患者の入院から退院までのプロセスに沿って、基本的な知識を習得する	病院勤務の医療従事者向けに認知症に関する知識を普及することができる
II. 対応力向上（講義・演習）	講義 330分 演習 150分	個々の認知症の特徴・症状に対するより実践的な対応力（アセスメント、看護方法・技術、院内外連携手法）を習得する	1. 入院及び退院支援に必要となるアセスメントを実施し、適切に院内外に連携することができる 2. せん妄について、認知症との違いを理解し、特有の対応を適切に行うことができる
III. マネジメント（講義・演習）	講義 180分 演習 240分	マネジメント（人員、環境、情報管理等）の実践的な対応方法及び教育技能を習得する	1. 各施設の実情に応じた認知症への対応方法を検討し、適切なマネジメント体制を構築することができる 2. 自施設における看護職員への研修（本研修Ⅰ・基本知識編相当）を実施することができる

#### 8) 研修プログラム

項目	講義内容	講師
12/20（火）	I. 基本知識（講義） II. 対応力向上（講義）	久留米大学病院 西村 知子
12/21（水）	II. 対応力向上（講義・演習）	田主丸中央病院 福嶺 初美
	II. マネジメント（講義）	田主丸中央病院 福嶺 初美
12/22（木） 12/23（金）	III. マネジメント（演習）	小倉記念病院 吉里 美貴（リーダー） 九州病院 倉本 佳代子 九州大学病院 立石 圭 久留米大学病院 西村 知子（12/22） 久留米大学病院 平井 美代子（12/23） 田主丸中央病院 福嶺 初美

#### 9) 受講状況

（人）

定員	応募者数	決定者数	研修日	受講者数	修了者数
120	145	122	1日目	113	113
			2日目	113	112
			3日目	112	112

#### 10) まとめ

今年度の受講者は、ほとんどが主任、特に看護師長以上であり、また1施設で多数の申し込みがあった。今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、完全オンライン研修とした。1日目から事例検討等で3日目と同じ編成でグループワークをしたため、3日目の演習はスムーズに進行することができた。また、「自施設における認知症ケアの現状をSWOT分析」を事前課題としたため、具体的な意見交換ができていた。受講者より、他施設の受講者との意見交換が有意義であった、との意見が多数聞かれた。講義内容の理解度も高く、目標を達成できたと考える。

## 5. 福岡県感染管理リーダー看護師育成事業（感染管理委員会）（県委託）

### 1) 感染管理リーダー看護師育成研修

- (1) 目的：感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師が配置されていない医療機関における看護職員の感染管理能力の向上を図るため、各施設の看護部でリーダーとして感染管理に取り組む看護師を育成することにより、院内感染やクラスターの発生を予防し、県民の安全確保、医療提供体制の整備（病床の逼迫防止）に寄与する。
- (2) 実施主体：福岡県
- (3) 対象者：感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師がいない施設の看護職員  
感染対策において指導的立場にある、もしくはこれから指導的立場となる予定の看護職員
- (4) 受講料：無料
- (5) 募集、選考、決定：福岡県
- (6) 修了要件：全日程を受講した者に県知事名で修了証書が発行される。
- (7) 研修期間：4日間
- (8) 研修プログラム

	時間数			項目	主な内容	講師
	1回目	2回目	3回目			
1日目 (オンライン)	5/26 (木)	5/27 (金)	/	感染症とは	感染症に関する基礎知識	飯塚病院 的野 多加志
				感染管理マネジメント	感染管理における看護師の役割 リーダーシップ 感染管理の組織化	福岡徳洲会病院 伊藤 恭子
2日目 (オンライン)	8/19 (金)	8/20 (土)	アーカイブ配信: 1、2回目 欠席者対象 9/8 (木) 9/16 (金) 10/7 (金)	感染管理対策の実際	標準予防策 染経路別予防策 病原体別予防策 リネン類の取り扱い 手指衛生・防護具の使用 方法 組織としての感染対策 クラスター発生時の対応	姫野病院 中西 穂波 大牟田市立病院 川後田 美穂子
3日目	9/22 (木)	9/23 (金)	10/12 (水)	演習	手指衛生・防護具の使用 方法(演習) 感染対策マニュアルの 作成・改訂 組織における感染管理 活動の実際 自施設の感染管理に 対する課題の 整理と対策立案	大牟田市立病院 川後田 美穂子 総合せき損センター 松本 正幸 白十字病院 山口 佐月 福岡ゆたか中央病院 中山 佐代子 姫野病院 中西 穂波 済生会二日市病院 船津 康弘 九州病院 堀江 恭子 九州がんセンター 本村 景子
4日目 (オンライン)	R5年 2/3 (金)	2/4 (土)	3/1 (水)	演習	【フォローアップ】 取り組み報告及び今後 の活動に向けた対策の 検討	

### (9) 受講状況

(人)

定員	応募者数	決定者数	研修日	受講者数
400	327	318	1日目	313
			2日目	312
			3日目	301
			4日目	299

### (10) まとめ

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染対策のため、募集段階から1・2日目をオンライン研修とした。また、2日目は新規感染者数が急増した時期であったため、勤務等でオンラインでも研修開催日に受講できない受講者が複数発生し、後日講義を録画した動画を配信するアーカイブ研修を実施した。その結果、希望する全員が受講することができた。また、今年度は募集要項に対象を「感染管理認定看護師が配置されていない医療機関に勤務する看護職員」、感染管理マニュアルを持参することを明記したため、実際にマニュアル改訂や作成に関わるリーダークラスの受講者が多く、様々な課題に取り組む中でマニュアルについて課題として取り組む受講者が多かった。

## 5. 福岡県感染管理リーダー看護師育成事業（感染管理委員会）（県委託）

### 2) 感染管理看護基礎研修

- (1) 目的：感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師が配置されていない医療機関における看護職員の感染管理能力の向上を図るため、各施設の看護部でリーダーとして感染管理に取り組む看護師を育成することにより、院内感染やクラスターの発生を予防し、県民の安全確保、医療提供体制の整備（病床の逼迫防止）に寄与する。
- (2) 実施主体：福岡県
- (3) 対象者：感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師が配置されていない医療機関に勤務する保健師・助産師・看護師（状況によっては准看護師も対象）
- (4) 受講料：無料      (5) 募集、選考、決定：福岡県      (6) 研修期間：2日間
- (7) 研修プログラム

	時間数		項目	主な内容	講師
	A日程	B日程			
1日目 (オンライン)	10/21 (金)	11/19 (土)	感染症とは	感染症に関する基礎知識	小倉記念病院 宮崎 博章
			感染管理活動におけるマニュアルの整備と教育のポイント	医療施設において求められる感染管理 感染管理に必要なマニュアルの整備について 実践教育とリーダーシップについて	福岡徳洲会病院 伊藤 恭子
2日目	10/22 (土)	11/20 (日)	感染管理対策の実際	標準予防策 感染経路別予防策 手指衛生・防護具の使用法（演習） 組織における感染管理活動の実際 針刺し切創・皮膚粘膜曝露対策 廃棄物の取り扱いについて 病原体別予防策の実際 クラスター・アウトブレイク発生時の初動	九州労災病院 安部 美和 小倉記念病院 山下 恵美

### (8) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	研修日		受講者数
400	199	199	A 日程	1 日目	95
				2 日目	94
			B 日程	3 日目	96
				4 日目	91

### (9) アンケート結果 (%)

理解度 (N=165)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	46.0	54.0	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=165)	とても そう思う	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない	未回答
	36.0	57.0	6.0	1.0	0.0	0.0

(%)

活用度 (N=165)	とても そう思う	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない	未回答
	47.0	45.0	7.0	1.0	0.0	0.0

(%)

問題が解決 したか (N=165)	できた	できなかった	未回答
	98.0	2.0	0.0

### (10) まとめ

感染管理リーダー看護師育成研修と同様、感染管理能力の向上を目的とした福岡県からの委託研修である。本研修は有床診療所やクリニックも対象としたため、受講しやすいよう研修日程を週末を含んだ2日間、2日程で構成し、取り組みは行わず感染管理リーダー看護師育成研修の講義部分を凝縮した内容とした。

研修では質問も多く、日ごろの問題解決につながったのではないかと考える。また、アンケートでは、満足度が高く、特に自施設のマニュアルの作成・改訂や手指衛生の遵守率の向上につなげたい、などの今後の課題解決に向けた意見も多く聞かれ、目的・目標達成につながる研修であったと考える。



## V. 福岡県主催委託事業 (ナースセンター・事業部研修)

### 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

- 1) 病院等に就職したい方のための再就職支援研修
- 2) 介護保険施設等に就職したい方のための再就職支援研修
- 3) 再就職のための看護技術セミナー（採血・注射編）
- 4) 再就職のための看護技術セミナー（喀痰吸引編）
- 5) 再就職のための看護技術セミナー（感染管理編）

### 2. 訪問看護師養成講習会（県委託）

- 1) 訪問看護師養成講習会（入門編）
- 2) 訪問看護師養成講習会（新任期）
- 3) 訪問看護師養成講習会（管理期）





# 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

## 1) 病院等に就職したい方のための再就職支援研修

- (1) 目的：看護職の免許保有者で現在看護職として未就業の者が、最近の看護に関する知識及び技術を再習得し看護職として再就職への意欲向上や就職につながる
- (2) 目標：①看護職として、必要な基本姿勢と態度について、再認識できる  
②医療・看護の現状を理解できる  
③最新の知識・技術を学び、再確認できる  
④再就職への不安が軽減できる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（福岡県看護協会））
- (4) 対象者：福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業で6か月以内に就職を希望する看護職
- (5) 受講料：無料
- (6) 研修プログラム

	日程		内容	講師
	1回目	2回目		
1日目	6/2 (木)	11/7 (月)	看護を取り巻く動向 / 看護職の役割 / 雇用形態について知る / 就職先を選ぶ基準 / 再就職に向けての準備（家族との調整・自己学習等）	福岡県看護協会 大和 日美子
			ナースセンター活用 / 実習オリエンテーション / 自己紹介	福岡県ナースセンター 就労相談支援員
			医療・看護事故とは / 看護師がよく遭遇するヒヤリハット事例と事故対策（転倒転落・与薬等）薬の知識 / インシデント・事故発生時の対応	九州医療センター 古池 佳代子
2日目	6/14 (火)	11/10 (木)	標準予防策について / 看護場面における感染防止対策の実際	飯塚病院 丸谷 知実
			身体的なアセスメントをするための基本的な知識	大牟田天領病院 藤崎 智文
3日目	6/23 (木)	11/15 (火)	施設見学実習 *受講者近隣施設	
4日目	6/28 (火)	11/21 (月)	看護記録の基礎知識（目的・意義・法的位置づけ） / 看護記録のポイント / 電子カルテの仕組み	福岡徳洲会病院 豊岡 恵美子
			薬の作用 / 医療薬品分類 / 間違いやすい薬剤 / 添付文書	福岡大学筑紫病院 今給黎 修
			再就職における応募書類の作成・面接について	福岡中央公共職業安定所 坂田 一平
			研修まとめ（再就職支援に向けて）	福岡県ナースセンター 就労相談支援員

## (7) 受講状況 (人)

回数	定員	応募者数	決定者数	受講者数	就職者数
1回目	40	12	17	11	3
2回目	40	12	17	12	5

※就職者数は3月末日までの実績を掲載

## (8) アンケート結果 (%)

理解度 (N=11)	項目	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
		1回目【6/2・6/14・6/23・6/28】	63.6	36.4	0.0	0.0
(N=10)	2回目【11/7・11/10・11/15・11/21】	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=11)	項目	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
		1回目【6/2・6/14・6/23・6/28】	63.6	36.4	0.0	0.0
(N=10)	2回目【11/7・11/10・11/15・11/21】	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0

## (9) まとめ

座学と施設見学実習を実施し病院での看護職の役割や機能、病棟での1日の流れなど「イメージが付き、復職に対して前向きになることができた」との声が聞かれていた。76%の人が「就労への自信が持てた」80.9%の人が「就労の意欲が高まった・やや高まった」と回答しており研修の目的は達成している。申し込み後「就業の決定」「子供の体調不良」などによるキャンセルや受講者から「研修期間が長く受講しにくい」「子供の体調不良時に自宅からリモートで参加できる方法があるといい」などの声が上がっていた。令和5年度よりeラーニングの導入、既存の「介護保険施設等に就職したい方のための再就職支援研修」と統合し、また施設見学実習を選択性にすることでより学びやすい環境作りを行うこととした。

# 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

## 2) 介護保険施設等に就職したい方のための再就職支援研修

- (1) 目的：看護職の免許所有者で現在看護職として未就業の者が、介護保険施設における看護の基礎知識及び技術を学ぶことで興味や関心が高まり、看護職として再就職への意欲向上や就職につながる
- (2) 目標：①介護保険施設等の看護の役割や機能を理解できる  
 ②介護保険施設等の看護の実際を学び理解を深められる  
 ③介護保険施設等の看護について興味や関心が高まる  
 ④再就職への不安が軽減できる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（福岡県看護協会））
- (4) 対象者：福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業で6か月以内に就職を希望する看護職
- (5) 受講料：無料
- (6) 研修プログラム

	日程	学習内容	講師
1日目	10/6 (木)	地域包括ケアシステム / 介護施設の機能 介護施設等における看護の役割について / 介護施設等 における多職種協働について	看護小規模多機能型 居宅介護すびか☆くるめ 真木 隆子
		感染予防策の基本 / 標準予防策の実際 / 介護施設にお ける感染への対応	戸畑けんわ病院 佐藤 広子
2日目	10/20 (木)	施設見学実習	
3日目	10/28 (金)	福岡県における介護・高齢者福祉の現状 / 施設にお ける看護職と介護職・介護支援専門員の連携	福岡県老人福祉施設協議会 松尾 宗敏  特別養護老人ホーム八女の里 松熊 享子
		研修の振り返り / ナースセンター紹介	研修担当
		嚥下のメカニズムを知る / 安全に食べるための姿勢と 食事支援	福岡大学筑紫病院 薦田 千明

## (7) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	就職者数
30	11	11	6	4

※就職者数は3月末日までの実績を掲載

## (8) アンケート結果 (%)

理解度 N=6	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	50	50	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 N=6	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立た ない	未回答
	50	50	0.0	0.0	0.0

## (9) まとめ

応募者数が少なく追加募集など行った。応募後も「看護師としての就業がきまった」「看護師以外に従事中で、休みがもらえない」等の理由によりキャンセルが重なり、最終受講者は6名であった。少ない人数ではあったが、受講者からは「実習先の看護師に話を聞く機会を得られ働くイメージがついた」など意見が聞かれた。受講後のアンケート結果からも研修の目的や目標は達成できていると評価する。この研修は、令和5年度より既存の「病院等へ就業したい方のための復職研修」と統合し実施する。

# 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

## 3) 再就職のための看護技術セミナー（採血・注射編）

- (1) 目的：看護職の免許保有者で現在看護職として未就業者の者が、採血・注射に関する知識・技術を再習得し、看護職として再就職への意欲向上や就職につながる
- (2) 目標：①採血・注射に関する知識及び技術を再確認できる  
②知識・技術を再習得することで、再就職への不安が軽減できる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（福岡県看護協会））
- (4) 対象者：福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業者で6か月以内に就職を希望する看護職
- (5) 受講料：材料費 1,000 円
- (6) 研修プログラム

回数	日程	内容	講師/演習補助
1回目	5/27（金）	真空管採血（直針・翼状針）・点滴静脈注射についてDVD学習・講義・演習	九州大学病院 永松 知夏 / 村上 真緒 / 古家 伸子
2回目	6/29（水）		福岡大学病院 竹下 恵美 / 合谷 裕子
3回目	7/11（月）		九州大学病院 永松 知夏 / 村上 真緒 / 古家 伸子
4回目	7/28（木）		北九州市立医療センター 駒谷 祥子 / 古賀 亜佐子
5回目	8/8（月）		久留米大学 前野 里子 / 山田 泰子
6回目	8/17（水）		九州大学病院 永松 知夏 / 村上 真緒 / 古家 伸子
7回目	9/9（金）		福岡県看護協会 田原 麻子
8回目	10/18（火）		九州大学病院 永松 知夏 / 村上 真緒 / 古家 伸子
9回目	11/14（月）		福岡市民病院 新川 晃子 / 山崎 くるみ / 本松 業積
10回目	12/22（木）		福岡市民病院 新川 晃子 / 山崎 くるみ / 本松 業積
11回目	R5年 1/19（木）		福岡市民病院 新川 晃子 / 山崎 くるみ / 本松 業積
12回目	R5年 2/14（火）		福岡市民病院 新川 晃子 / 山崎 くるみ / 本松 業積

## (7) 受講状況

(人)

回数	日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数	就職者数
1回目	5/27（金）	20	22	22	19	12
2回目	6/29（水）	10	12	12	11	10
3回目	7/11（月）	20	21	21	18	9
4回目	7/28（木）	10	14	14	12	3
5回目	8/8（月）	10	10	10	7	5
6回目	8/17（水）	20	17	17	16	11
7回目	9/9（金）	10	5	5	4	2
8回目	10/18（火）	20	20	20	15	9
9回目	11/14（月）	20	15	15	12	8
10回目	12/22（木）	20	17	17	15	9
11回目	R5年 1/19（木）	20	12	12	12	7
12回目	R5年 2/14（火）	20	15	15	11	7

※就職者数は3月末日までの実績を掲載

## (8) アンケート結果

(%)

理解度	回数	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	1回目 (N=19)	78.9	15.8	0.0	0.0	5.3
	2回目 (N=11)	90.9	9.1	0.0	0.0	0.0
	3回目 (N=18)	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0
	4回目 (N=12)	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	5回目 (N=7)	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0
	6回目 (N=16)	68.8	31.2	0.0	0.0	0.0
	7回目 (N=4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8回目 (N=15)	86.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	9回目 (N=12)	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0
	10回目 (N=15)	93.3	6.7	0.0	0.0	0.0
	11回目 (N=12)	66.7	25.0	0.0	0.0	8.3
	12回目 (N=11)	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	回数	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立つ	役立つ	未回答
	1回目 (N=19)	78.9	15.8	0.0	0.0	5.3
	2回目 (N=11)	90.9	9.1	0.0	0.0	0.0
	3回目 (N=18)	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0
	4回目 (N=12)	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	5回目 (N=7)	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0
	6回目 (N=16)	68.8	31.2	0.0	0.0	0.0
	7回目 (N=4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8回目 (N=15)	86.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	9回目 (N=12)	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0
	10回目 (N=15)	93.3	6.7	0.0	0.0	0.0
	11回目 (N=12)	83.3	0.0	0.0	0.0	16.6
	12回目 (N=11)	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0

## (9) まとめ

新型コロナウイルス感染症拡大により、サテライト開催（久留米・筑豊）が出来ず、本所開催へ変更し実施した。令和4年度より定員を15名から20名、受講要件も条件付きで「派遣登録者」「就業中の方」にも枠を広げ、申し込み総数は190名であったが、就業決定や開催地変更によるキャンセル等で受講者は152名であった。受講者からは「前職が施設であったため、採血など医療行為がなく年々自信がなくなり不安だった。講義だけでなく手技をやってみて大変役にたった」「今回得た感覚を大切に再就職しようと思う」などの声が聞かれている。アンケート結果からも研修の目的や目標は達成していると考えられる。

# 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

## 4) 再就職のための看護技術セミナー（喀痰吸引編）

- (1) 目的：看護職の免許保有者で現在看護職として未就業の者が、喀痰吸引に関する知識・技術を再習得し、看護職として再就職の意欲向上や就職へつながる
- (2) 目標：①最新の喀痰吸引に関する知識及び技術を再確認できる  
②知識・技術を再習得することで、再就職への不安が軽減できる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（福岡県看護協会））
- (4) 対象者：福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業者で6か月以内に就職を希望する看護職
- (5) 受講料：無料
- (6) 研修内容：①喀痰吸引に必要な基礎知識  
②口腔内吸引・鼻腔内吸引：演習  
③気管内吸引：演習
- (7) 講師：福岡大学病院 押川 麻美 演習補助：福岡大学病院 安倍 朋子 / 安武 麻衣
- (8) 受講状況 (人)

回数	日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数	就職者数
1回目	7/14（木）	20	22	22	18	12
2回目	10/17（月）	20	18	18	14	8
3回目	R5年2/15（水）	20	19	19	14	7

※就職者数は3月末日までの実績を掲載

## (9) アンケート結果 (%)

理解度	回数	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	1回目 (N=18)	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0
	2回目 (N=14)	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0
	3回目 (N=14)	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	回数	役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	役立たない	未回答
	1回目 (N=18)	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0
	2回目 (N=14)	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0
	3回目 (N=14)	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0

## (10) まとめ

受講者より「講義内容がとてもわかりやすく、自分の知識と照らし合わせ受講できた」「昔の方法しか知らなかった。自信に繋がりました」との声が聞かれている。講義の他、演習では実際の現場の状況を具体的に聞くことができ就業に向けてイメージが湧きやすく実践に活かせる内容となっている。アンケート結果からも、一定の評価を得ており研修の目的や目標は達成できていると評価する。

# 1. 看護職員復職研修事業（県委託）

## 5) 再就職のための看護技術セミナー（感染管理編）

- (1) 目的：看護職の免許所有者で現在看護職として未就業の者が、感染管理に関する知識・技術を再習得し看護職として再就職への意欲向上や就職へつながる
- (2) 目標：①最新の感染管理に関する知識及び技術を再確認できる  
②知識・技術を再習得することで、再就職への不安が軽減できる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（福岡県看護協会））
- (4) 対象者：福岡県在住でブランクの期間に関係なく、未就業で6か月以内に就職を希望する看護職
- (5) 受講料：無料
- (6) 研修内容：①標準予防策について  
②衛生的手洗い：演習  
③個人防護具（PPE）の着脱：演習
- (7) 講師：九州がんセンター 村武 明子
- (8) 受講状況

(人)

回数	日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数	就職者数
1回目	5/25（水）	20	14	14	13	6
2回目	9/28（水）	20	13	13	7	7
3回目	12/7（水）	20	15	15	9	6

※就職者数は3月末日までの実績を掲載

## (9) アンケート結果

(%)

理解度	回数	できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
	1回目（N=13）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2回目（N=6）	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	3回目（N=9）	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度	回数	役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	役立たない	未回答
	1回目（N=13）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2回目（N=6）	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	3回目（N=9）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (10) まとめ

台風の影響により2回目の日程の変更を行い開催した。日程の変更により受講者は減少したが無事に終了した。演習では、N95マスクの装着など時代に即した内容を追加し実施した。「感染予防に関する物品や対策がかなり変わっていたが、学び直すことで安全に看護が行える知識が付いた」「自分の足りない部分が目に見えてわかり勉強になった」などコメントがあり、受講後のアンケート結果からも研修の目的や目標は達成できていると評価する。

## 2. 訪問看護師養成講習会（県委託）

### 1) 訪問看護師養成講習会（入門編）

- (1) 目的：質の高い訪問看護を安定的に提供するために訪問看護師の人材確保・定着を図る。
- (2) 目標：①訪問看護の概要を理解し、「訪問看護がやれそう」「やってみよう」という気持ちになれる。  
②訪問看護に新たな活躍の場を見出し、就労意欲を高めることが出来る。  
③訪問看護を目指す看護職が実際に一歩踏み出すための動機づけを強化できる。
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（福岡県看護協会））
- (4) 対象者：①プラチナナース（定年退職後や定年退職を迎える看護職）  
②訪問看護に関心がある、または訪問看護を目指したい看護職
- (5) 受講料：無料（資料代：5,000円）
- (6) 研修プログラム

日程	講義内容	講師
11/30（水）	訪問看護概論 ～訪問看護とは～	福岡みらい病院 井手 麻利子
	訪問看護における感染予防策	きゅ訪問看護ステーション 花田 直樹
12月～R5年1月	訪問看護ステーション実習	県内 訪問看護ステーション
R5年1/30（月）	訪問看護におけるフィジカルアセスアセスメント	浜の町病院 大久保 志保
	訪問看護の魅力 新任訪問看護師の実践発表	楽しくサポートセンターレスピケアナース 山田 真理子
	セカンドライフに備える生活設計	オスカー社会保険労務士法人 井上 泉
	訪問看護ステーションでの就業について	福岡県ナースセンター 田原 麻子

### (7) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
30	16	16	15	14

### 公開講座 受講状況 (人)

日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数
R5年1/30（月）	20	5	1	1

※ R5.1/30(月) は公開講座

### (8) アンケート結果 (%)

理解度 (N=15)	できた	まあまあ できた	あまり できなかった	できなかった	未回答
	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=15)	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### (9) まとめ

今年度2年目となるが、当初の申込締切時点では応募が少なく、公開講座の応募も昨年度より大幅に減少した。対象にあるプラチナナースの受講者（50～60代）は全体の26.6%であり、プラチナナースを想定して年金制度等の講義を公開講座として組み込んだが、対象年齢ではない人が多く難しさを感じる人が多かった。

見学実習では、受講者より「病院と在宅の違いが分かり、訪問看護が初めてでも、訪問看護のやりがいや楽しさが伝わってきて、不安はあるがいつかは訪問看護をやってみたいと思った。」等の前向きな意見が多く聞かれ、興味・関心が高まった、今後やってみたいという回答が多くみられた。

## 2. 訪問看護師養成講習会（県委託）

### 2) 訪問看護師養成講習会（新任期）

- (1) 目的：訪問看護に従事するもしくは従事しようとする看護職が訪問看護に必要な基本的知識・技術を習得することでケアの質の向上、就労意欲の向上、就労定着を強化する。
- (2) 目標：訪問看護に必要な知識・技術を修得し、正確で安全な訪問看護を実践できる。
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（福岡県看護協会））
- (4) 対象者：訪問看護に従事して3年未満の看護職（従事予定者を含む）
- (5) 受講料：無料（資料代：22,000円）
- (6) 修了証：実施主体が受講要件を満たした者に発行
- (7) 研修プログラム

日程	講義内容	講師
7/12～9/30	訪問看護eラーニング（日本訪問看護財団訪問看護eラーニング）：自己学習	
7/12（火）	訪問看護概論 ～訪問看護行政の動向～	福岡県高齢者地域包括ケア推進課 若松 倫子
	訪問看護の役割・機能・特性・諸制度の概要 ～地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割～	楽らくサポートセンターレスピケアナース 山田 真理子
8/31（水）*	在宅療養者への感染対策	久留米大学病院 三浦 美穂
9/13（火）	訪問看護展開論	良創夢訪問看護ステーション 片田 弥生
	訪問看護に求められるコミュニケーションスキル	有限会社コミュニケーションデザイン研究所 渡邊 直子
10/11（火）*	在宅における急変時の看護	土倉内科循環器科クリニック 土倉 万代
	在宅における摂食・嚥下の看護	訪問看護ステーション「ひろしま」 安原 明美
11/16（水）*	在宅看護におけるスキンケア	訪問看護ステーションはんずあい 岡本 加代子
11/28（月）	エンド オブ ライフケア	訪問看護ステーションつばさ 小野 幸代
	情報交換会	在宅支援・訪問看護委員会委員

\*8/31（水）・10/11（火）・11/16（水）は公開講座

10月	訪問看護ステーション実習（1日）
-----	------------------

### (8) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
50	40	38	38	37

### 公開講座 受講状況 (人)

日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数
8/31（水）	20	2	1	1
10/11（火）	20	10	9	8
11/16（水）	20	9	9	9



## (9) アンケート結果 (％)

理解度 (N=38)	できた	まあまあ できた	あまり できなかった	できなかった	未回答
	65.8	34.2	0.0	0.0	0.0

(％)

満足度 (N=38)	できた	まあまあ できた	あまり できない	できない	未回答
	78.9	21.1	0.0	0.0	0.0

(％)

役立ち度 (N=38)	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
	89.5	10.5	0.0	0.0	0.0

## (10) まとめ

コロナ禍で集合研修日数を減らし、実習先を訪問看護ステーション実習のみとした。受講しやすいプログラムに変更したが、受講者数は昨年度よりも減少した。受講者からは、演習を通して受講者間の交流が持たれ、意見交換や情報共有の場となっていた。昨年度から開始しているeラーニングと集合研修に重複する内容もあるため、プログラムの見直しを行い、集合研修は演習を中心とした内容に変更する。

## 2. 訪問看護師養成講習会（県委託）

### 3) 訪問看護師養成講習会（管理期）

- (1) 目的：社会のニーズに相応した質の高い訪問看護サービスを安定的に提供するために、訪問看護ステーションの管理者に必要な能力を高め、安定的な事業所運営と訪問看護師の人材確保・定着に繋げる。
- (2) 目標：管理者に必要な知識・技術・態度及びステーション運営の基礎を学び、管理者の役割を果たせる
- (3) 実施主体：福岡県（実施機関：福岡県ナースセンター（福岡県看護協会））
- (4) 対象者：訪問看護ステーションの管理者（管理者候補、管理的立場の看護職も含む）
- (5) 受講料：無料（資料代：10,000円）
- (6) 修了証：実施主体が受講要件を満たした者に発行
- (7) 研修プログラム

日程	講義内容	講師
8月下旬～ 開講日	訪問看護管理Cラーニング（日本看護協会 訪問看護及び介護施設等の看護管理者研修プログラム） 【内容】講義・確認テスト（視聴 8時間）	
9/27 (火)	訪問看護をめぐる動向と訪問看護に関わる諸制度・報酬	福岡県高齢者地域包括ケア推進課 若松 倫子
	訪問看護ステーションにおける管理業務の概要・管理者の役割	ウィル訪問看護ステーション 落合 実
	訪問看護ステーションにおける労務管理	オスカー社会保険労務士法人 多田 薫
10/27 * (木)	訪問看護ステーションの経営管理	楽らくサポートセンター レスピケアナース
	訪問看護ステーションにおける人材育成	山田 真理子
11/15 * (火)	チームビルディングとチームマネジメント	コミュニケーションデザイン研究所 渡邊 直子
	訪問看護導入期の初期アセスメントカスキルアップ	株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美
11/22 (火)	組織分析と地域アセスメントによる経営戦略 ～地域に必要とされる訪問看護ステーションとなるために～	株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美
	取り組み課題のアクションプラン立案・実施	
R5年2/16 (木)	実施結果のまとめ グループワーク・実践報告	株式会社在宅看護実践研究所 小林 裕美

\*10/27（木）・11/15（火）は公開講座

### (8) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数	修了者数
30	37	37	36	32

### 公開講座 受講状況 (人)

日程	定員	応募者数	決定者数	受講者数
10/27（木）	10	8	7	6
11/15（火）	10	6	6	5

## (9) アンケート結果 (％)

理解度 (N=19)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	26.3	68.4	5.3	0.0	0.0

(％)

満足度 (N=19)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	63.2	31.6	5.2	0.0	0.0

(％)

役立ち度 (N=19)	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
	73.7	26.3	0.0	0.0	0.0

## (10) まとめ

今年度は、研修内容を一部変更し、日本看護協会作成の事前動画教材との重複がないようプログラムを整理した。これまで、最終日の実践報告については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い紙面報告となっていたが、今年度は集合型で初めて開催することができた。演習では、自施設や自己の課題を分析・明確化して改善目標に向けてアクションプランを立案し、最終日までに各自が自施設で実践した。実践内容や自身の思考を紙面にまとめることで、受講者からは、「アクションプランの実践という課題が最も自身の成長の糧になり、今後の自信につながった」「自分の思考を整理する機会になった」等の声が聴かれた。また、「コロナ禍ということもあり、地域交流が少なく、新設のステーションとしては心細い中、顔と顔が合わせられる研修は貴重な交流の場になった。」等の意見も多く、管理者としての情報共有・連携が望まれていることが分かった。次年度も演習中心の集合研修を行うとともに、受講者だけではなく公開講座として多くの訪問看護ステーション管理者が交流できる場を設けることを検討したい。



## VI. 新型コロナウイルス感染症 対応関連研修委託事業 (事業部・教育研修部研修)

1. 新型コロナウイルス感染症等業務にかかる研修 (県委託)
2. 新型コロナウイルス感染症対応に従事した潜在看護職等のためのステップアップ研修 (日本看護協会委託)
3. 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成事業
  - 1) 重症患者対応研修 (日本看護協会委託)
  - 2) 軽症～中等症患者対応研修
    - (1) 一般病棟・入院待機施設用 (日本看護協会委託)
    - (2) 自宅療養者用 (県委託)



## 1. 新型コロナウイルス感染症等業務にかかる研修（県委託）

- 1) 目的：新型コロナウイルス感染症の感染拡大とともに、保健所に大きな業務負担が発生することが課題となっており、保健所の体制整備が求められている。  
感染拡大時に、保健所で保健師等の専門職が不足した場合の支援協力について、新型コロナウイルス感染症にかかる対応人材（IHEAT）を活用することとなった。  
このため、保健所への業務応援をいただく方々に、新型コロナウイルス感染症に関して最新の科学的知見に基づいた知識や技術を習得してもらうことにより、保健所業務応援時に、積極的疫学調査等業務を迅速かつ適切に実施していただくとともに、保健所職員と連携・協働した業務を支援することを目的とする。
- 2) 実施主体：福岡県看護協会保健師職能委員会
- 3) 対象者：IHEAT名簿登録者、潜在保健師等 IHEAT名簿登録予定者、市町村保健師等
- 4) 受講料：無料
- 5) 開催方法：ハイブリッド形式での開催
- 6) プログラム

プログラム	講師
講義 新型コロナウイルス感染症の最新の知見	飯塚病院 的野 多加志
講義・実技 感染防護と防護服着脱について	飯塚病院 山下 智雅
講義【Web】 保健所における新型コロナウイルス感染症対応と応援者としての心構え	自治医科大学 春山 早苗
積極的疫学調査の手順について (1) 動画視聴 (2) 保健所の現状について	福岡県北筑後保健福祉環境事務所 石井 靖子

### 7) 受講状況 (人)

実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
8/6 (土)	1	100	73	73	63

### 8) アンケート結果 (%)

理解度 (N=50)		できる	ややできる	あまりできない	できない	未回答
		新型コロナウイルス感染症の最新の知見	84.0	16.0	0.0	0.0
	感染防護と防護服着脱について	82.0	16.0	2.0	0.0	0.0
	保健所における新型コロナウイルス感染症対応と応援者としての心構え	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	積極的疫学調査の手順について	54.0	42.0	2.0	2.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=50)		役立つ	やや役立つ	あまり役立たない	役立たない	未回答
		新型コロナウイルス感染症の最新の知見	88.0	12.0	0.0	0.0
	感染防護と防護服着脱について	72.0	24.0	4.0	0.0	0.0
	保健所における新型コロナウイルス感染症対応と応援者としての心構え	46.0	52.0	2.0	0.0	0.0
	積極的疫学調査の手順について	50.0	42.0	6.0	2.0	0.0

### 9) まとめ

この研修は福岡県の委託を受けて開催したものである。今回は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、ハイブリッド形式での開催としたことで、63名の参加があった。

研修内容について、アンケートでは、「理解できる」「やや理解できる」がほとんどで、「非常に参考になった」とほとんどの参加者が答えていたことから、評価できる内容であったと考える。

しかし、ハイブリッド研修であったことから、防護服の着脱や積極的疫学調査の演習ができなかった。IHEAT研修の目的である疫学調査等業務を迅速かつ適切に実施していける人材を育成するためには、研修内容の充実と工夫が必要であると考えられる。

## 2. 新型コロナウイルス感染症対応に従事した潜在看護職等のための ステップアップ研修（日本看護協会委託）

- 1) 目的：ワクチン接種等の新型コロナウイルス感染症対応に従事した看護師等が感染症に対する知識や必要な看護を学ぶことでスキルアップできる機会を得ることが出来る
- 2) 目標：(1) 宿泊療養施設での看護の役割や機能を理解できる  
(2) 感染管理や予防に関する知識及び技術を再確認できる  
(3) 身体的なアセスメントをするための基本的な知識を学ぶ
- 3) 実施主体：福岡県ナースセンター（福岡県看護協会）
- 4) 対象者：ワクチン接種等の新型コロナウイルス感染症対応に従事した潜在看護職等
- 5) 受講料：無料
- 6) 開催日程・講師

回数	日程	内容	講師/演習補助
1回目	9/15（木）13:00～15:30	宿泊療養施設での必要な知識と看護の役割/感染管理や予防に関する知識/感染管理や予防に関する知識/身体的なアセスメントをするための基本的な知識	猿渡 恵子
2回目	12/13（火）13:00～15:30		

### 7) 受講状況 (人)

回数	日程	定員	受講者数
1回目	9/15（木）13:00～15:30	20	7
2回目	12/13（火）13:00～15:30	20	6

### 8) アンケート結果 (%)

理解度 (N=13)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	92.3	0	0.0	0.0	7.7

(%)

役立ち度 (N=13)	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
	92.3	0	0.0	0.0	7.7

### 9) まとめ

日本看護協会より新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業における「新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職員研修事業」の委託を受け実施した研修である。実技演習では標準予防策の実際としてガウン、N95マスクの着用などを行った。また、患者・看護師役に分かれ防護服着用のままバイタル測定などの演習も行った。「防護服を着て実際に動いてみて、動きにくさや大変さを実感できた」「N95マスクやフェイスシールドを着用して会話をするのがとても大変だった」「患者の気持ちが分かった。声のトーンやジェスチャーなどでも安心感を与えられるよう努めたい」などの声が聞かれた。研修受講後のアンケートでは満足度、理解度ともに9割以上が期待どおり・理解できたと回答しており研修の目的は達成していると考えられる。



### 3. 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成事業

#### 1) 重症患者対応研修【オンデマンド研修/集合研修(演習)】(日本看護協会委託)

- (1) 目的：集中治療が必要な新型コロナウイルス感染患者に対応できる看護職員を養成する。  
 (2) 対象者：集中治療等において重症患者への対応を行う可能性のある看護職員  
 (3) 受講料：無料  
 (4) プログラム：オンデマンド配信研修：300分(日本看護協会プログラム)  
 オリエンテーション・講義(オンライン)：60分(5/18)  
 集合研修(演習)：300分(福岡大学病院にて8回実施)  
 6/8(水)、6/15(水)、6/29(水)、7/13(水)、7/27(水)、  
 8/3(水)、8/10(水)、8/31(水)

内容		講師
講義	新型コロナウイルス感染症に対する福岡県の医療提供体制と取組	福岡県医療指導課職員
演習	集中治療室内で集中治療中の実際場面の見学及び演習 ①新型コロナウイルス感染症感染対策 ②気管挿管人工呼吸器装着・ネーザルハイフロー装着中の管理と看護 ③体外式膜型人工肺(ECMO)装着中の管理と看護 ④持続緩徐式血液濾過透析(CHDF)装着中の管理と看護 ⑤メディカルスタッフチームによる医療提供状況 医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士等 ⑥呼吸理学療法、体位ドレナージの実際 腹臥位療法 ⑦全身管理中の患者への看護 観察、ポジショニング、チューブ・ドレーン管理、清潔ケア、口腔ケア ⑧患者・家族ケア(隔離による不安、意思決定支援、看取りケア) ⑨死亡時の取り扱い	福岡大学病院 救命救急センター 看護師  福岡大学病院 臨床工学技士 理学療法士
	全体カンファレンス 演習全体を通し学んだ事、疑問点と対応などをディスカッションする	看護師

#### (5) 受講状況 (人)

定員	応募者数	決定者数	受講者数
32	68	32	30

## (6) アンケート結果

(%)

学びが多かった演習項目 (N=20)	講師
全身管理中の患者への看護	40.0
メディカルスタッフチームによる医療提供状況	15.0
呼吸理学療法、体位ドレナージの実際	15.0
体外式膜型人工肺 (ECMO) 装着中の管理と看護	10.0
腹臥位療法	10.0
新型コロナウイルス感染症感染対策	5.0
患者・家族ケア	5.0

(%)

満足度 (%) (N=20)	81 ~ 100%	61 ~ 80%	41 ~ 60%	21 ~ 40%	0 ~ 20%	未回答
	85.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

看護の解決につながるか (N=20)	はい	いいえ	未回答
	100.0	0.0	0.0

## (7) まとめ

本研修は、新型コロナウイルス感染症に関するオンデマンド研修を受講後、福岡大学病院の救命救急センターにて、ECMO 装着中の患者などで実際の患者ケアを経験したり、ECMO のトラブルシューティングや理学療法、腹臥位療法などの演習を行う実習を行った。

定員に対して2倍近くの応募があり、本研修に対する関心や必要性の高さがうかがえた。

アンケートでは、非常に満足度が高く、全員が日ごろの看護の解決につながったと回答した。受講者全員が学びたいことや課題が明確な状況で実習に臨んでおり、実習中も積極的に指導者に質問したり、カンファレンスで意見交換をすることができていた。

上記から、本研修は目標が達成できる研修内容であったと評価する。

### 3. 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成事業

#### 2) 軽症～中等症患者対応研修

##### (1) 一般病棟・入院待機施設用【オンデマンド研修】(日本看護協会委託)

- ①目的：一般病棟、入院待機施設（酸素st等）で新型コロナウイルス感染症患者に対応できる看護職員を養成する。
- ②対象者：一般病棟、入院待機施設（酸素st等）で新型コロナウイルス感染症患者に対応する可能性のある看護職員
- ③受講料：無料
- ④プログラム：オンデマンド配信研修：190分（日本看護協会プログラム）
- ⑤配信期間：3/15（火）～令和5年2/28（火）
- ⑥登録者数：1,777名

##### (2) 在宅療養者用【オンライン及びオンデマンド研修】(県委託)

- ①目的：在宅療養者への看護実践のために必要な知識・技術の習得と向上のための研修を実施することにより、感染患者に対応できる看護職員を養成する。
- ②対象者：在宅療養中の新型コロナウイルス感染患者に対応する可能性のある看護職員
- ③受講料：無料
- ④プログラム：(オンライン、オンデマンドとも同じ内容)  
オンラインもしくはオンデマンド配信研修：210分（日本在宅ケア学会プログラム）
- ⑤受講日及び配信期間：オンライン研修：11/30（水）  
オンデマンド研修：12/6（火）～令和5年1/6（金）
- ⑥登録者数：401名

##### (3) まとめ

両研修とも、オンデマンド配信研修であった。(在宅療養者用研修は、同じ内容でオンライン研修も開催)対象は違うが、オンデマンド研修ということで、特に在宅療養者用研修に関しては、70%近くの受講者が訪問看護ステーション勤務の看護職員であったため、時間帯や場所を選ばない自由度の高い受講方法であり受講者の勤務形態にマッチしており、受講しやすかったたのではないかと考える。

講義は、「新型コロナウイルス感染症の基礎知識」、一般病棟・入院待機施設用研修では看護の講義内容に「緊急性の判断と急変対応、重症化予防、異常の早期発見」等、また在宅療養者研修では、「小児分野も含めた在宅での看護」や「訪問不可時のテレナーシング」等、対象に特化した内容であったため、それぞれ受講者に応じた講義を受講することができ、問題解決につながったのではないかと考える。



## VII. 委員会企画交流会

1. 保健師職能委員会実施
2. 助産師職能委員会実施
3. 看護の進路・進学支援委員会実施



# 1. 保健師職能委員会実施

## 1) 研修内容【ハイブリッド研修】

研修テーマ	目標	主な内容	講師
企業の健康づくり戦略からみる、健康なまちづくり戦略	講師の産業保健師としての実績を踏まえた企業における健康づくり戦略、思想、手法を紹介し、地域やその他領域での健康づくりでの戦略を参加者が考え、活かすことができる。	産業保健師としての実績を踏まえた企業における健康づくり戦略と健康な地域づくり戦略について	アサヒグループジャパン 住徳 松子

## 2) 受講状況 (人)

実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
11/12 (土)	1	60	13	13	11

## 3) アンケート結果 (%)

理解度 (N=9)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=9)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

## 4) まとめ

今回は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、ハイブリット形式での研修とした。

産業分野での研修を企画する機会は少なく、新型コロナウイルス感染症感染拡大等の影響により2年越しに開催することができた。参加者は少なかったことは課題であるが、学生、教員、行政保健師等産業分野の保健師以外の参加もあった。

講演はリモートで行われ、産業保健師としての実績を踏まえた企業における健康づくり戦略の具体的な活動を紹介し、戦略的に働きかけることの必要性について、具体的な内容であった。アンケートでも、今後に役に立つかについて「できる」「ややできる」と回答していたことから、参加者が今後の活動の場で活かせる内容であったと考える。また、講演後の意見交換では、統括保健師としての資質や保健師として目指すべき姿について等について、一人一人に丁寧に助言いただき、貴重な機会となったと考える。

## 2. 助産師職能委員会実施

### 1) 研修内容【オンライン研修】

研修テーマ	目標	主な内容	講師
産科管理者交流会	コロナ禍における看護管理について知識を深め、情報交換を通して危機管理体制の強化につなげる。	①講演会 「コロナ禍における看護管理について」 ②交流会	日本赤十字九州国際看護大学 倉岡有美子

### 2) 受講状況 (人)

実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
8/28 (日)	1	40	13	13	11

### 3) アンケート結果 (%)

満足度 (N=11)	非常に満足	満足	やや不満	不満	未回答
	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=11)	できる	できない	未回答
	100.0	0.0	0.0

### 4) まとめ

産科管理者交流会は、管理実践能力の向上、情報交換・情報共有による周産期のネットワーク構築を目的として開催している。

講義では、コロナ禍での管理者の葛藤や悩みを学んだ。また、交流会では、コロナ禍での周産期医療の現状について意見交換を行い、各施設の情報を得ることができた。新人教育やコロナ禍での業務の困難さや、コロナ対策から生まれた連携やスタッフの変化などのメリットも共有することができ、今後活かすことができる内容となった。受講者からも産科管理者交流会が「今後活かせる」「今後も必要」という声があり、来年度も開催する予定である。



### 3. 看護の進路・進学支援委員会実施

#### 1) 研修内容【オンライン研修】

研修テーマ	目標	主な内容	講師
看護学校と職場の情報交換会 マスク越しの世界で教育の工夫とその成果を語り合おう ～基礎教育と臨床（新人教育）をつなぐ～	看護師養成校と病院が情報を交換する場を設け、学生や新人看護師の現状理解を深め、教育的課題を共有し、新たな教育の在り方を探る。	グループワーク 新型コロナウイルス感染症が流行して3年目、実習経験が少ない学生を送り出す看護師養成校側とそれを受け入れる病院側の教育指導上の困難感や工夫、成功事例を共有し、基礎教育から臨床（新人教育）へつながる支援について語り合う	ファシリテーター 看護の進路・進学支援委員

#### 2) 受講状況

(人)

	実施日	日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
看護学校と職場の情報交換会	8/24 (水)	0.5	80	60	60	52

#### 3) アンケート結果

(%)

理解度 (N=50)	研修テーマ	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	看護学校と職場の情報交換会	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=50)	研修テーマ	役立つ	やや 役立つ	あまり 役立たない	役立たない	未回答
	看護学校と職場の情報交換会	44.0	54.0	2.0	0.0	0.0

#### 4) まとめ

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症禍での開催であったが、オンラインを活用して、実施することが出来た。

参加者は病院側が43名（33施設）、看護師養成校側が9名（7校）、合計52名であった。毎年、なかなか研修の周知が図れず、看護師養成校側の参加が少ないのが課題で、広報の仕方を検討していく必要がある。

参加者からは、看護師養成校と病院とお互いの意見交換の中で、「それぞれ思いが違い、現状の悩みに対して情報共有し、問題解決に取り組んでいければと思う」という前向きな意見や「卒業した学生たちの課題、それに対して臨床現場でどのように育て成長しているのか知ることができてよかった」など有意義な時間となったという感想が多く聞かれた。

アンケートの結果からも分かるように理解度、役立ち度いずれも高い評価であり、研修の目標は達成できたと考える。

今後も、看護学生や新人看護師を大切に育成できるように、また、お互いに協力し合いながら基礎教育と臨床をつなげていけるよう看護師養成校と病院の情報交換会を継続していきたい。

## 編集後記

「令和4年度教育研修実績集」の発刊にあたり、講師の皆様、教育・研修を担当いただきました各委員会の皆様に厚くお礼申し上げます。また、コロナウイルス感染症の流行で多くの行動制約を受けているなかでも感染拡大に留意しながら研修に参加いただきました皆様へ感謝申し上げます。

福岡県看護協会では、看護職のキャリア形成を支援し、質の高い看護を提供できる人材を育成することを教育理念に謳っています。各委員会等で教育研修分類や日看協が策定したラダーを参考に多くの方々の学習ニーズに応えることができることを目指して研修を実施して参りました。加えて、オンデマンドやオンラインなどICTを使用した研修方法を取り入れることを行いました。これからも皆様方の「学びたい」を叶えるということを目指しながら看護の質の向上への支援をおこなって参ります。

今後とも皆様のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

### 【編集担当】

専務理事兼教育研修部長 石橋 薫

教育研修部 一法師 久美子・中村 洋美・井上 真巳



### 令和4年度 教育研修実績集

令和5年5月発行

編集・発行人 公益社団法人 福岡県看護協会  
〒812-0054 福岡市東区馬出4丁目10番1号  
電話092-631-1141(代)

印刷 西日本ビジネス印刷株式会社  
〒810-0014 福岡市中央区平尾5-5-30  
電話092-531-4757(代)